

B5WY-0331-01

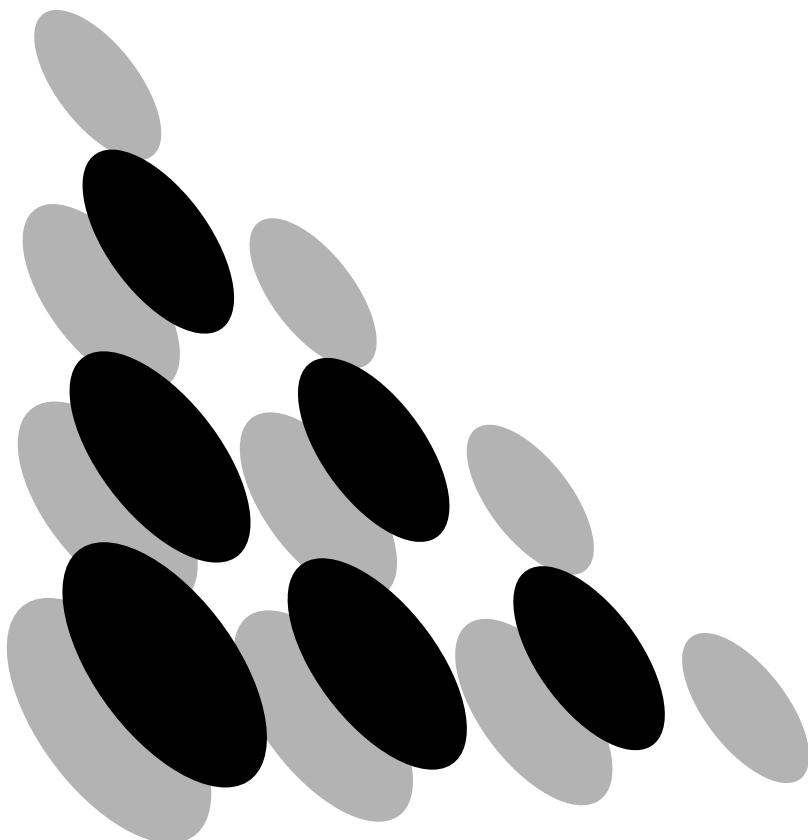
FUJITSU FM SERIES PERSONAL COMPUTER

FMシリーズ

漢字プリンタ-15

(FMPR-373A)

取扱説明書



FUJITSU

FUJITSU

このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。

目 次

製品を安全に使用していただくために	
はじめに	i
安全上のご注意	iii
プリンタ設置および移動時のご注意	iii
プリンタ使用時のご注意	v
本書の構成	ix
プリンタ編.....	1
第 1 章 お使いになる前に	3
主な特長.....	4
製品の内容.....	5
使用上のお願い.....	6
設置場所について	6
電源について	7
F M R シリーズでの F M - O A S Y S および O A S Y S 専用機での使用について	8
パソコンとの接続について	8
Windows 環境とプリンタドライバについて	9
各部の名称とはたらき	9
各部の名称	9
各部のはたらき	10
プリンタを設置する	11
輸送用固定材の取り外し	12
カバーの取扱いについて	13
パソコンとの接続	16
電源コードの接続	17
電源の投入と切断	19
電源を入れる	19
電源を切る	20
リボンカセットを取り付ける	21
第 2 章 プリンタの機能とその使いかた	23
操作パネルの機能	24
ランプ	24
スイッチ	25
機能設定を変える	27
機能設定の変えかた	27
機能設定の種類	29
行間ズレを直す	35
用紙の吸込量を調整する	36
自動検出機能	37
エラー表示機能	38

目 次

第 3 章 用紙のセット	39
用紙をセットする	40
連続帳票用紙をセットする	40
単票用紙をセットする	44
用紙のセット(カットシートフィーダ搭載時)	46
自動給紙印刷の用紙のセット	46
手挿入印刷の用紙のセット	50
カットシートフィーダ搭載状態で 連続帳票をご使用の場合	52
用紙厚を調整する	55
印刷開始位置について	57
印字開始位置(行方向)を微調整する	57
第 4 章 用紙について	59
連続帳票用紙	60
単票用紙	64
カットシートフィーダで使用できる用紙	67
とじ穴の開けかた	70
はがきを使用するとき	70
プレプリント用紙を使用するとき	70
取扱い上のご注意	72
第 5 章 保守と点検	73
リボンカセットを交換する	74
リボンカセットの種類	74
交換のしかた	74
サブカセットの交換のしかた	75
用紙づまりのとき	77
連続帳票用紙がつまつたとき	77
単票用紙がつまつたとき	79
カットシートフィーダご使用での	80
紙づまりの取り除き方	80
用紙が給紙ホッパ内に見えている場合	80
内部で紙づまりを起こした場合	80
プリンタがうまく動かないとき	81
電源投入時の不具合	81
単票用紙吸入時の不具合	81
連帳用紙吸入時の不具合	82
印字中の問題点	83
印字結果の問題点	83
印字位置の問題点	84
印字位置がページによってズレる	85
カットシートフィーダ使用時の不具合	85
「用紙切れ」ランプが点滅するとき	87
テスト印字をする	88
清掃のしかた	90
プリンタを輸送するとき	91
アフターサービス	92

第 6 章 オプション	93
カラーユニットの取付け	94
カットシートフィーダのご使用方法	95
カットシートフィーダ使用上のご注意	95
カットシートフィーダの搭載方法	96
カットシートフィーダ仕様	98
付 錄	101
プリンタの概略仕様	102
外観図	104
テスト印字サンプル	106
F M モード	106
E S C / P モード	107
インターフェース仕様	108
E S C / P モードの制限事項	115
初期状態	116
F M モード	116
E S C / P モード	117
コマンド一覧表	118
F M モードコマンド一覧表	119
E S C / P モードコマンド一覧表	127
キャラクタコード一覧表	132
F M モードキャラクタコード一覧表	132
E S C / P モードキャラクタコード一覧表	133
非漢字一覧表	135
J I S - 90 第一水準漢字一覧表	140
J I S - 90 第二水準漢字一覧表	143
ご注意	146

ソフトウェア編 149

第 1 章 ソフトウェアの概要	151
添付ソフトウェアの機能	152
プリンタドライバの動作環境	152
プリンタの動作環境	153
フロッピィディスクの内容	154
プリンタドライバのインストール	155
Windows 95/98/Me のとき	155
Windows NT4.0 のとき	162
Windows 2000 のとき	169
第 2 章 プリンタドライバ設定	177
プリンタドライバの設定	178
Windows 95/98/Me の設定画面	178
Windows NT4.0 の設定画面	189
Windows 2000 の設定画面	202
印刷可能領域	216
印刷の向き	220
給紙方法	221
印刷品質	222

製品を安全に使用していただくために

本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なこと
がらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。

特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容を
よく理解したうえで製品を使用してください。

本書はお読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管
してください。

VCCI適合基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくク
ラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としてい
ますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信
障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

電源の瞬時低下について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがありま
す。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることを
お薦めします。

（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

国際エネルギーestarプログラムについて

当社は国際エネルギーestarプログラムの参加事業者として、本製品が国際エネル
ギースタープログラムの基準に適合していると判断します。



この装置は、国際エネルギーestarプログラムの基準に適
合しております。国際エネルギーestarプログラムはコン
ピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化促
進のための国際的なプログラムです。このプログラムはエ
ネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の
開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断
により参加することができる任意制度となっています。対
象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、
ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれ
の基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一され
ています。

本製品のハイセイフティ用途について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

リサイクル部品の使用について

地球環境への配慮から本製品には一部リサイクル部品を使用しています。

All Rights Reserved, Copyright[©] 2001 富士通株式会社

はじめに

このたびは、漢字プリンタ-15(FMPR-373A)をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、プリンタが十分に機能を発揮できますよう正しい取り扱いをお願いいたします。

「FM プリンタシーケンスリファレンスマニュアル（シリアルプリンタ編）」（別売）について
「FM プリンタシーケンスリファレンスマニュアル（シリアルプリンタ編）」（マニュアルコード：80H P-0700-*）では、プログラムを作成する方のために、本プリンタで使用できる FM モードのコマンドについて詳しく説明しています。
(マニュアルコード：80H P-0700-* 末尾の「*」は版数を表します。)

2001 年 10 月

ESC/P は、セイコーエプソン(株)の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

本文中の略語について

本文中では、Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 日本語版および Microsoft® Windows NT® Server operating system Version 4.0 日本語版を Windows NT 4.0、Microsoft® Windows 2000 Professional 日本語版および Microsoft® Windows 2000 Server 日本語版を Windows 2000 と表記しています。Windows NT 4.0 と Windows 2000 を同時に示す場合は Windows NT 4.0/2000 と表記しています。また、Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版を Windows 95、Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版を Windows 98、Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版を Windows Me と表記しています。Windows 95 と Windows 98 及び Windows Me を同時に示す場合は Windows 95/98/Me と表記しています。

警告表示マークについて

本書ではいろいろな絵表示をしています。これは製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、本文をお読み下さい。

 警告	 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味

	示した記号は、警告、注意を促す事項があることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。
	高温による傷害の危険性について記述していることを示します。 <small>高温注意</small>
	発火する危険性について記述していることを示します。 <small>発火注意</small>
	触れることによって傷害が起こる可能性について記述していることを示します。 <small>接触禁止</small>
	機器を分解することにより、感電などの傷害が起こる可能性について記述していることを示します。 <small>分解禁止</small>
	一般的な禁止事項を記述していることを示します。 <small>一般的禁止</small>
	一般的な注意事項を記述していることを示します。 <small>一般的注意</small>

安全上のご注意

プリンタ設置および移動時のご注意



プリンタの上にまたは近くに「花びん・植木鉢・コップ」などの水の入った容器、金属物を置かないでください。

感電・火災の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所におかないでください。

感電・火災の原因となります。

電源プラグは、交流 100V、10A 未満の専用コンセントには差しこまないでください。また、タコ足配線をしないでください。

感電・火災の原因となります。

添付の電源コード以外は使用しないでください。

感電・火災の原因となります。



電源を接続する前に必ず以下のいずれかにアース接続してください。

- ・電源コンセントのアース線
- ・銅片などを 650mm 以上地中に埋めたもの
- ・接地工事（第 3 種）を行っている接地端子

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。



風呂場、シャワー室など、水のかかる場所で使用しないでください。

火災や感電の原因となります。



オプション機器の取り付けや取り外しを行う場合は、プリンタ本体およびパソコン本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。

感電の原因となります。

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。

感電・火災または故障の原因となります。

注意



プリンタの開口部（通風孔など）をふさがないでください。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。

高温によってカバーなどが加熱・変形・溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温になり、火災の原因となることがあります。



プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。接続ケーブルなどもはずしてください。作業は足元に十分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、本プリンタが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

プリンタケーブルの抜き差しは、必ずパソコンとプリンタの電源を切ってから行ってください。

電源を切らずに行うと、パソコンやプリンタが故障する原因となることがあります。

プリンタ使用時のご注意



異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。故障の修理はお買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（92 ページ参照）にご依頼ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。

火災・感電の原因となります。

プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。

重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源コードを傷め、感電・火災の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

カバーを外した状態でコンセントを差したり、電源を入れたりしないでください

感電・火災の原因となります。

開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

感電・火災の原因となります。



プリンタ本体のカバーや差し込み口についているカバーは、必要な場合を除いて取り外さないでください。内部の点検、修理はお買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（92 ページ参照）にご依頼ください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

プリンタをお客様自身で改造しないでください。

感電・火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。

警告



万一、プリンタから発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が消えるのを確認してお買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（92 ページ参照）にご依頼ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

異物（水・金属片・液体など）がプリンタの内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
その

後、お買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（92 ページ参照）にご連絡ください。

そのまま使用すると感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（92 ページ参照）にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



電源プラグの金属部分、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると、火災の原因となります。

⚠ 注意



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

火災・故障の原因となることがあります。

プリンタが動作しているとき、給紙口や排紙口に髪やネクタイなどが巻き込まれないように注意してください。

けがの原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っ張ると、コードの芯線が露出したり断線して、火災・感電の原因となることがあります。

使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因となることがあります。

電源コードを束ねて使用しないでください。

発熱して、火災の原因となることがあります。



長期間プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災の原因となることがあります。

近くで雷が起きたときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。

入れたままにしておくと、プリンタを破壊し、お客様の財産に損害を及ぼす原因となることがあります。



使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。

やけど・けがの原因となることがあります。

⚠ 注意



プリンタが動作しているとき、給紙口や排紙口に手を触れないでください。
けがの原因となることがあります。

プリンタケーブルコネクタや印字ヘッドの金属部には触らないでください。
けがやプリンタの破壊の原因となることがあります。

印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れないでください。
やけど・けがの原因となることがあります。



連帳用紙は、連続して逆送りをさせると用紙送りトラクタから外れることがありますので注意してください。

用紙厚に対して用紙厚調整レバーのセットを適正状態で取り扱ってください。
リボンカセットは、指定の純正品を使用してください。

リボンカセットはインク補給機構を内蔵し、濃い印字を長く持続します。
インクを使い切ると印字が薄くなり、そのまま使い続けるとリボンの布地がケバ立ち、纖維
クズが発生することがあります。この様な現象が見られたら早目にリボンカセットを交換して
ください。
なお、プリンタの内部やローラ部に纖維クズがたまっている場合は、定期的に清掃してくだ
さい。

リボン巻取りノブは、反時計方向に回さないでください。リボンがロックして回転できなく
なります

リボンがたるんまだま印字を開始すると、リボンがからまつたり、リボンの巻取りがロック
することがあります。

使用済のリボンカセットは、不燃物として処理してください。

印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。リボン交換時は温度が下がったことを確か
めてから、印字ヘッドをリボン交換位置に移動してください。



本書の構成

本書は、プリンタ装置の設置や操作について説明する「プリンタ編」と、プリンタドライバのインストールについて説明する「ソフトウェア編」からなります。

【プリンタ編】

本プリンタをお使いになる前の準備、プリンタの機能とその使いかた、用紙のセットのしかた、保守と点検のしかたなどについて順を追って説明します。

◆ 第1章 お使いになる前に

お使いになる前に知っておいていただきたいこと、設置のしかた、リボンカセットの取付けかた、電源の投入／切断について説明しています。

◆ 第2章 プリンタの機能とその使いかた

操作パネルの機能や機能設定の変えかたなど、プリンタのもつ機能と、その使いかたについて説明します。

◆ 第3章 用紙のセット

連続帳票用紙、単票用紙のセットのしかた、用紙厚の調整のしかた、印刷開始位置、行間ズレの直しかた、および用紙の吸入量の調整のしかたを説明しています。

◆ 第4章 用紙について

このプリンタで使用できる用紙と取り扱い上の注意点について説明します。

◆ 第5章 保守と点検

リボンカセットの交換や、用紙詰まりなどトラブルの対処のしかた、テスト印字のしかた、およびアフターサービスなどについて説明しています。

◆ 第6章 オプション

このプリンタのオプションの取り付けおよび取り外しについて説明しています。

◆ 付録

このプリンタの仕様などの技術情報、使用できる用紙の詳細、プリンタの持つ自動検出機能について説明しています。

【ソフトウェア編】

◆ 第1章 ソフトウェアの概要

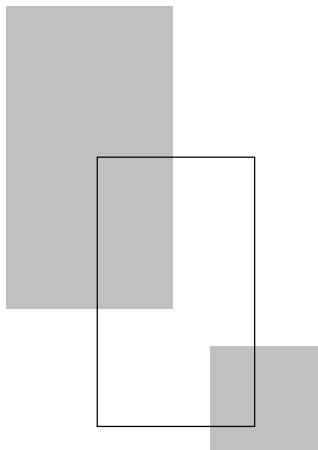
プリンタに添付されているソフトウェアの基本的なことからやインストール方法について説明しています。

◆ 第2章 プリンタドライバの設定

プリンタドライバの設定方法について説明しています。

プリンタ編



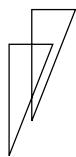


第 1 章

お使いになる前に

この章では、プリンタの主な特長や製品の内容、使用上の注意事項、各部の名称とはたらき、設置のしかた、リボンカセットの取付け、電源の投入／切断について説明します。

主な特長	4
製品の内容	5
使用上のお願い	6
設置場所について	6
電源について	7
F M R シリーズでの F M - O A S Y S および O A S Y S 専用機での使用について	8
パソコンとの接続について	8
Windows 環境とプリンタドライバについて	8
各部の名称とはたらき	9
各部の名称	9
各部のはたらき	10
プリンタを設置する	11
輸送用固定材の取り外し	12
カバーの取扱いについて	13
パソコンとの接続	16
電源コードの接続	17
電源の投入と切斷	19
電源を入れる	19
電源を切る	20
リボンカセットを取り付ける	21



主な特長

◆ 優れた印字品質

- ・ ピン径 0.2mm の 24 ピン印字ヘッドは、日本語の表現に適した見やすく優れた印字品質を実現します。

◆ 印字処理時間の短縮

- ・ 同一行内に漢字、ANK が混在したときは、自動的に速度を切り替えて高速度で印字します。
- ・ 自動的に正逆方向の最短距離を判別して印字します。
- ・ 印字中に新しいデータを受信するダブルバッファ方式を採用し、印字処理時間の短縮をはかっています。
- ・ ドットの間引き印字（高速印字モード）により、さらに高速度で印字できます。

◆ 専用 Windows プリンタドライバ添付

- ・ Windows 95/98/Me、Windows NT4.0/2000 対応の専用プリンタドライバ（ESC/P モード用）を添付しています。

◆ 多彩な印字機能

- ・ JIS 第一水準および第二水準漢字を印字できます。
- ・ 漢字、ANK の標準文字のほかに拡大文字、縮小文字なども印字できます。
- ・ グラフィック印字が可能です。
- ・ カラーユニット（別売り品）を使用して、7 種類の色を印字できます。

◆ 優れた操作性

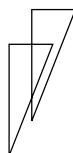
- ・ 用紙の自動吸入機能（オートローディング）で単票用紙を簡単にセットできます。
- ・ 連続帳票用紙をスイッチ操作で後退させられるので、連続帳票用紙をセットしたまま、単票用紙に印字できます。

◆ 省資源対応

- ・ 待機時 10W 以下の省エネルギー設計です。

◆ U S B インターフェース対応

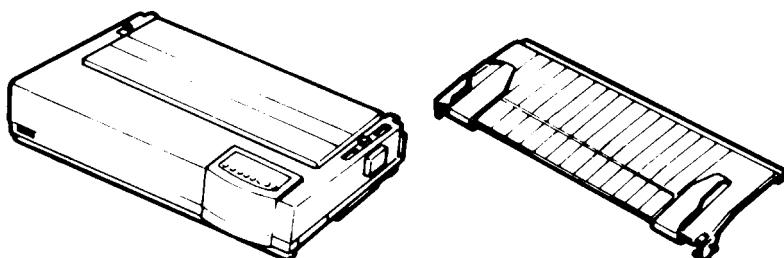
- ・ オプションのパラレル/U S B 変換ケーブル（型名:FMV-CBL721）を使用することにより、U S B インターフェースに接続することができます。



製品の内容

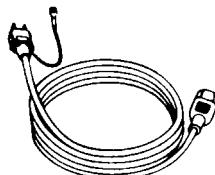
お使いになる前に、以下の物が揃っていることを確認してください。

なお、プリンタが入っていた箱は、プリンタの保管・輸送の際に必要になりますので捨てないでください。

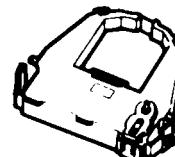


プリンタ本体

リアカバー



電源コード(1本)



リボンカセット(黒、1個)



プリンタドライバディスク



取扱説明書



保証書(梱包箱に貼付)



センドバックラベル

お願い

- ・本プリンタにプリンタケーブルは含まれていません。プリンタケーブルは、別途用意してください。なお、不明な点については、お買い求めの販売店、またはハードウェア修理相談センター(92ページ参照)までお問い合わせください。
- ・保証書に必要な事項が書かれていることを確認してください。
お買い求めのときに、正しい記載のなかった保証書は無効となり、無償保証を受けられないことがあります。
- ・保証書は大切に保管してください。



使用上のお願い

このプリンタを使用する際には、以下の点に十分留意されるようお願いします。不明な点については、お買い上げの販売店、またはハードウェア修理相談センター（92ページ参照）にご相談ください。

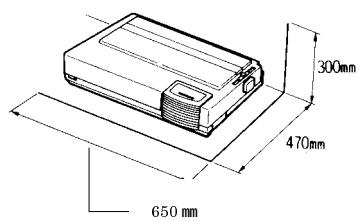
設置場所について

▲注意

- ・長時間直射日光の当たる場所や、エアコンの前など極端に温度や湿度が変わる場所には設置しないでください。
温度と湿度が、以下の範囲内の場所に設置してください。
 - ・周囲温度：5 ~ 35
 - ・周囲湿度：30% ~ 80%
 - （結露しないこと）
- ・水平で安定した平面に設置してください。
- ・通風口をふさがないでください。
- ・振動のある場所には設置しないでください。
- ・落としたり、ぶつけたりして衝撃を与えないでください。
- ・ほこり、腐食性ガス、潮風にさらされる場所は避けてください。
- ・磁石はもちろん、テレビやスピーカなど磁気の強いものの近くに設置しないでください。

▲注意

プリンタを設置するときには、右図のとおりです。十分なスペースがないと正しい設置や操作ができません。図を参考にしてゆとりのある設置場所を確保してください。



電源について

- 次の電圧、周波数の範囲の電源を利用して下さい。

- 電源電圧 : AC100V ± 10%

- 電源周波数 : 50 ~ 60Hz + 2% , -4%

▲警告



発火注意

万一、発煙、異臭、異常音などがある場合には、
電源を切ってください。

感電や火災のおそれがあります。

使用方法について

▲注意



一般的禁止

- プリンタの上に物を置かないでください。
- 長時間プリンタを使用しないときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
- 万が一、近くで雷が起きたときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
入れたままにしておきますと、機器を破壊し、お客様の財産に損害をおよぼす可能性があります。
- 用紙およびリボンカセットをセットしていない状態で、印字しないでください。
印字ヘッドやプラテンが痛みます。

▲注意



高温注意

印字ヘッドは高温になります。温度が下がるまで
触らないでください。

火傷、けがのおそれがあります。

▲注意



接触禁止

- プリンタケーブルコネクタ、印字ヘッドの金属部には触らないでください。
- 印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れたり、電源を切ったりしないでください。

FMRシリーズでのFM-OASYSおよびOASYS専用機での使用について

FMRシリーズでのFM-OASYS使用およびOASYS専用機に接続されてご使用される場合は、プリンタの機能設定で「ホストインターフェース」および「モード設定」を「FM」(29ページ参照)に、「受信バッファ」を「無し」(34ページ参照)に設定してください。

パソコンとの接続について

本プリンタは、FMR/FMVシリーズパソコン共用プリンタです。それぞれのパソコンとの接続につきましては、以下の点に注意しご使用ください。

- 1) FMR/FMVシリーズパソコン プリンタの順に電源を投入してください。プリンタ側で自動的にホストインターフェースをFMR(FMインターフェース)またはFMV(ATインターフェース)に切り替えます。
 - 2) プリンタ FMR/FMVシリーズパソコンの順に電源を投入する可能性がある場合は、ホストインターフェースの自動識別が出来ない場合がありますので、ホストインターフェースを以下のように設定してご使用ください。また、パソコン側のプリンタポートや、プリンタケーブルの仕様によってもうまく自動識別が出来ない場合がありますので、その時も同様に設定してご使用ください。
 - ・ FMRシリーズパソコンと本プリンタを接続する場合、「ホストインターフェイス」を「FM」に設定してください。
 - ・ FMVシリーズパソコンと本プリンタを接続する場合、「ホストインターフェイス」を「AT」に設定してください。
- 設定のしかたについては、「機能設定を変える」(29ページ)を参照してください。

Windows環境とプリンタドライバについて

以下のプリンタドライバで印刷することができます。

	FMRシリーズ		FMV/AT互換機	
	FMモード	ESC/Pモード	FMモード	ESC/Pモード
Windows3.1	FMPR 180 *1	-	FMPR 180 *1,*3	FUJITSU ESC/P *1
WindowsNT3.51		-		
Windows95	-	-	FMPR-373 *1,*3	FMPR-373A(Monochrome) FMPR-373A(Color) *2
Windows98	-	-		
WindowsMe	-	-		
WindowsNT4.0	-	-		
Windows2000	-	-	-	

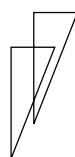
*1: OS添付ドライバ

*2: プリンタ装置添付ドライバ

-: 印刷できるドライバはありません。

*3: FMV/AT互換機接続の場合、ESC/Pモードが自動設定されますので、機能設定のモード設定をFMモードに変更する必要があります。

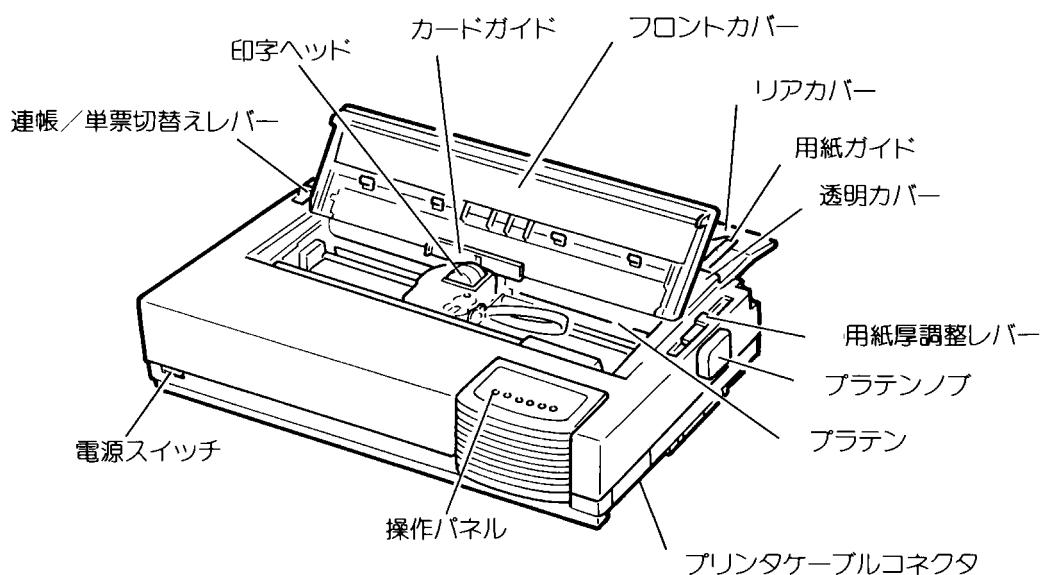
機能設定の変更方法は「機能設定を変える」(29ページ)を参照してください。



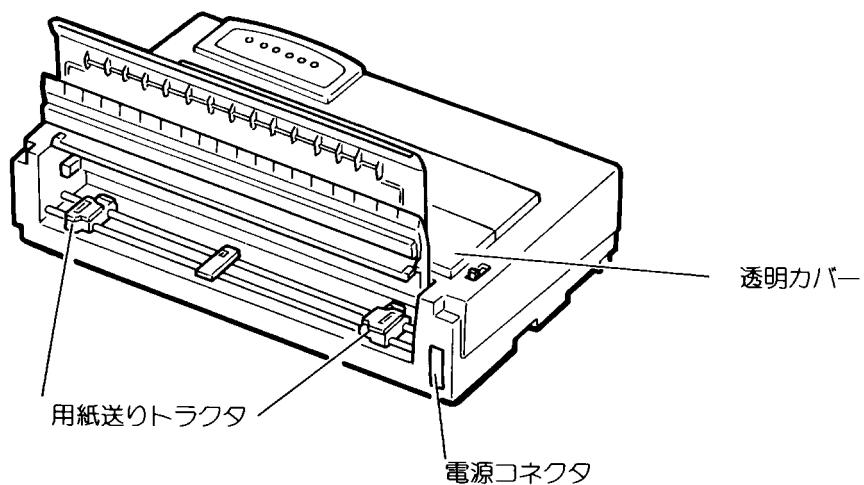
各部の名称とはたらき

各部の名称

正面



背面

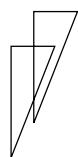


各部のはたらき

各部の名称	はたらき
フロントカバー	印字ヘッドをホコリやチリから守ります。
リアカバー	単票用紙の送りを支えます。単票用紙を使うときには立てて使います。連続帳票用紙を使うときは倒します。
用紙ガイド	印字する用紙の幅に合わせてセットします。
透明カバー	用紙の送りを支え、用紙の排出をガイドします。
用紙厚調整レバー	使用する用紙の厚さおよび枚数に応じて印字ヘッドとプラテンの間隔を変えます。
プラテンノブ	プラテンをまわすノブです。
プラテン	用紙を支えたり、送ったりします。
プリンタケーブルコネクタ	プリンタケーブルをここに接続して、プリンタとパソコンをつなぎます。
操作パネル	プリンタの状態を示すランプ、プリンタを操作するための各種スイッチがあります。（☞詳細については、『第2章 プリンタの機能とその使いかた』の「操作パネルの機能（24ページ）」を参照。）
電源スイッチ	「 」側を押すと電源が入り、「」側を押すと電源が切れます。
連帳／単票切替えレバー	連続帳票用紙か単票用紙かを選択します。
印字ヘッド	用紙に印字する部分です。
カードガイド	用紙を送るときの案内板です。また、カードガイド上のリブは、行方向の印字位置を合わせるための目安です。
用紙送りトラクタ	連続帳票用紙をプリンタ内部へ送ります。
電源コネクタ	電源コードを接続します。

お願い

- 印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。
- 印字中は、フロントカバーを開けないでください。



プリンタを設置する

設置手順

プリンタは下記の手順を確認しながら設置してください。

1 製品が全てそろっていることを確認する

梱包されている製品は「製品の内容」(5 ページ) を参照してください。

2 カバー部品を固定しているテープを外す

(テープは 3 本あります。)

3 フロントカバーを開けて輸送用固定材を外す

輸送用固定材の取り外しについては「輸送用固定材の取り外し」(12 ページ) を参照してください。

4 リアカバー(シートガイド)を取り付ける

リアカバー(シートガイド)の取り付けについては「リアカバー(シートガイド)の取り付け・取り外し」(13 ページ) を参照してください。

5 電源コードを接続する

電源コードの接続については「電源コードの接続」(17 ページ) を参照してください。

6 リボンカセットを取り付ける

リボンカセットの取り付けについては「リボンカセットを取り付ける」(21 ページ) を参照してください。

7 必要に応じて機能設定を変更する

機能設定の変更方法については「第2章 プリンタの機能とその使いかた」(23 ページ) を参照してください。

8 パソコンと接続する

プリンタケーブル(別売り)を準備します。パソコンとの接続については「パソコンとの接続」(16 ページ) を参照してください。

9 ドライバをインストールする

ドライバのインストールについては『ソフトウェア編』を参照してください。

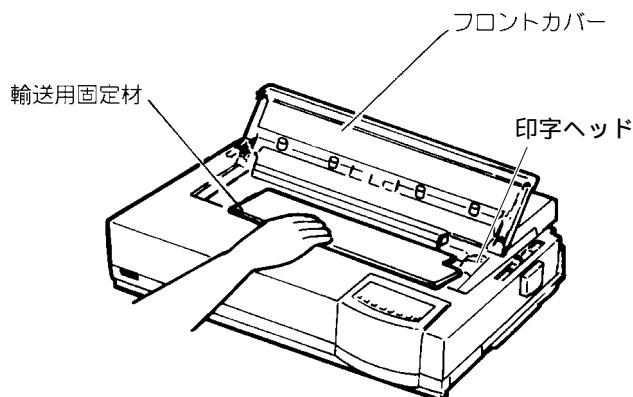
輸送用固定材の取り外し

輸送中の振動などから印字ヘッドを保護するため、輸送用固定材が取り付けられています。プリンタを使用する前に、必ず取り外してください。

お願い

取り外した輸送用固定材は、箱と一緒に保管しておき、再びプリンタを輸送する場合や保管する場合に使用してください。

フロントカバーを開けて、印字ヘッドを固定している輸送用固定材を上に抜き取ります。

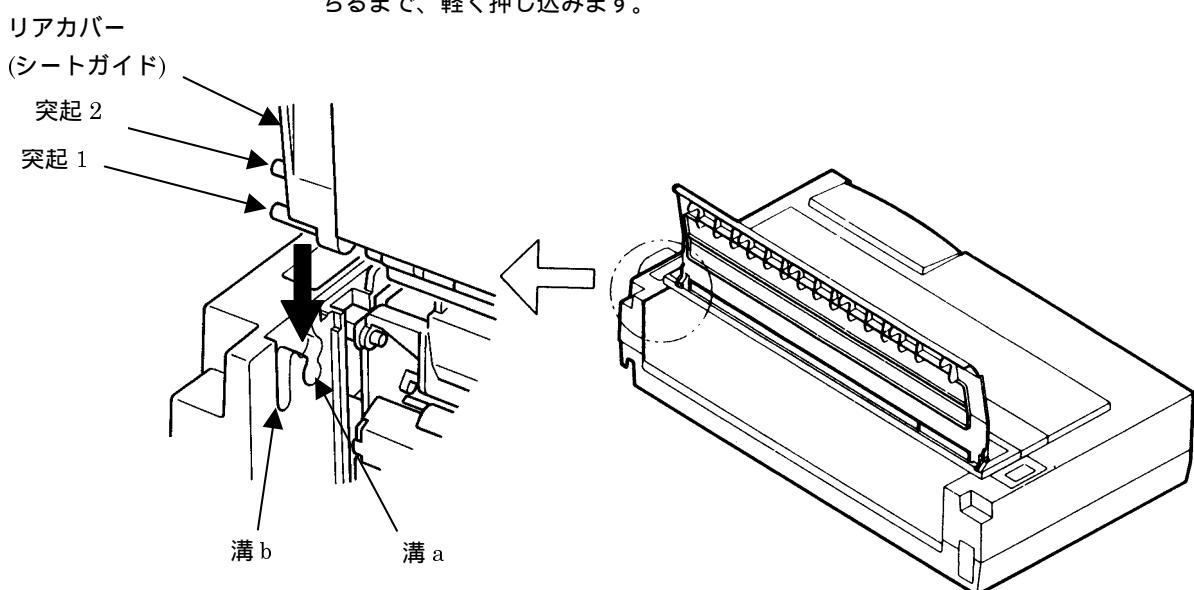


カバーの取扱いについて

◆ リアカバー（シートガイド）の取り付け・取り外し

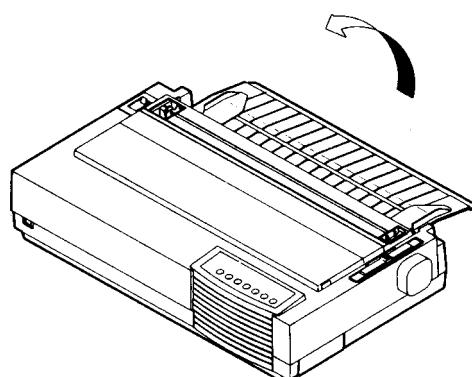
【取り付け方】

- 1) リアカバー（シートガイド）を立てた状態で、リアカバー（シートガイド）の突起 1 をアップカバーの溝 a に入れます。
- 2) リアカバー（シートガイド）の突起 2 がアップカバーの溝 b に完全に落ちるまで、軽く押し込みます。



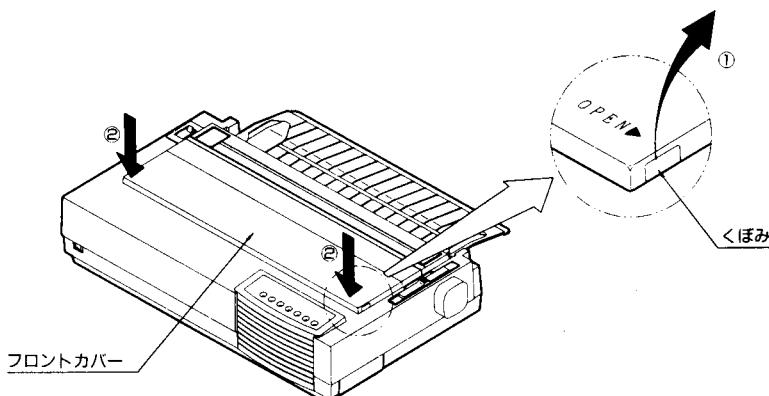
【取外し方】

リアカバー（シートガイド）を手前側に回転します。



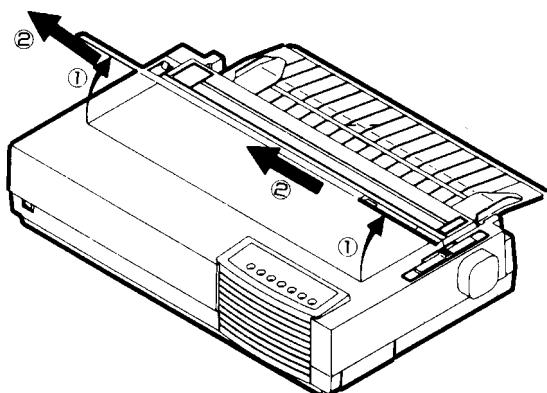
◆ フロントカバーの開閉

- 1) フロントカバー左右のくぼみに指を掛け、上に引いて開けます。
- 2) フロントカバーの手前側を押して閉じます。



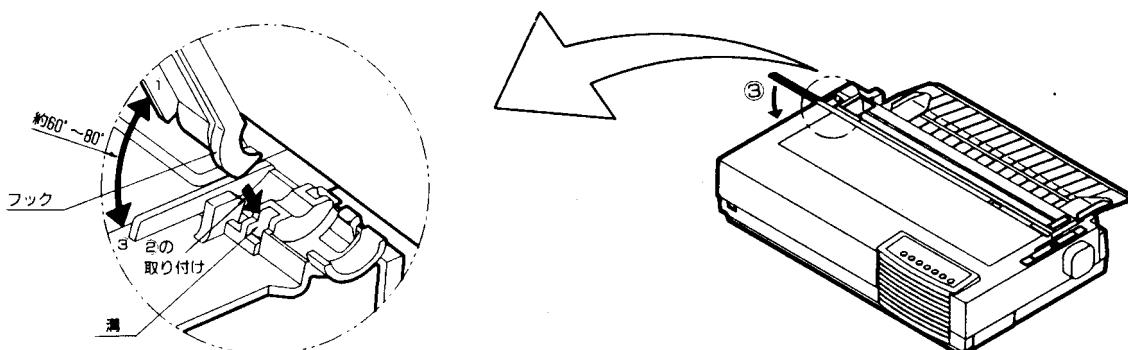
【取り外し方】

- 1) フロントカバーを開けます。
- 2) フロントカバーをそのまま上方に持ち上げま



【取り付け方】

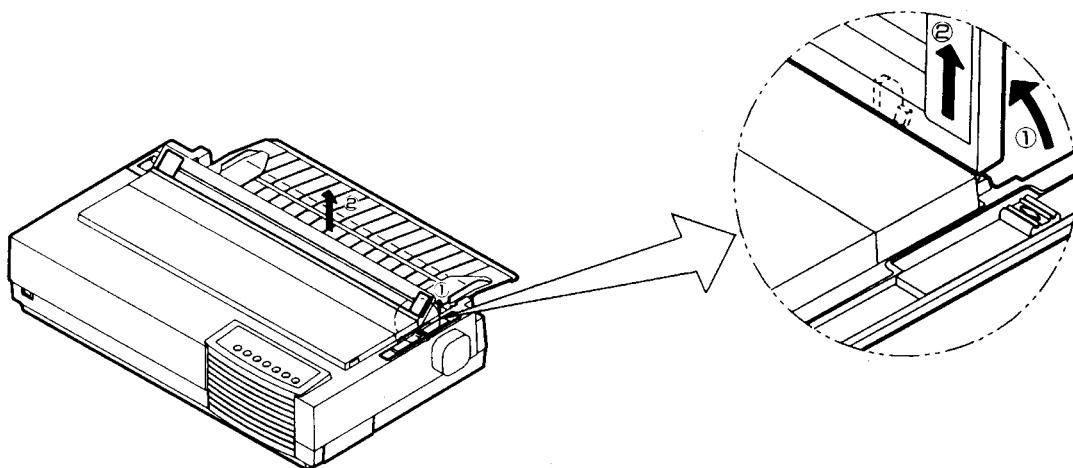
- 1) フロントカバーのフックをアップカバーの溝に差し込みます。
- 2) フロントカバーを閉じます。



透明カバーの取り付け・取り外し

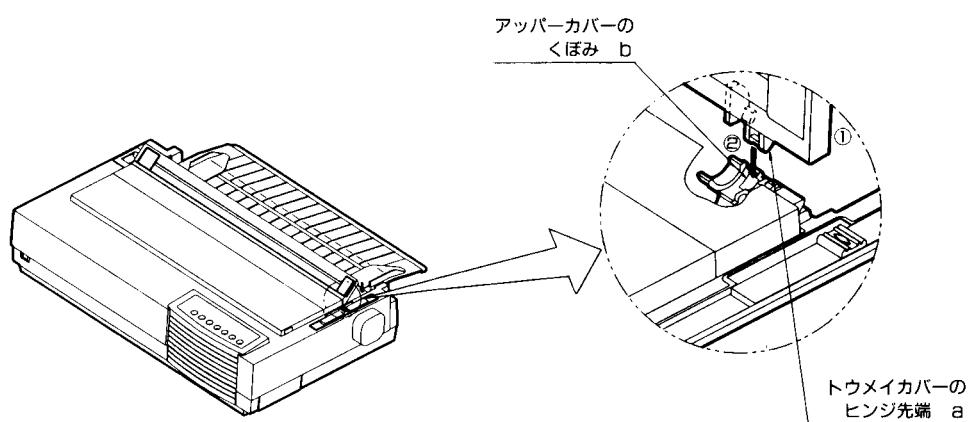
【取り外し方】

- 1) 透明カバーを開けます。
- 2) 透明カバーをそのまま後側へ引き上げます。



【取り付け方】

- 1) 透明カバーを垂直にします。
- 2) 透明カバーのヒンジ先端 a をアッパーカバーの窪み b に落とし込みます。
- 3) そのまま後ろに倒すように回転させ、透明カバーを閉じます。



パソコンとの接続

このプリンタは、セントロニクス仕様のパラレルインターフェースを備えています。プリンタケーブルは接続するパソコンによって異なります。別途用意してください。

▲警告



感電 プリンタケーブルを抜き差しするときは、必ずパソコンと本プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行なってください。
感電の原因となります。

▲注意



感電 プリンタケーブルの接続は間違いがないようにしてください。
誤った接続状態で使用すると、プリンタ本体およびパソコン本体が故障する原因となることがあります。

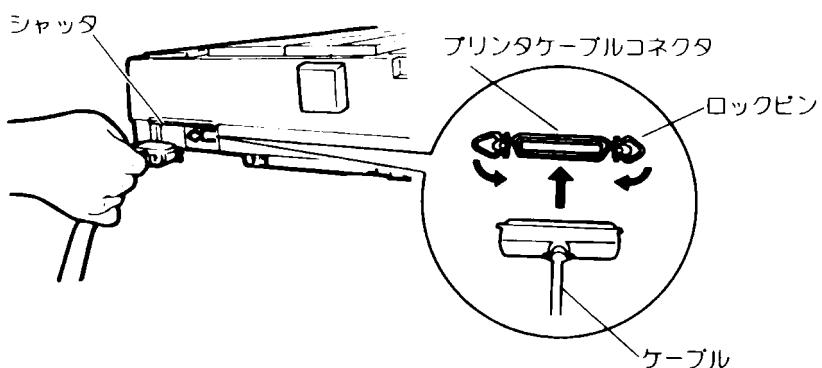
パソコンとの接続は、次の手順で行います。

1 プリンタとパソコンの電源を切る

電源スイッチが「」側に倒れていることを確認します。

2 プリンタ側面のプリンタケーブルコネクタのシャッタを持ち上げる

3 プリンタケーブルの一方のプラグを、プリンタ側面のプリンタケーブルコネクタに差し込み、左右のロックピンで固定する



4 ケーブルのもう一方をパソコンに接続する

接続の方法は、お使いになるパソコンのマニュアルをご覧ください。プリンタケーブルは、シールドタイプの1.5m以下のものをご使用ください。

電源コードの接続

▲警告



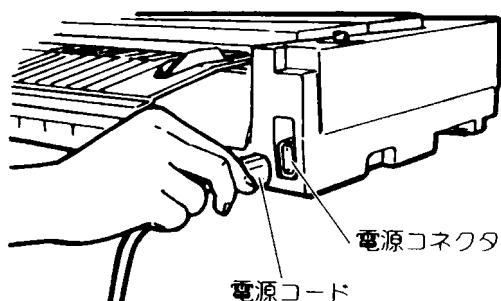
添付の電源コード以外は使用しないでください。
プラグから出ている緑色のアース線を、必ず次の
いずれかに取り付けてください。
 ・銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
 ・接地工事(第3種)を行なっている接地端子
 アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

電源コードの接続は、次の手順で行います。

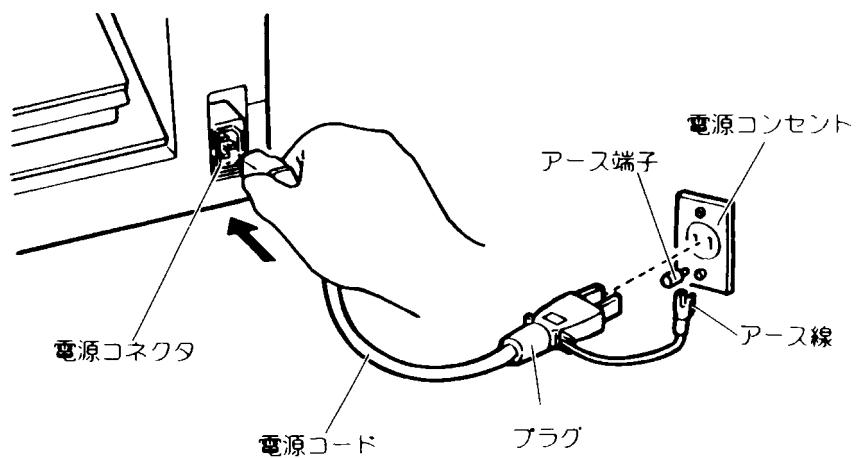
1 プリンタとパソコンの電源を切る

電源スイッチが「」側に倒れていることを確認します。

2 プリンタ背面の電源コネクタに電源コードを接続する



**3 電源コードのプラグを電源コンセントへ接続し、電源コードの
プラグのアース線を、電源コンセントのアース端子に接続する**



お願い

電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。



電源の投入と切斷

プリンタの電源の入れかたと切りかたについて説明します。

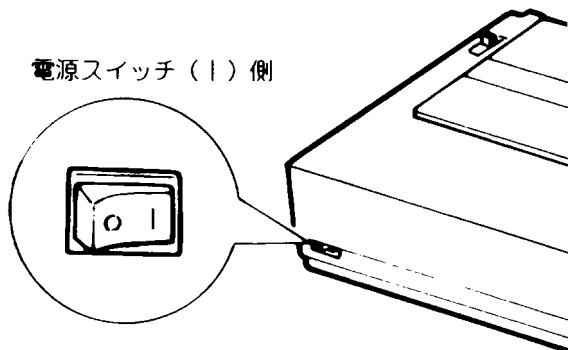
電源を入れる

お願い

購入後初めてプリンタに電源を入れるときは、次の点を確認してください。

- 輸送用固定材（印字ヘッド部保護用固定材）が取り外してあること
- 電源コンセントの電源電圧が 100V、電源周波数が 50 または 60Hz であること

フロントカバーが閉じていることを確認して、プリンタの前面にある電源スイッチの（|）側を押します。

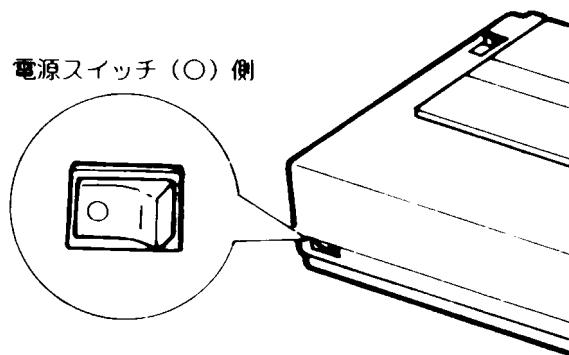


電源を切る

お願い

- ・電源の切断は、必ず電源スイッチで行ってください。電源プラグを抜いて電源を切ると、プリンタ内の回路を傷めたりする場合があります。
- ・印字ヘッドが動いているときは、電源を切らないでください。
- ・電源を切った後、再び電源を入れる場合は、4秒以上待ってください。間隔を開けずに電源を入れると、故障の原因になります。

「電源ランプ」が点灯しているときに、電源スイッチの(○)側を押します。





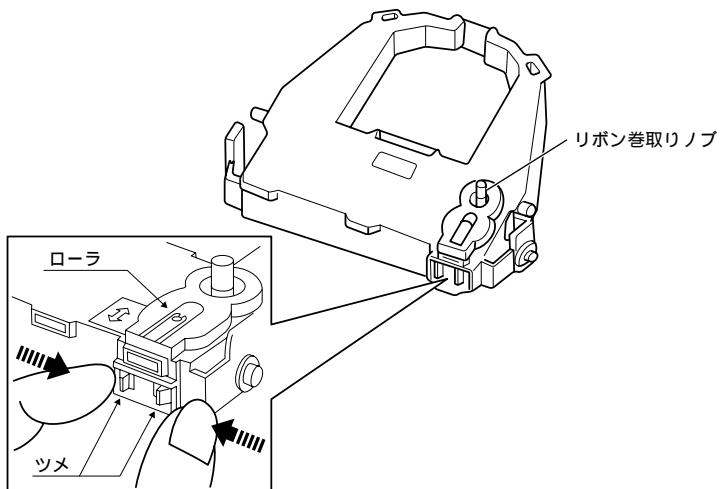
リボンカセットを取り付ける

リボンカセットの取り付けは、次の手順で行います。

- 以下の手順でローラのロックを外し、リボン巻取りノブを時計回りに回してリボンのたるみをとる

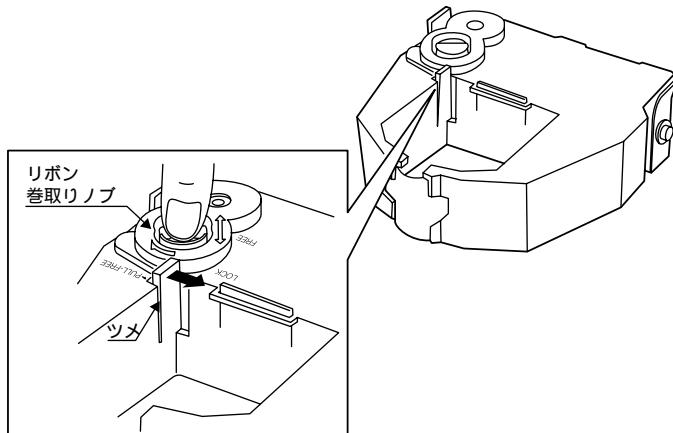
- ・黒リボンカセット

リボンカセット側面にロックしてある2個のツメを外して、ローラを「FREE」側にします。



- ・カラーリボンカセット

リボンカセットのアーム内側にあるツメを矢印方向に引きながらリボン巻取りノブを「FREE」の方向に押します。



お願い

リボン巻取りノブは、反時計方向に回さないでください。

- 2 電源が切れていることを確認する
(電源スイッチが(側)に倒れた状態です。)
- 3 用紙厚調整レバーを“D”の位置にセットする
- 4 フロントカバーを開ける

- 5 印字ヘッドをプリンタの中央に寄せる

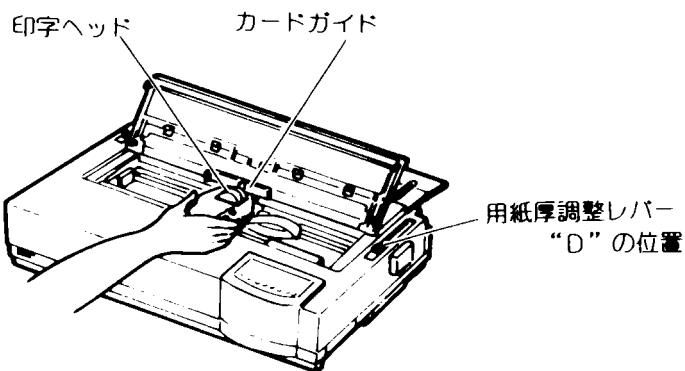
▲注意



使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。

高温注意

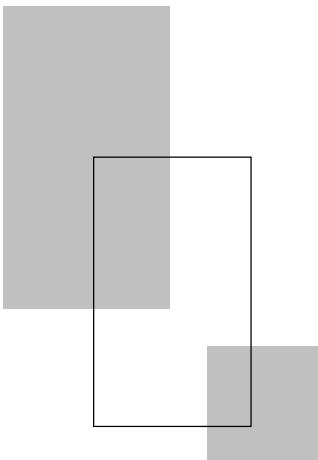
- 6 印字ヘッドとカードガイドの間にリボンを通し、リボンカセットを静かに押し込む
(リボン巻取りノブが上になるようにセットする)



お願い

リボンカセット装着前にリボン巻取りノブは、回さないでください。

- 7 リボン巻取りノブを時計回りに回して、リボンのたるみを取る
- 8 リボンカセットの取付け完了後、使用する用紙の厚さ、枚数に合わせて用紙厚調整レバーをセットする。
用紙厚調整レバーについては「第3章 用紙のセット」(55ページ)を参照してください。



第 2 章

プリンタの機能と その使いかた

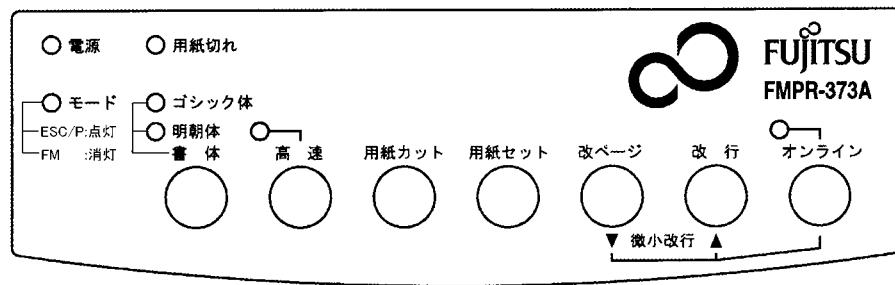
この章では、操作パネルの機能やその使いかたについて説明します。

操作パネルの機能	24
ランプ	24
スイッチ	25
機能設定を変える	27
機能設定の変えかた	27
機能設定の種類	29
行間ズレを直す	35
用紙の吸入量を調整する	36
自動検出機能	37
エラー表示機能	38



操作パネルの機能

操作パネルには、プリンタの状態を示すランプとプリンタを操作するためのスイッチが付いています。



ランプ

ランプの機能は、下表のとおりです。

ランプ名称	色	機能
電源	緑	電源が入ると点灯します。
用紙切れ	橙	用紙がなくなると点灯します。エラー発生時に点滅します。
高速	緑	高速印字モードで点灯します。
オンライン	緑	オンライン状態で点灯します。
明朝体	緑	明朝体が選択されると点灯します。
ゴシック体	緑	ゴシック体が選択されると点灯します。
モード	緑	ESC/P モードのとき点灯します。 FM モードのとき消灯します。

スイッチ

スイッチの機能は、下表のとおりです。

スイッチ名称	機能
オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。 ・オンライン状態のときは、「オンライン」ランプが点灯します。 <p>本文中では、オンラインと表記します。</p>
改行	<p>[オフライン状態のとき]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回押すたびに、1/6インチずつ改行します。 ・押し続けると、連続して改行を行います。 <p>本文中では、改行と表記します。</p>
改ページ	<p>[オフライン状態のとき]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用紙を1ページ分送ります。 ・カットシートフィーダを使用しているときは、カットシートフィーダにセットした単票用紙をプリンタ内部に送ります。 <p>本文中では、改ページと表記します。</p>
用紙セット	<p>[オフライン状態のとき] <u>連帳モードのとき</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・用紙なし状態のときは、用紙を印字開始位置まで送ります。 ・用紙あり状態のときは、用紙が退避位置まで後退します。 <p><u>単票モードのとき</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・用紙なし状態のときは、リアカバーにセットした用紙を印字開始位置まで送ります。 ・用紙あり状態のときは、用紙の排出動作をします。 <p>本文中では、用紙セットと表記します。</p>
用紙カット	<p>[オンライン・オフライン状態のとき] <u>連帳モードのとき</u></p> <p>印字ヘッドがページの先頭印字位置にあるときは、カット位置まで用紙を送ります。 もう一度押すと、用紙が元の位置に戻ります。</p> <p><u>単票モードのとき</u></p> <p>このスイッチは無効です。</p> <p>本文中では、用紙カットと表記します。</p>
高速	<p>[オンライン・オフライン状態のとき]</p> <p>高速印字モードと通常印字モードを切り替えます。 高速印字モードのときは、「高速」ランプが点灯します。 (注) 高速印字モードは、通常印字モードに比べて文字構成の密度が粗くなります。用途や目的に応じて使い分けてください。</p> <p>本文中では、高速と表記します。</p>
書体	<p>[オフライン状態のとき]</p> <p>明朝体とゴシック体を切り替えます。 選択された書体のランプが点灯します。</p> <p>本文中では、書体と表記します。</p>

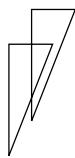
2個のスイッチを使って操作するとき（微小改行）

次のスイッチの組合せで、微小改行等の操作を行うことができます。

名 称	スイッチ	機 能
微小正改行	オンライン + 改 行	[オフライン状態のとき] ・ [オンライン] を押しながら、[改行]を押すと、1回押すたびに1/180インチ単位で正方向に微小改行します。 ・ 押し続けると、連続して微小正改行します。
微小逆改行	オンライン + 改ページ	[オフライン状態のとき] ・ [オンライン] を押しながら、[改ページ]を押すと、1回押すたびに1/180インチ単位で逆方向に微小改行します。 ・ 押し続けると、連続して微小逆改行します。
用紙の吸入量の調整	オンライン + 用紙カット	[オフライン状態のとき] ・ [オンライン] を押しながら、[改ページ]を押すと用紙の吸入量を調整できる状態になります。 ・ 用紙の吸入量を調整する方法は「用紙の吸入量を調整する」(36ページ)参照願います

スイッチを押しながら電源を入れるとき

名 称	スイッチ	機 能
機能設定の変更(FMモード)	高 速	高速スイッチを押しながら電源を入れるとFMモードの機能設定が変更できる状態になります。(27ページ参照)
機能設定の変更(ESC/Pモード)	用紙カット	用紙カットスイッチを押しながら電源を入れるとESC/Pモードの機能設定が変更できる状態になります。(27ページ参照)
行間ズレを直す	高 速 + 用紙カット	高速スイッチと用紙カットスイッチ押しながら電源を入れると、行間ズレを直すための調整パターンを印刷します。(35ページ参照)
テスト印字をする	改 行	改行スイッチを押しながら電源を入れるとテストパターンを印刷します。(90ページ参照)



機能設定を変える

ここでは、動作モード（FM、ESC/P）ごとに設定できる機能の内容と、設定の変えかたについて説明します。

機能設定の変えかた

機能設定の変更は、次の手順で行います。

注1) カットシートフィーダを取り付けているときは、機能設定を変更できません

1 プリンタにA4タテ以上の用紙をセットする

用紙のセットのしかたは「第3章 用紙のセット」を参照してください。

2 電源を切る

（電源スイッチが（ ）側に倒れた状態になります。）

3 機能設定を変更できる状態にする

FMモードの場合は、**高速**スイッチを押しながら電源を入れます。

ESC/Pモードの場合は、**用紙カット**スイッチを押しながら電源を入れます。

以下のメニューを印字し、プリンタの機能設定が変更できる状態になります。

セットアップ開始

設定

終了

設定一覧

初期化

印字ヘッドの位置が選択する項目を示します。

メニューの内容は次のとおりです。

メニュー名	内 容
設 定	プリンタの機能設定を変更します。
終 了	プリンタの機能設定を終了します。
設定一覧	現在の設定内容を印字します。
初 期 化	現在の設定内容を初期設定に戻します。

4 メニューを選択する

改ページ スイッチを押して、選択する箇所に印字ヘッドを移動させます。

改 行 スイッチを押すと選択した項目を実行します。

「設定」を選択したとき 機能名と設定内容が印字されます（下図）。

「設定一覧」を選択したとき 設定一覧を印字します。 6へ

「初期化」を選択したとき 設定を初期化後機能設定の変更を終了します。



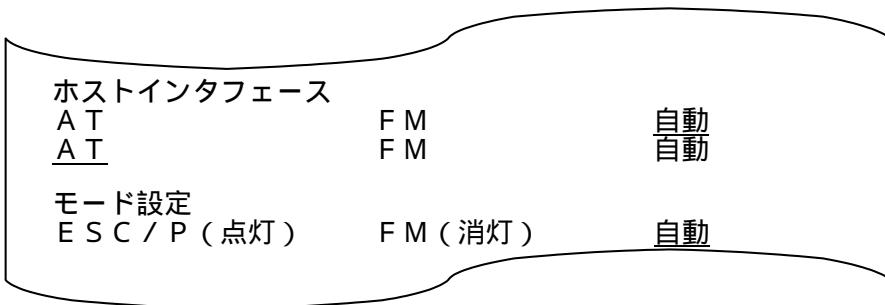
下線のついている方が、現在設定されている内容です。

5 設定内容を変更する

改ページスイッチを押すと、選択する箇所に印字ヘッドを移動します。

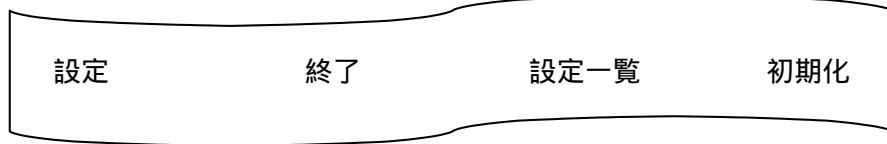
改行スイッチを押すと、選択した内容が設定され、次の設定内容が印字されます。

用紙カットスイッチを押すと、選択した内容が設定され、一つ前の設定内容が印字されます。



6 初期メニューに戻る

オンラインスイッチを押すと 3と同じメニューを印字します。



7 機能設定の変更を終了する。

[改ページ]スイッチを押し、印字ヘッドを「終了」の箇所に移動して、**[改行]**スイッチを押すと機能設定の変更が終了します。

注2) 機能設定の変更中に「用紙切れ」状態になったとき、機能設定を継続するには以下のようにして下さい。

単票モードのとき：次の用紙をセットすると自動的に印字開始位置まで吸入され、機能設定を継続できます。

連帳モードの時：用紙送りトラクタに連続帳票用紙をセットして
[用紙セット]スイッチを押すと用紙を印字開始位置まで吸
入し、機能設定を継続できます。

注3) 機能設定を変更中に電源が切れた場合には、設定した内容は保証されません。

機能設定の種類

設定できる機能について、動作モードごとに説明します。

設定できる機能には両モードで共通のものと個別のものがあります。

共通の機能と、動作モード個別のものに分けて説明します。

表中の初期設定とは、ご購入時にすでに設定してある値をいいます。

印のついている設定項目が初期設定です。

各モード共通の設定項目

FMモードとESC/Pモードで共通の項目について説明します。

機能名	設定内容	初期設定	内 容						
ホストインターフェース	AT		プリンタが接続されているホストを設定します。 「自動」の場合はホストに接続したときに自動的に切り替わります。						
	FM								
	自動								
モード設定	ESC/P (点灯)		電源投入直後のエミュレーションモードを設定します。 「自動」に設定すると、ホストインターフェースの設定内容により次のようにモードが決まります。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>ホストインターフェース</td> <td>モード設定</td> </tr> <tr> <td>F M (注1)</td> <td>F M</td> </tr> <tr> <td>A T (注1)</td> <td>E S C / P</td> </tr> </table>	ホストインターフェース	モード設定	F M (注1)	F M	A T (注1)	E S C / P
ホストインターフェース	モード設定								
F M (注1)	F M								
A T (注1)	E S C / P								
FM (消灯)									
自動									
オートローティング	無効		単票用紙がセットされてから用紙の吸入が開始されるまでの時間を設定します。 無効を選択した場合は、用紙を吸入しません。						
	0.5秒								
	1.0秒								
	1.5秒								
	2.0秒								

注1)「自動」識別されたときも含まれます。

単票自動 オンライン	有効		単票用紙吸入後、自動的にオンラインとするかしないかを設定します。 自動吸入、スイッチによる吸入とも行います。
	無効		
連帳自動 オンライン	有効		連帳用紙吸入後、自動的にオンラインとするかしないかを設定します。
	無効		
単票モード時の FFコード	ページ 長送り		単票モードでのFFコード受信、及び改ページスイッチを押した時の動作を設定します。
	排出		
単票用紙無し検出	検出する		カットシートフィーダ未搭載時の単票用紙無しを検出する / しないを設定します。カットシートフィーダ搭載時は、単票手挿入口から吸入した用紙に対しては、本設定は無効となります。
	検出しな い		
印字方向	両方向		電源投入時の印字方向を、両方向または片方向に設定します。Windows から印字した場合は、ドライバの設定を優先します。
	片方向		
漢字書体	明朝体		電源投入時の全角漢字および半角漢字の書体を設定します。
	ゴシック体		
ブザー	鳴動する		ブザーの鳴動する / しないを設定します。 鳴動しないを選択すると、一切鳴らなくなります。
	鳴動しない		
オーバーライド	有効		オーバーライド機能の有効/無効を設定します。 オーバーライド機能を有効に設定すると、用紙切れによりオフライン状態になった場合に、「オンライン」スイッチを押下すると、強制的に1ライン印字します。
	無効		
単票(手差し) 改行補正量	-1.5mm		単票(手差し)用紙に対する累積改行補正量 (注2)を設定します。
	-1.0mm		
	-0.5mm		
	0mm		
	+0.5mm		
	+1.0mm		
	+1.5mm		
CSF改行補正量	-1.5mm		CSF用紙に対する累積改行補正量(注2)を設定します。
	-1.0mm		
	-0.5mm		
	0mm		
	+0.5mm		
	+1.0mm		
	+1.5mm		

連帳改行補正量	-2.0mm	連帳用紙に対する累積改行補正量（注2）を設定します。
	-1.5mm	
	-1.0mm	
	-0.5mm	
	0mm	
	+0.5mm	
	+1.0mm	
	+1.5mm	
	+2.0mm	
連帳下端余白量	35mm	後連帳用紙の下端余白量を、用紙下端から印字可能最終行の文字の下端までの量で設定します
	80mm	
ACKタイミング （注3）	標準	*ACKNLG信号のパルス幅を設定します。
	高速	
BUSY - ACK タイミング （注3）	A - B	BUSY信号と*ACKNLG信号のタイミングを設定します。
	A - B - A	
	B - A	
	自動識別	

（注2）累積改行補正量とは

用紙の弛みにより生じる、累積改行ズレを補正するための機能です。
セットアップにより、各用紙パス（単票手差し・CSF・連帳）毎に補正量を設定することができます。

【单票手差し時】

10 インチ（約 254mm）あたりの改行ずれ量を補正します。

【CSF時】

10 インチ（約 254mm）あたりの改行ずれ量を補正します。

【連帳時】

用紙吸入直後から 0.5 インチ改行する毎に、1/360 インチの改行ずれ補正を行います。

補正量は、セットアップの『連帳改行補正量』により、1/360 インチの補正を行う回数を改行量で設定します。

設定値（=改行量 単位：mm）=補正回数 × 25.4/360(mm)

補正量は、上記補正対象となる改行量に対して、実際の改行量が異なる場合に設定します。

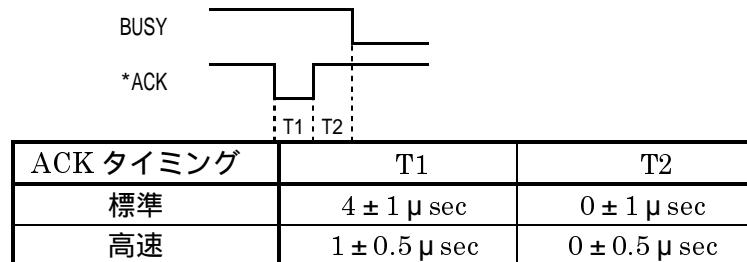
実際の改行量が小さい場合、プラス（正の値）の補正量を設定します。

実際の改行量が大きい場合、マイナス（負の値）の補正量を設定します。

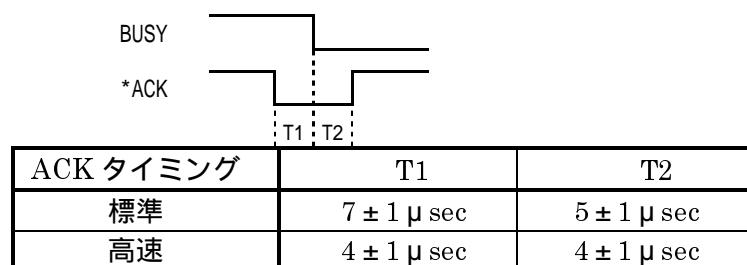
補正結果は、使用する用紙の種類により変わる場合があります。

(注3)「ACKタイミング」と「BUSY-ACKタイミング」について

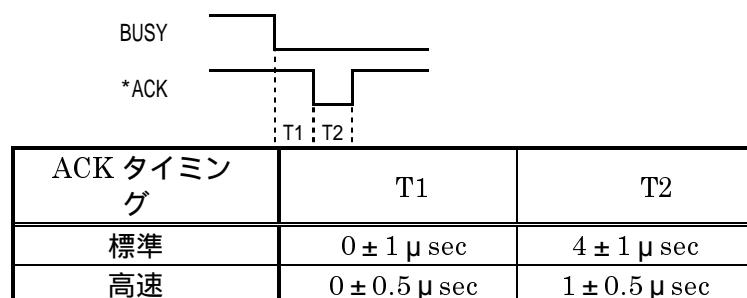
(1) BUSY-ACKタイミング : A-B



(2) BUSY-ACKタイミング : A-B-A



(3) BUSY-ACKタイミング : B-A



(4) BUSY-ACKタイミング : 自動識別

ホストインターフェースの設定により、次のようにになります。

ホストインターフェース	BUSY-ACKタイミング	ACKタイミング
AT	A-B-A	(2)のタイミングと同じ
FM	B-A	(3)のタイミングと同じ

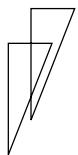
ESC/P モードの設定項目

機能名	設定内容	初期設定	内 容
単票 (C S F) 上端余白量	8.5mm		単票用紙吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
	22.0mm		
連帳上端余白量	8.5mm		連帳用紙吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。 連帳用紙のみに有効な値です。
	22.0mm		
連帳ページ長	11 インチ		連帳用紙のページ長を設定します。 連帳用紙のみに有効な値です。 Windows から印字した場合は、ドライバからの 指定値に変更されます。
	12 インチ		
連帳ミシン目 スキップ	0 インチ		連帳用紙のミシン目をはさんでスキップ する量を設定します。 連帳用紙のみに有効な値です。
	1 インチ		
文字品位	LQ		文字品位を設定します。
	DRAFT		
縮小文字	標準印字		印字文字の大きさ（標準文字 / 縮小文字）を設定します。
	縮小印字		
コードテーブル	カタカナ		ANK コード表を設定します。
	拡張 グ ラフィックス		
ANK 書体	クーリエ		ANK 文字の書体を設定します。
	サンセリ フ		
ゼロフォント字 体	スラッシュ ユ無し		ANK コードの 0 (ゼロ) の字体を「0」とするか「Ø」とするかを設定します。 クーリエフォントに対してのみ有効とな ります。
	スラッシュ ユ有り		
国際文字	日本		国際文字の出力種類を設定します。
	アメリカ		
文字間	10CPI		ANK 文字の文字ピッチの大きさを設定 します。
	12CPI		

機能名	設定内容	初期設定	内 容
行間	6LPI		改行ピッチの大きさを設定します。
	8LPI		
CR コード	CR		CR コードの機能を CR 動作のみとするか、CR+LF 動作とするかを設定します。 「*AFXT」選択時は、インターフェースネクタ 14 ピン(*Auto Feed XT)が「H」のときは「CR 動作のみ」、「L」のときは「CR+LF 動作」を行います。
	CR+LF		
	* AFXT		
オートティアオフ	有効		連帳用紙のオートティアオフの有効 / 無効を設定します。 オートティアオフとは、印刷が終了し、または印刷データを印刷し終了するごとに自動的に用紙カット位置まで用紙を送る機能です。
	無効		
SLCTIN	有効		SLCTIN 信号の有効 / 無効を設定します。
	無効		
DC1 / DC3	有効		DC1 / DC3 コマンドの有効 / 無効を設定します。
	無効		
S L C T	H I G H 固定		SLCT 信号を HICH 固定とするか、プリンタの状態により可変とするかを設定します。
	可変		
受信バッファ (16KB)	有り		受信バッファの設定をします。
	無し		

FM モードの設定項目

機能名	設定内容	初期設定	内 容
単票 (C S F) 上端余白量	9.1mm		単票用紙吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字の中心までの量で設定します。 “ 9.1mm ” は、官製はがきを横にして印刷する場合の値です。 “ 14.8mm ” は、官製はがきを縦にして印刷する場合の値です。
	14.3mm		
	22.0mm		
受信バッファ (16KB)	有り		受信バッファの設定をします。
	無し		



行間ズレを直す

縦罫線などを正逆両方向で印字するときに生じる行間ズレを直します。通常印字モード、高速印字モードおよびドラフト印字モードの各々のモードについて、行間ズレを直すことができます。行間ズレは、次の手順で直します。

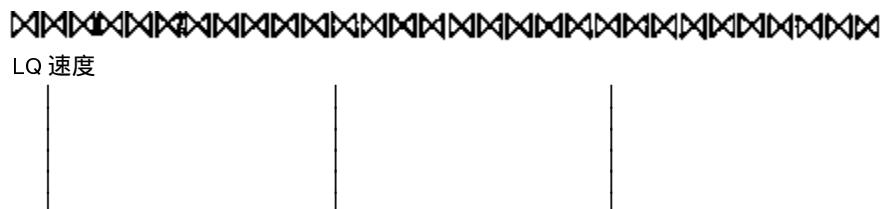
- 1 15インチ幅以上の連続用紙またはA4タテ以上の単票用紙をセットする

用紙のセットのしかたは「第3章 用紙のセット」を参照してください

- 2 **高速**スイッチと**改ページ**スイッチを押しながら、電源を入れる

イメージ印字速度で調整用パターンを印字します。

矢印(↑と↓)は、印字ヘッドの移動方向を示します。



- 3 調整用パターンの印字が始まったら、調整を行う

- 印字ヘッドの移動方向と同じ方向に印字結果を移動させるとき
改行スイッチを押します。

押し続けると、印字ヘッドの移動方向が変わるたびに約0.06mmずつ、矢印と同じ方向に印字結果が移動します。

- 印字ヘッドの移動方向と逆の方向に印字結果を移動させるとき
改ページスイッチを押します。

押し続けると、印字ヘッドの移動方向が変わるたびに約0.06mmずつ、矢印と逆の方向に印字結果が移動します。

- 印字モードを切り替えるとき

調整パターン印字中に**高速**スイッチを押します。
高速スイッチを押すたびに、通常印字モード(LQ速度)
高速印字モード(CQ速度) ドラフト印字モード(DQ速度)の順に切り替わります。

- 4 調整が終わったら、**オンライン**スイッチを押す

調整した内容がプリンタに記憶され、調整パターンの印字が終了し、オンライン状態になります。

注) **オンライン**スイッチを押さないと、調整した内容がプリンタに登録されず、電源を切ると元の状態に戻ります。

調整は、通常印字モード、高速印字モード、ドラフト印字モードの順で行ってください。



用紙の吸入量を調整する

用紙の自動吸入（オートロード）時の用紙吸入位置を、行方向に微調整します。工場出荷時に、用紙の吸入量（印字開始位置）は初期設定値(22mm)に調整されていますが、ずれている場合は、この機能で調整してください。連続帳票用紙、単票用紙それぞれの吸入量を調整できます。用紙の吸入量は、次の手順で調整します。

1 プリンタに用紙をセットする

用紙のセットのしかたは「第3章 用紙のセット」を参照してください

2 オフライン状態で [オンライン]スイッチを押しながら、

[用紙カット]スイッチを押す

プリンタの用紙吸入量を調整できる状態になります。

3 用紙の吸入位置を調整する

上端余白を大きくしたいとき [改行]スイッチを押します。

上端余白を小さくしたいとき [改ページ]スイッチを押します。

本モード中に [用紙カット]スイッチを押すと、 \times を1行印字します。

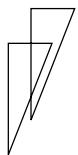
吸入量を確認するときに使用してください。

4 調整が終わったら、[オンライン]スイッチを押す

調整した内容がプリンタに記憶され、オンライン状態になります。

注) [オンライン]スイッチを押さないと、調整した内容がプリンタに登録されず、電源を切ると元の状態に戻ります。

5 用紙をセットして、用紙吸入量が適切かどうか確認する



自動検出機能

このプリンタには、次の4つの自動検出機能があります。

◆ 用紙無し検出

印字中に用紙がなくなると、印字動作が停止して、「用紙切れ」ランプが点灯し、ブザーが鳴ってオフライン状態になります。

◆ 印字ヘッド昇温検出

印字ヘッドの過熱状態を検出すると、1行を3回に分けて印字し、印字ヘッドの劣化を防止します。

◆ ヘビーデューティ検出

高密度の印字（50%以上）を行うと、1行を3回に分けて印字します。

◆ 異常電流検出

プリンタ内で異常電流が流れたときは、プリンタ保護のために自動的に電流を切断します。この状態で電源スイッチを“ON”にしても、約1分間は電源が投入出来ません。数分後、電源を再投入してください。この状態で電源が投入できないときは、プリンタの故障ですので、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店またはハードウェア修理相談センター（92ページ参照）に相談してください。



エラー表示機能

このプリンタには、操作パネルの各ランプの点滅でアラーム内容を識別する機能があります。

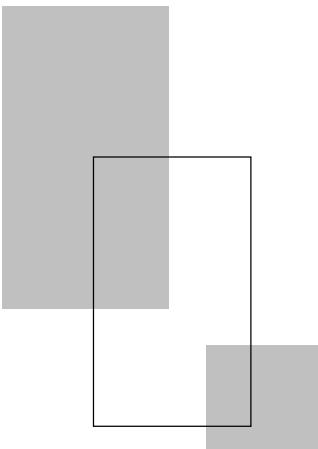
エラー発生時に点滅するランプによりアラーム内容を下表のように識別できます。対処方法については第5章 保守と点検のプリンタがうまく動かないときの「用紙切れ」ランプが点滅するとき（87ページ）を参照してください。

ランプ名 アラーム名	モード	用紙切れ	ゴシック体	明朝体	高速	オンライン	ランプの点滅回数	原因
LES アラーム							3回	印字キャリアホールド位置検出に失敗した。
オプション検出アラーム							3回	印字キャリアホールド位置検出機能を使用したオプション検出に失敗した。
オーバーロード・アラーム							2回	電源電圧の異常を検出した。
低電圧アラーム							3回	
ROM/RAM アラーム							2回	ROM/RAM の異常を検出した。

▲注意



使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。



第3章

用紙のセット

この章では、用紙のセットのしかた、用紙厚の調整のしかた、印刷開始位置、行間ズレの直しかた、および用紙吸入量の調整方法について説明します。

用紙をセットする	40
連続帳票用紙をセットする	40
単票用紙をセットする	44
用紙のセット(カットシートフィーダ搭載時)	46
自動給紙印刷の用紙のセット	46
手挿入印刷の用紙のセット	50
カットシートフィーダ搭載状態で 連続帳票をご使用の場合	52
用紙厚を調整する	55
印刷開始位置について	58
印字開始位置(行方向)を微調整する	58



用紙をセットする

このプリンタでは、連続帳票用紙および単票用紙が使用できます。

連続帳票用紙をセットする

- 連続帳票用紙に印刷する場合はリアカバーを取り付けてください。リアカバーを取り付けない状態で印刷すると、排出した用紙が用紙送りトラクタに巻き込まれて紙づまりが発生する場合があります。
(「リアカバー(シートガイド)の取り付け・取り外し」13ページ参照)
- このプリンタでは、カットシートフィーダ(オプション)を取り付けたままで連続帳票用紙を使用できます。ただし、この場合はカットシートフィーダを取り付ける前に、連続帳票用紙をセットすることをおすすめします。

連続帳票用紙のセットは、次の手順で行います。

1 プリンタの電源を入れる

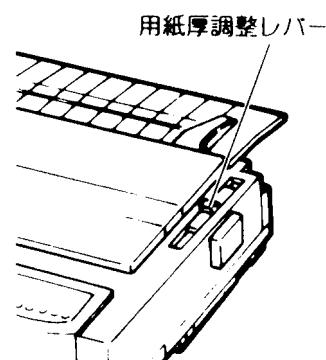
電源スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

2 連帳／単票切替えレバーを「連帳」側にセットする

3 使用する用紙の厚さ、枚数に合わせて用紙厚調整レバーをセットする

下表を目安にレバーを目盛に合わせます。(詳細は、55ページ参照)

用紙枚数	用紙厚調整レバーの目盛
1枚	~
2~3枚	~
4枚	~
5枚	~



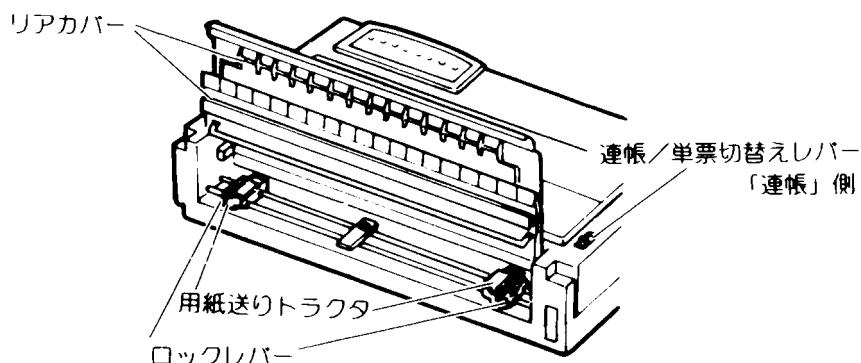
▲注意



用紙厚調整レバーは、正しく設定してください。用紙の厚みに対して、レバーが正しくセットされていないと、きれいに印字できないことがあります。
印字の周囲が汚れるときは目盛りを大きめに、印字がカスレるときは目盛りを小さめに設定してください。

4 用紙送りトラクタのロックを外し、用紙押さえを開く

リアカバーを開け、用紙送りトラクタのロックレバーをプリンタに向かって押し上げてロックを解除し、トラクタが左右に移動できるようにします。次に用紙押えを開き、用紙をセットできる状態にします。

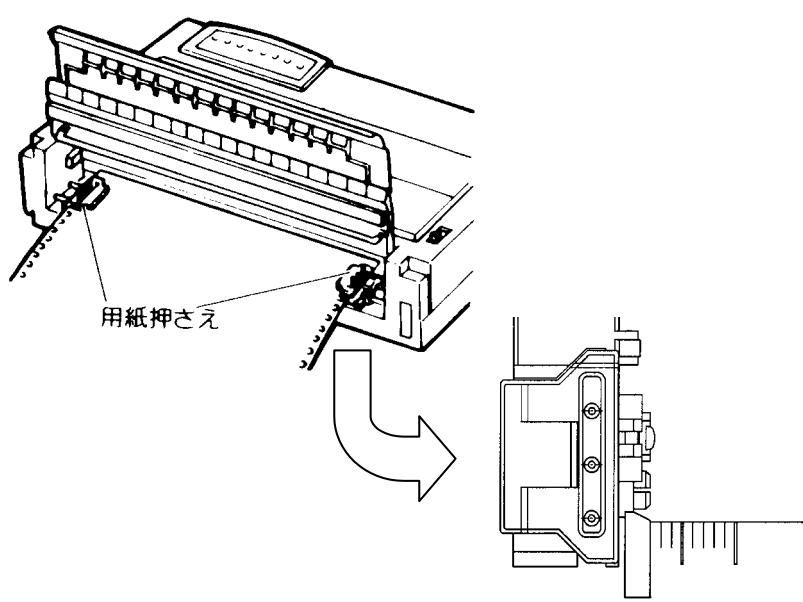


5 用紙送りトラクタに連続帳票用紙をセットする

用紙送りトラクタのピンに連続帳票用紙の送り穴を通し、用紙押さえを閉じます。

右側の用紙送りトラクタを下図に示す位置にすると、左端余白（用紙左端からの余白）が最小値（11.43mm）となりますので目安にして下さい（ドライバを使用して印字する場合はこの位置に合わせます）。

左側の用紙送りトラクタ用紙が軽く張るくらいに位置を調整します。

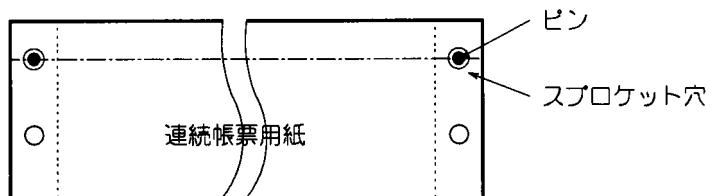


▲注意

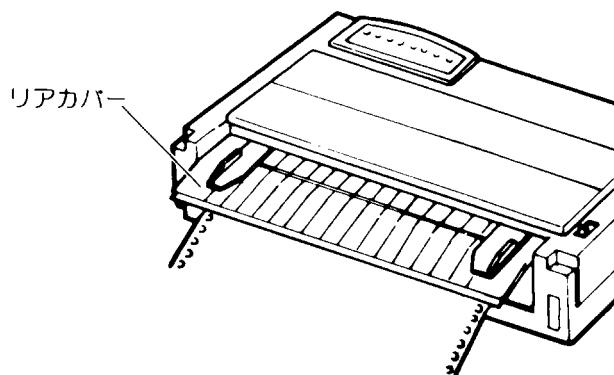


一般的注意

用紙詰まりを防ぐために、次の点に注意してください。
用紙を用紙送りトラクタにセットするとき、用紙を張りすぎないようにトラクタの幅を調整してください。（用紙送りトラクタのピンと用紙のスプロケット穴の中心が一致するようにします。）



6 リアカバーを倒す



7 連続帳票用紙を印字開始位置まで送る

- 1) プリンタをオフライン状態にします。
(「オンライン」ランプが消灯した状態です。)
- 2) **用紙セット**スイッチを押して、用紙を印字開始位置まで送ります。

印字開始位置の微調整については、57ページを参照してください。

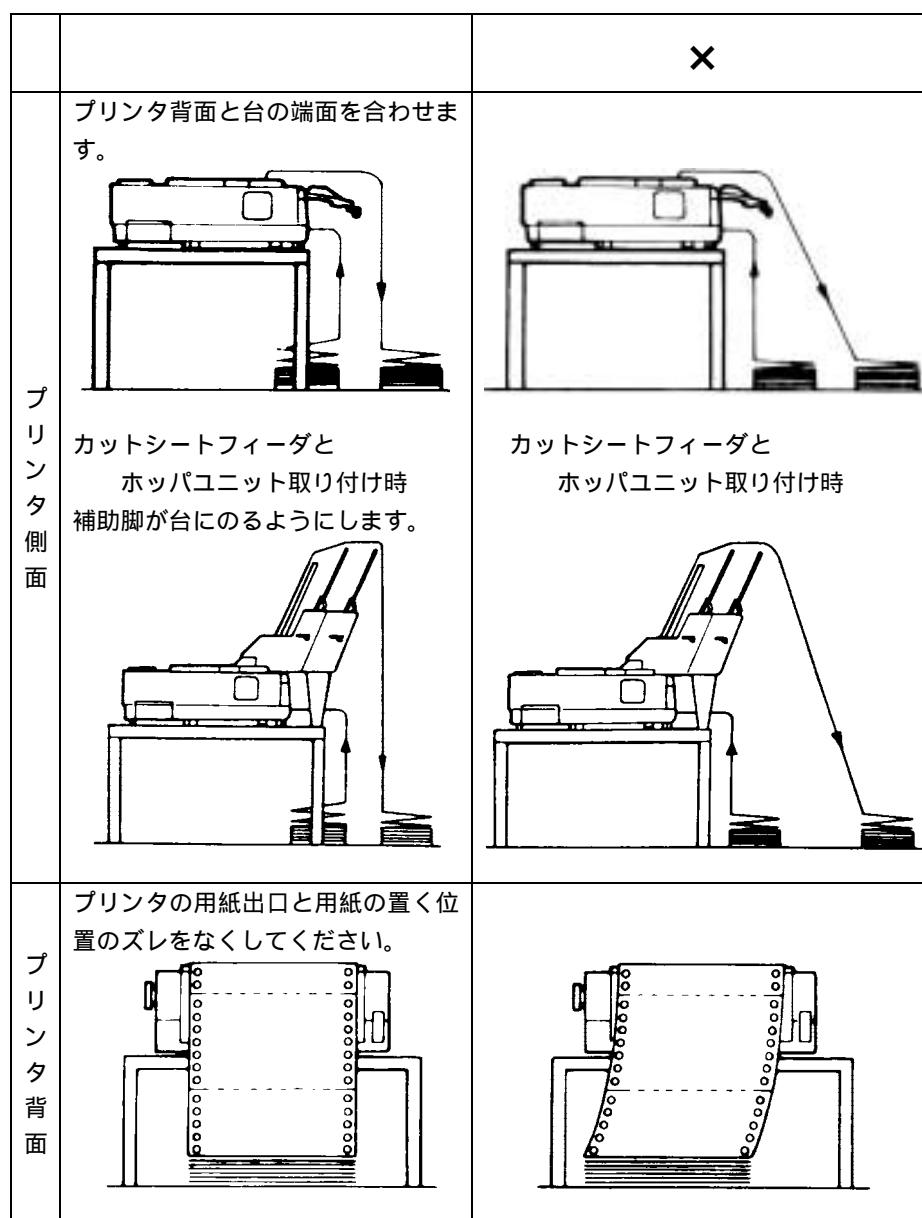
8 **オンライン**スイッチを押して、オンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にし、パソコンから印字データを送る

（注）用紙を排出するには、次の方法があります。

- ・印字ヘッドがページの先頭印字位置にあるときは、オンライン状態にして**用紙カット**スイッチを押すと、用紙がカット位置まで送られます。
- ・オフライン状態にして**改ページ**スイッチを押します。1回押すたびに、1ページ分の用紙が送られます。

連続帳票用紙の置きかた

連続帳票用紙は、下図(印)のように置いてください。用紙の流れが机の角などに当たって妨げられると、正しく用紙が送られないので改行ズレ、斜行印字などが発生することがあります。用紙の配置に注意してください。



連続帳票用紙の後退動作

連続帳票用紙の後退動作を連続して行うと、トラクタから用紙が外れる場合がありますので、注意して下さい。

単票用紙をセットする

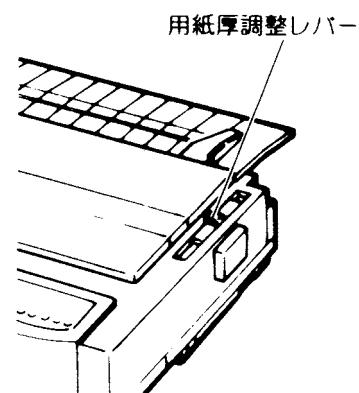
単票用紙は、連続帳票用紙をセットしたままでもセットできます。

単票用紙のセットは、次の手順で行います。

- 1 連帳／単票切替えレバーを「単票」側にセットする
- 2 使用する用紙の厚さ、枚数に合わせて用紙厚調整レバーをセットする

下表を目安にレバーを目盛に合わせます。（詳細は、55 ページ参照）

用紙枚数	用紙厚調整レバーの目盛
1 枚	~
2 ~ 3 枚	~
4 枚	~
5 枚	~
はがき	~

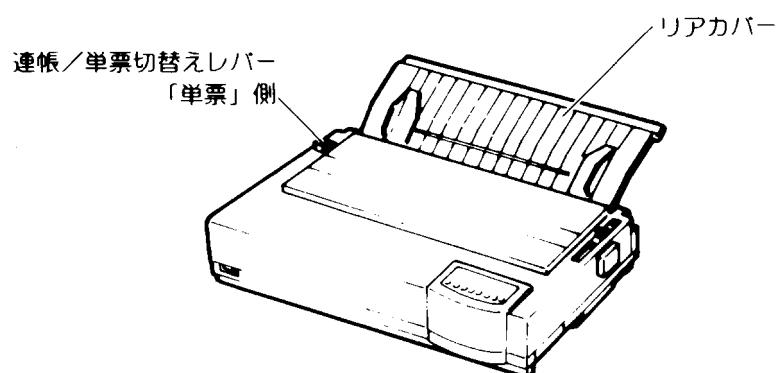


▲注意



用紙厚調整レバーは、正しく設定してください。用紙の厚みに対して、レバーが正しくセットされていないと、きれいに印字できないことがあります。
印字の周囲が汚れるときは目盛りを大きめに、印字がカスレるときは目盛りを小さめに設定してください。

- 3 リアカバーを立てる



4 用紙ガイドの位置を調整し単票用紙をセットする

左側の用紙ガイドを突き当たるまで右側に寄せた位置にすると、左端余白（用紙左端からの余白）が最小値（5.08mm）となりますので目安にして下さい（ドライバを使用して印字する場合はこの位置に合わせます）。A3横等の幅広用紙を使用する場合は、用紙の大きさに応じて移動します。

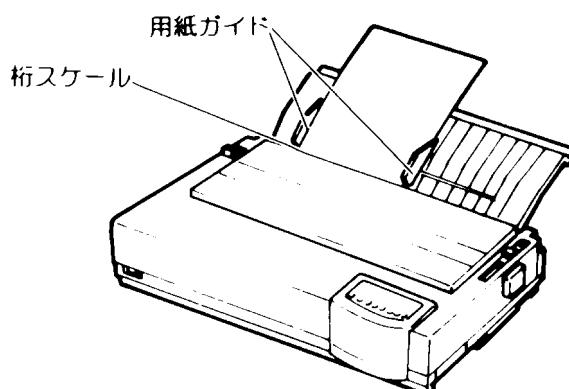
右側の用紙ガイドを、用紙の幅に合わせて移動します。

用紙ガイドに沿って、印刷する面を下に向け、用紙をまっすぐに入れます。

▲注意



- ・複写用紙をのりづけした単票用紙は、のりづけ部分からプリンタに挿入します。
- ・はがきを使用するときは、70ページの「はがきを使用するとき」を参照してください。



5 以下の手順で、単票用紙を印字開始位置に送ります

オートローディング有効（29ページ参照）を設定しているときは、自動的に印字開始位置まで送られます。

- 1) プリンタをオフライン状態にします。
（「オンライン」ランプが消灯した状態です。）
- 2) **用紙セット**スイッチを押し、用紙を印字開始位置まで送ります。

印字開始位置の微調整については、57ページを参照してください。

送られた用紙がまっすぐセットされなかったときは、**用紙セット**スイッチを押していくと単票用紙を排出し、再度セットしてください。

6 **オンライン**スイッチを押して、オンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にし、パソコンから印字データを送る

注）用紙を排出するには、オフライン状態にして**用紙セット**スイッチを押します。



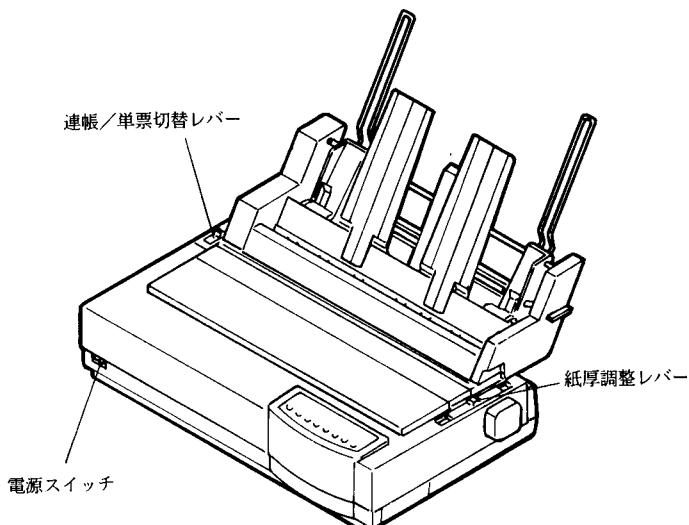
用紙のセット(カットシートフィーダ搭載時)

カットシートフィーダを使用して印字を行う場合には、給紙ホッパにセットした単票用紙を自動的に送って連続的に印字を行う場合(自動給紙印刷)と、手挿入口から手動で用紙を一枚ずつセットして印字を行う場合の二通りがあります。

■ 自動給紙印刷の用紙のセット

単票用紙をセットして自動的に紙送りを行い印字する場合は、次の手順で行います。

- 1 プリンタ装置の電源を ON にする
(この時セットされている用紙は排出されます。)
- 2 プリンタの連帳／単票切替レバーを「単票」側にセットする
- 3 紙厚調整レバーをセットする用紙の紙厚に合わせてセットする
紙厚調整レバーのセット位置は 55 ページを参照してください。



- 4 リリースレバーを“開”の位置にする

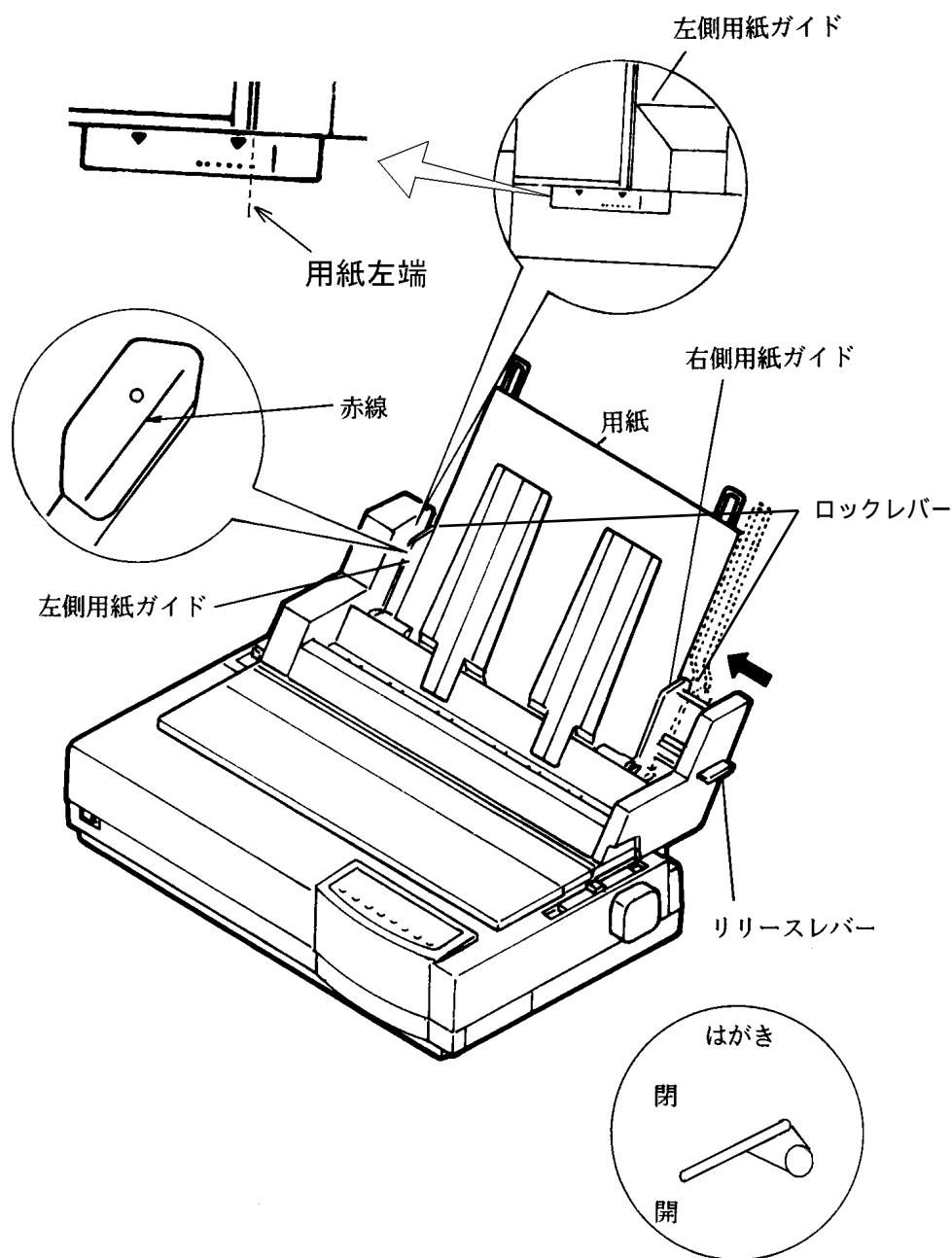
- 5 左側用紙ガイドの位置を決める

左側の用紙ガイドを右端の“・”マークに合わせると、左端余白(用紙左端からの余白)が最小値(5.08mm)となりますので目安にして下さい(ドライバを使用して印字する場合はこの位置に合わせます)。B4 横等の幅広用紙を使用する場合は、用紙の大きさに応じて移動します。

注) 左側用紙ガイドを...マークを越えて移動しますと正常動作ができない場合があります。ハガキは、左側用紙ガイドを マークの位置でご使用ください。

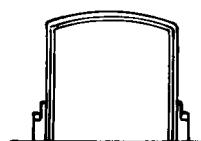
6 用紙を揃えて左右の用紙ガイドの上に載せてセットする

(一度にセットできる用紙の量は左側用紙ガイドの赤線までです。)



- 7 用紙セット後、左右の用紙ガイドと用紙の側面が軽く触れる程度に右側用紙ガイドを合わせ、左右の用紙ガイドのロックレバーを奥に倒してロックする

注) 用紙と用紙ガイドとの間に隙間がある場合は、右側用紙ガイドを左へ動かして隙間をなくしてください。なお、ガイドを用紙に強く押



×強く押し付けた場合

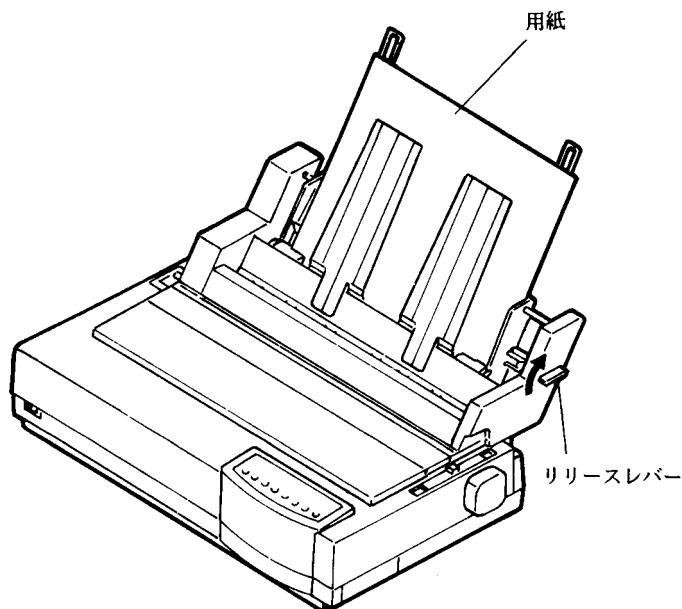


し付けると吸入不良を起こすことがありますのでご注意ください。

- 8 リリースレバーを矢印の方向へ回す

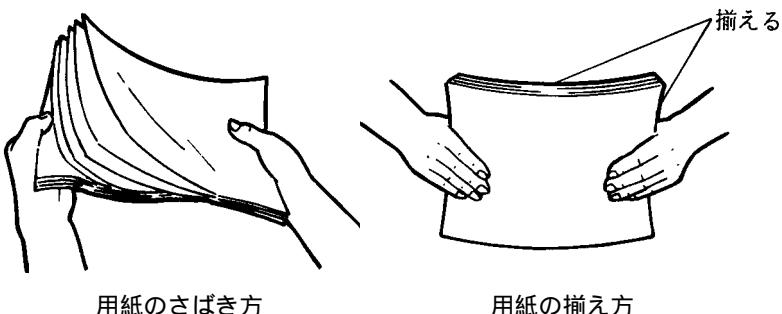
単票用紙をセットするときは“閉”，ハガキをセットするときは，“ハガキ”の位置にリリースレバーを合わせます。

軽く合わせた場合



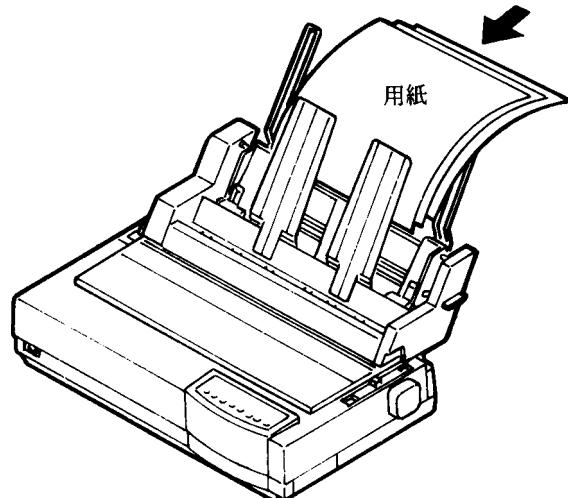
9 用紙および用紙のセット時のご注意

- 用紙は、直射日光の当たらない場所に保管してください。また、用紙は立て掛けないで水平に保管したものをご使用ください。
- 乾燥し過ぎた場所、また湿った場所に保管した用紙は、吸入不良を起こしやすいので、湿度には十分ご注意ください。
- セットする場合は、図のように用紙さばきを行った後、机に上などで用紙の上下、左右をきれいに揃えた上でセットしてください。



- 用紙はカール方向を合わせてセットしてください。
用紙は、湿度などの影響でカールしていることがありますので、補充および別梱包の用紙を合わせてセットする場合、カール方向を合わせてセットしてください
(背中合わせにするとダブルフィードを起こす場合があります)。また、少しカールのある場合は、カール方向を下図のようにセットしてください。

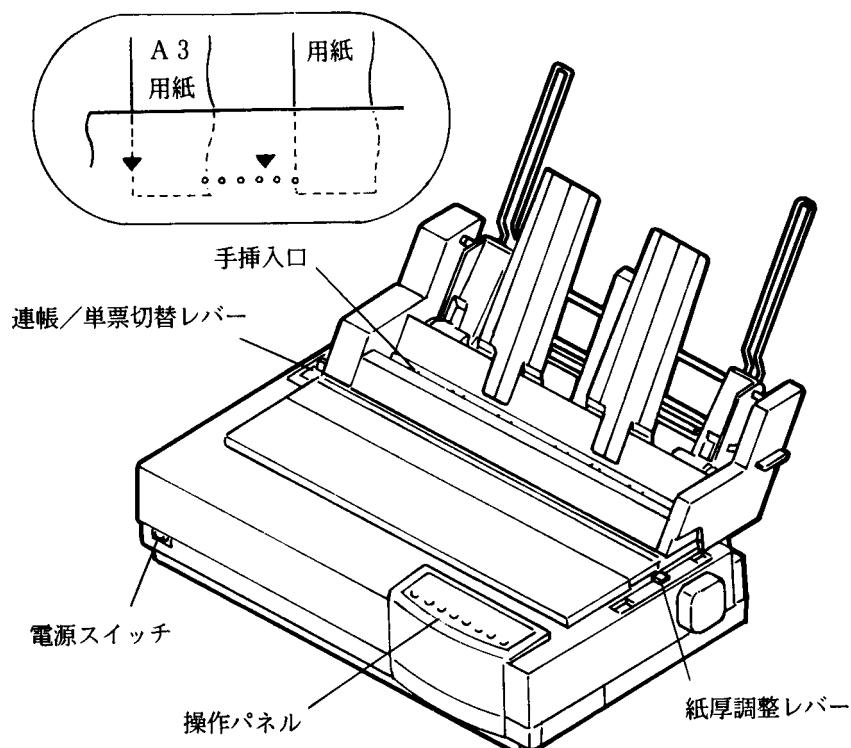
- ・紙質は同一種類のものをセットしてください。
銘柄の異なるもの、連量（紙厚）の異なるものを混在させてセットしないでください。



■ 手挿入印刷の用紙のセット

- 1 プリンタ装置の電源をONにする
- 2 紙厚調整レバーをセットする用紙の紙厚に合わせてセットする
(紙厚調整レバーのセット位置はプリンタ装置の取扱説明書を参照してください)
- 3 連帳／単票切替レバーを「単票」側にセットする
- 4 用紙の左側をスケールの“・”に合わせて手挿入口から挿入する
(A3用紙を横長方向で使用する場合は、左側のマークに合わせます。)用紙は左右を平行に、軽く突き当たる所まで挿入してください。

注) 用紙の左側は、...マークの範囲内で使用してください。右端の“・”マークが左端余白が最小(5.08mm)となる位置の目安です(ドライバ使用時はこの位置に用紙をセットして下さい)。用紙の左側が...マークの範囲外で使用しますと、正常動作ができない場合があります。ハガキは、右側の マークの位置で使用してください。



- 5 操作パネルの「オンライン」スイッチを押下し、「オフライン」状態に切り替える**
- 6 「用紙セット」スイッチを押す**
(単票用紙が自動的に印字開始位置まで吸入されます。)
- 7 操作パネル上の「オンライン」スイッチを押して「オンライン」状態に切り替える**

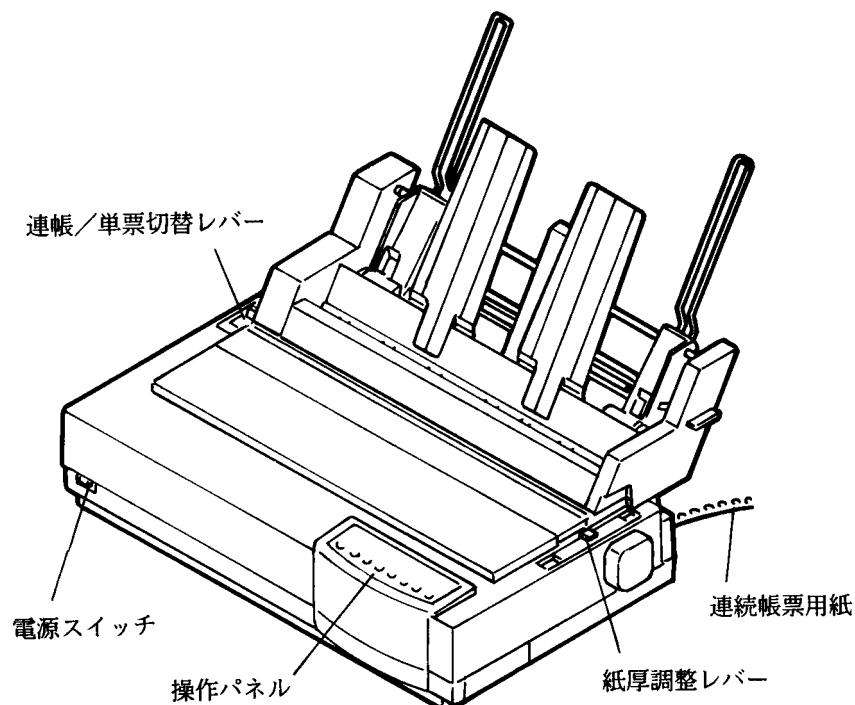
手挿入用紙のご使用時の注意点

カットシートフィーダを搭載した状態で、手挿入の複数ページ印刷を行う場合、2ページ目以降はカットシートフィーダから用紙を吸入します。
手挿入で複数ページを印刷する場合は、カットシートフィーダをはずしてから印刷してください。

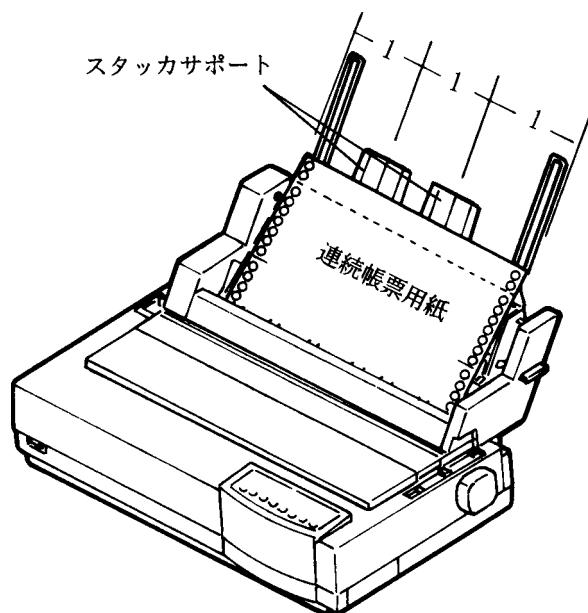
■ カットシートフィーダ搭載状態で連続帳票をご使用の場合

このカットシートフィーダを、プリンタ装置に搭載した状態で、連続帳票を使用できます（連続帳票をプリンタへセットする方法についてはを参照してください）。

- 1 プリンタ装置の電源をONにする
- 2 操作パネルの「オンライン」スイッチを押し、プリンタ装置を「オフライン」状態（オンラインランプが消えた状態）に切り替える
- 3 使用する帳票の厚さ、枚数に応じて紙厚調整レバーをセットする
(紙厚調整レバーのセット位置は、55ページを参照してください。)
- 4 連帳／単票切替レバーを「連帳」側にセットする
- 5 操作パネルの「用紙セット」スイッチを押す
(連続帳票用紙は印字開始位置まで送られます。)
- 6 操作パネルの「オンライン」スイッチを押して「オンライン」状態に切り替える



7 スタッカサポートを下図の位置（割合比）に動かす

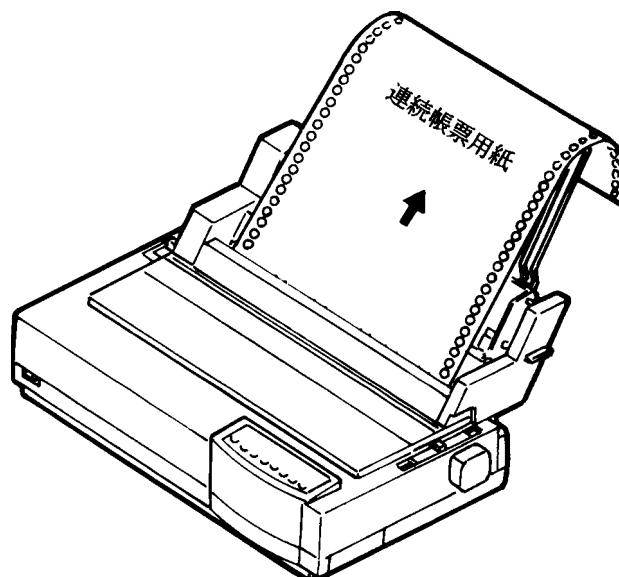


◆ 連続帳票のご使用時の注意点

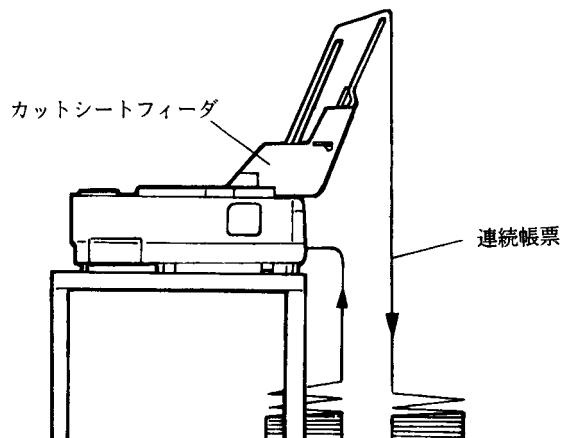
カットシートフィーダを搭載した状態で連続帳票を使用の場合、次の点にご注意ください。

- 1 連続帳票が前面に倒れる場合がありますので連続帳票の繰り出

しは最初のミシン目が用紙ガイド金具を乗り越える位置まで送
り出す



- 2 用紙の流れをスムーズにするため、プリンタ装置と用紙の位置は
下図のように置く



- 3 カットシートフィーダのリースレバーを“開”にする

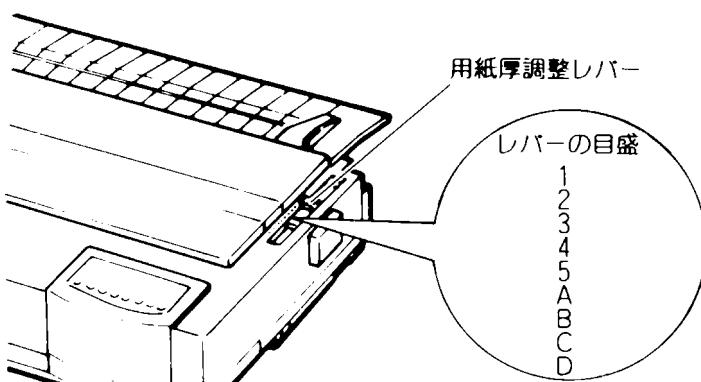
注) 「用紙カット」スイッチは、カットシートフィーダを搭載した場合には無効となります。



用紙厚を調整する

適切な印字をするために、用紙の厚さや枚数に応じて印字ヘッドとプラテンの間隔を調整します。

用紙厚調整レバーが の位置にあるとき、印字ヘッドとプラテンの間隔は、最も狭くなり、“D”の位置のとき最も広くなります。



用紙厚調整レバーの目盛	印字ヘッドとプラテンの間隔と セットできる用紙枚数
	1 枚
	1 ~ 3 枚
	2 ~ 4 枚
	4 ~ 5 枚、官製はがき 1 枚
	5 枚、官製はがき 1 枚
A ~ C	以上の広さ では印字ヘッドとプラテンの間隔が狭いとき に、A ~ C の順に用紙厚調整レバーをセットしてみ てください。
D	印字ヘッドとプラテンの間隔が最も広くなります。 リボンカセットを交換するときや、用紙詰まりを 取り除くときに、用紙厚調整レバーをセットしま す。

1 用紙とは、連続帳票用紙または単票用紙をさします。

2 官製はがきは、連量 160kg とします。

▲注意



一般的注意

使用する用紙に対して、用紙厚調整レバーのセットが適切でないときは、次のような現象が起こることがあります。

用紙厚に対して用紙厚調整レバーのセットが広すぎると
き

印字のかすれや、印字抜けが生じることがあります。

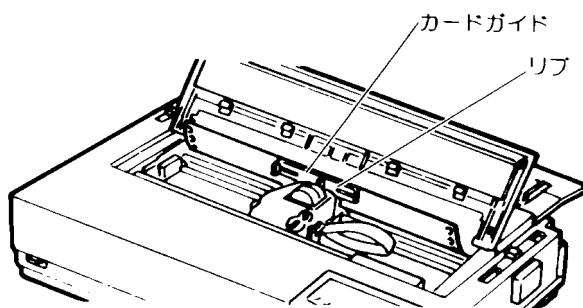
用紙厚に対して用紙厚調整レバーのセットが狭すぎると
き

- ・印字中にリボンがはずれたり、たるんだりして印字ヘッドの故障の原因になることがあります。
- ・用紙の端面が切れたり、しわになったりすることがあります。
- ・リボンによって用紙が汚れることがあります。
- ・用紙の送りが悪くなることがあります。
- ・キャリアが正常に動かないことがあります。



印刷開始位置について

必要に応じてセットした用紙の行方向の印字開始位置を変えます。
印字開始位置を調整するときは、カードガイドのリブが文字の下端を示しているので、これを目安にして用紙を合わせます。



印字開始位置（行方向）を微調整する

操作パネルのスイッチ操作で、行方向の印字位置を微調整できます。

1 プリンタをオフライン状態にする

（「オンライン」ランプ消灯。点灯しているときは、[オンライン]スイッチを押します。）

2 行方向の印字開始位置を微調整する

- 正方向（用紙を送り出す方向）に微調整するとき

[オンライン]スイッチを押しながら、[改行]スイッチを押します。

正方向に 1/180 インチ改行します。

押し続けると、連続して正改行します。

- 逆方向（用紙を戻す方向）に微調整するとき

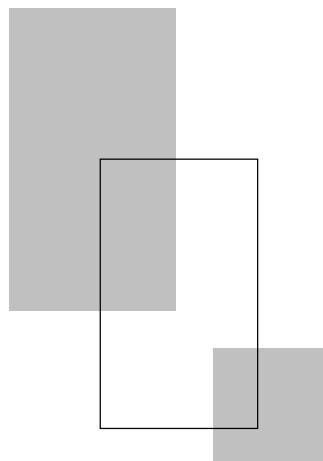
[オンライン]スイッチを押しながら、[改ページ]スイッチを押します。

逆方向に 1/180 インチ改行します。

押し続けると、連続して逆改行します。



用紙を引っ張ったり、プラテンノブを回しての微調整は
行わないでください。
用紙の改行が乱れる原因となります。



第4章

用紙について

この章では、使用できる用紙と取り扱い上の注意点について説明します。

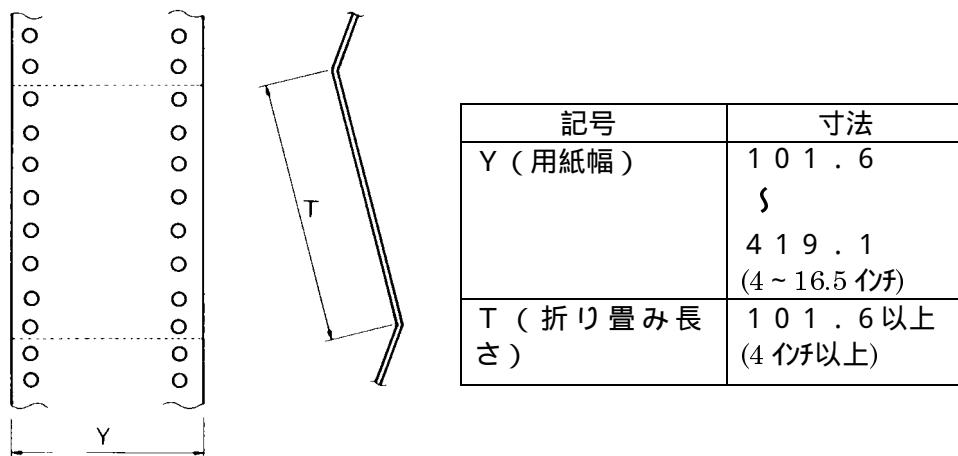
連続帳票用紙	60
単票用紙	64
カットシートフィーダで使用できる用紙	67
とじ穴の開けかた	70
はがきを使用するとき	70
プレプリント用紙を使用するとき	70
取扱い上のご注意	72



連續帳票用紙

このプリンタで使用できる連續帳票用紙は、次のとおりです。

◆用紙の寸法



連續帳票用紙の寸法を下図に示します。

◆用紙の構成枚数

オリジナルを含む用紙の構成枚数と用紙の厚さ（連量）の組合せは、

下表のとおりです。

用紙の構成枚数	用紙の厚さ (kg 連量)	条件
5	34, 45, 55	45, 55は1枚のみ最下層とします。
4	45, 55, 70	55, 70は1枚のみ最下層とします。
3		
2		
1	45, 55, 70	

注1) 構成（複写）枚数は、オリジナルを含んだ枚数です。

注2) kg 連量とは、四六判（788×1091mm）の用紙 1000 枚の重量を kg で示したもので、用紙の厚さを示す指標です。

注3) 複写用紙は、裏カーボンまたはノンカーボンのものを使用してください。

注4) 中カーボン紙を使用するときは、間に挿入するカーボン紙も用紙 1 枚として数えるので、でき上がり枚数は最大 3 枚となります。

注5) 全体の用紙厚は、0.33mm 以下にしてください。

◆ 用紙のとじかた

連続帳票用紙の重ね合わせのとじ方は、「のりづけ両側とじ」にしてください。片側しかとじてない用紙は正しく給紙されない場合がありますので使用しないでください（層間ズレ、改行ズレ、用紙ジャムの原因となります）。のりづけ方法はいろいろありますが、折り曲げやすいように点のりで、各層間で交互の位置にのりづけする方法をおすすめします。

とじ方法	点のりとじ
説明図	
用紙枚数	5枚まで
備考	本プリンタに最も適したとじ方です。

注 1) 上記説明図では、帳票の片側のみ示していますが、実際には両側をのりづけしてください。

注 2) 完成した用紙の折畳み部分を平らに伸ばしたときのふくらみは、下図に示すように1mm以下になるようにしてください。

連帳ミシン目に山折れ／谷折れ部のふくらみが大きい用紙は改行精度が乱れる場合がありますのであらかじめ確認のうえ使用してください。



注 3) 用紙づまりや印字ズレの原因になるので、紙ホチキスとじは使用しないでください。

注 4) 帳票のスプロケット穴の層間でのズレが0.4mm以下のものを使用してください。

▲注意

金属ホチキスとじは使用しないでください。
プリンタが故障する原因となります。

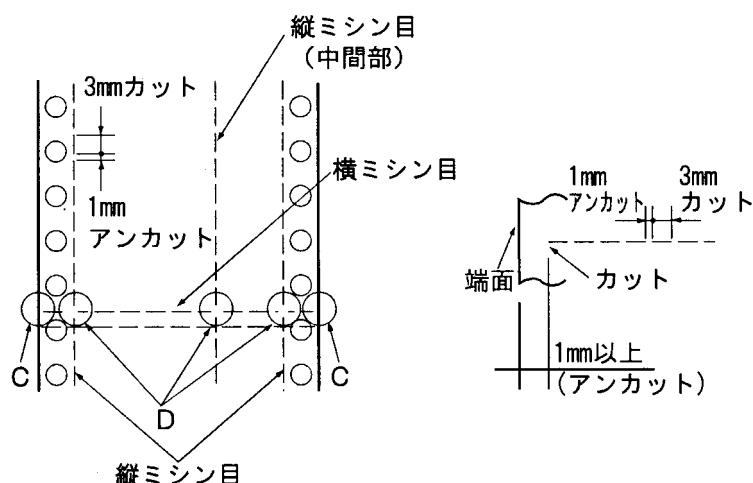
一般的禁止

◆ ミシン目の入れ方

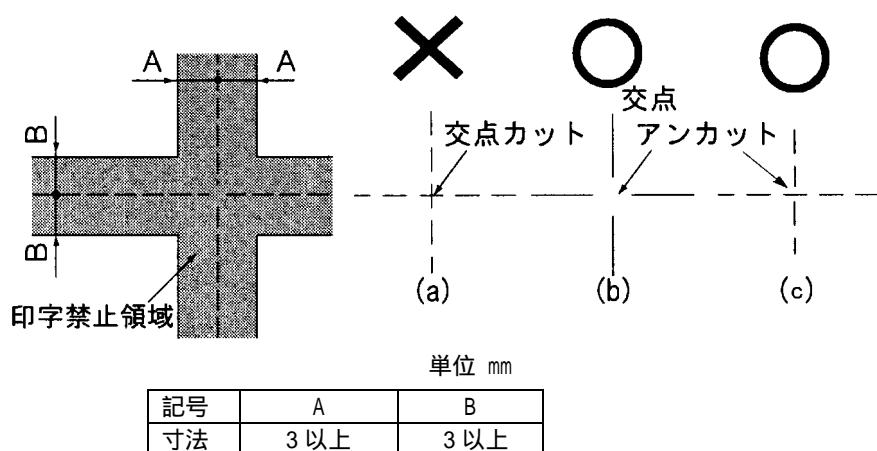
ミシン目の入れ方によっては、用紙送りに悪影響を与えることがあります。特に1枚用紙の場合、ミシン目を強く入れると、使用中にミシン目から破けることがあります。

ミシン目の入れ方は、次のようにしてください。

- ・1枚用紙のミシン目(縦、横ミシン目共)のカット(切る部分)、アンカット(切らない部分)の比率は、約3:1にしてください。
- ・横ミシン目のアンカット寸法(両端部C)は、1mm以上にしてください。
- ・縦ミシン目と横ミシン目の交点部は、交点アンカット(b),(c)の方法にしてください。(c)の方法を推奨します)交点カット(a)は行わないでください。
- ・複写用紙についても同様の注意が必要です。あらかじめ確認の上、使用してください。

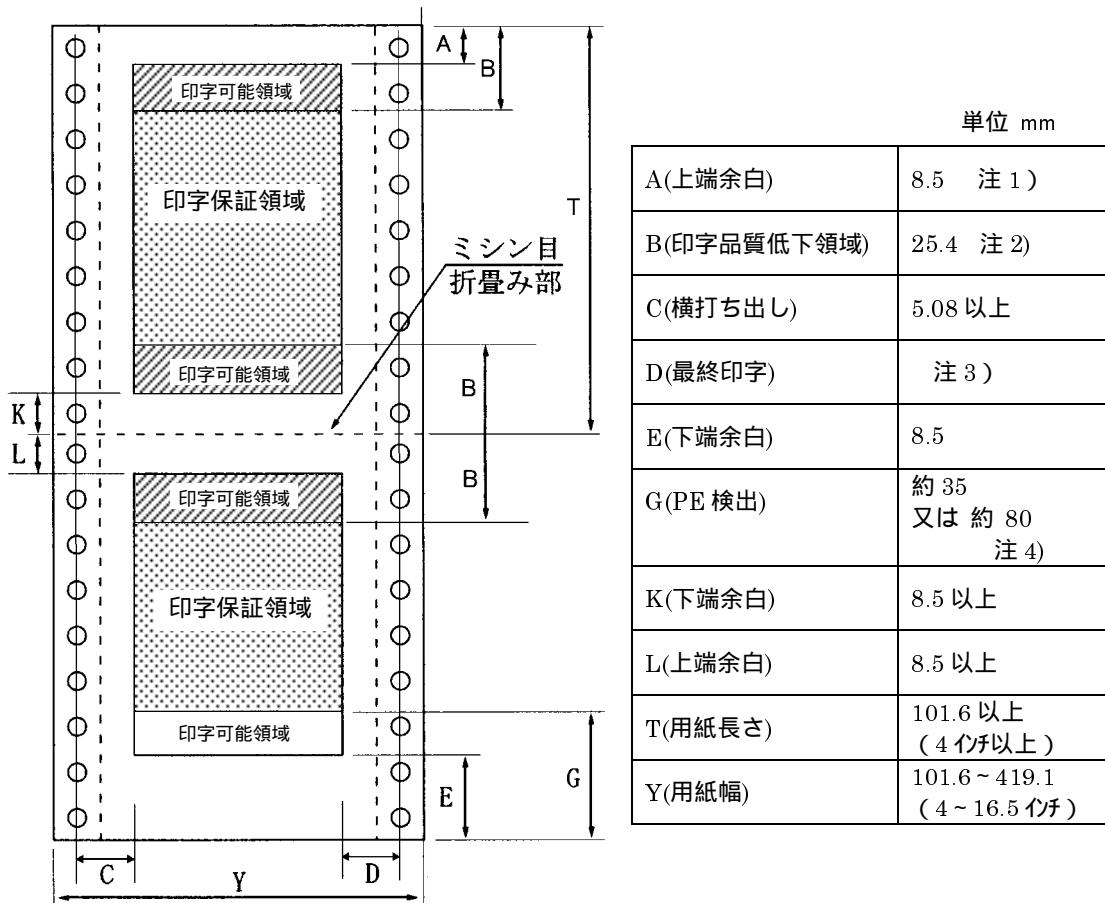


注1) ミシン目上に印字すると、用紙にキズがついたりプリンタの故障となることがありますので、下の図に示す斜線部には印字しないでください。



◆ 印字領域

連続帳票用紙の印字領域を下図に示します。



注 1) A 値の出荷時の値は、22.0mm に調整されています。ESC/P モードのときは、機能設定で上端余白量を変更できます。

注 2) 用紙上端およびミシン目の上下 1 インチの間は、改行が乱れことがあります。

注 3) D 値は、用紙幅と印字桁数に左右されますが、最小 5.08mm とします。

注 4) G の領域はトラクタから外れた領域ですが、改行が乱れことがあります。

▲注意



G 値(80mm) ~ 8.5mm の間は、用紙によっては改行できないものがあります。この場合は、G 値以下の印字は行わないでください。
一般的注意



単票用紙

このプリンタで使用できる単票用紙は、次のとおりです。

また、やむを得ず規格外の用紙を使用する場合は、十分に確認を行ってから使用してください。

◆ 用紙の寸法

横 幅：100～420mm (A3 横まで)

縦長さ： 76～420mm (A3 縦まで)

◆ 用紙の構成枚数

オリジナルを含む用紙の構成枚数と用紙の厚さ（連量）の組合せは、下表に示すとおりです。ただし、カットシートフィーダ（オプション）では、複写用紙を使用できません。カットシートフィーダで使用できる用紙については、67 ページの「カットシートフィーダで使用できる用紙」を参照してください。

用紙の構成枚数	用紙の厚さ (kg 連量)	条件
5	34, 45, 55	34 を 4 枚と 45 または 55 を 1 枚のみ最下層とします。
4	34, 45, 55	34 を 3 枚と 45 または 55 を 1 枚のみ最下層とします。
3	34, 45, 55	34 を 2 枚と 45 または 55 を 1 枚のみ最下層とします。
2	34, 45, 55, 70	34 または 45 を 1 枚と、55 または 70 を最下層とします。
1	45～70	

注 1) 構成（複写）枚数は、オリジナルを含んだ枚数です。

注 2) kg 連量とは、四六判 (788×1091mm) の用紙 1000 枚の重量を kg で示したもので、用紙の厚さを示す指標です。

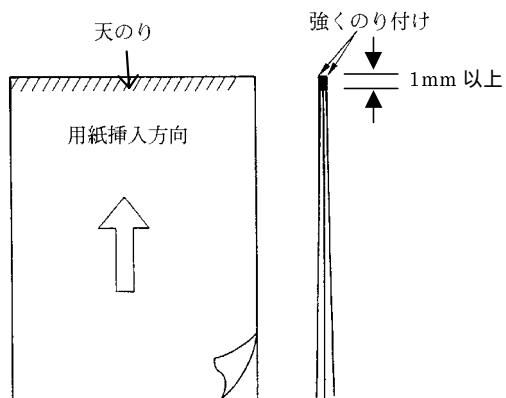
注 3) 複写用紙は、裏カーボンまたはノンカーボンのものを使用してください。

注 4) 中カーボン紙は使用しないでください。

注 5) 全体の用紙厚は、0.33mm 以下にしてください。

◆ 複写用紙のとじかた

単票複写用紙は、用紙上端がのり付けされている用紙（天のり綴じ用紙）を使用して下さい。横のり綴じ用紙を使用すると、用紙吸入不足や斜行印字などが発生する事がありますので、使用しないでください。また、のり付け部が波打っていたり、のりがはみ出している用紙を使用してください。



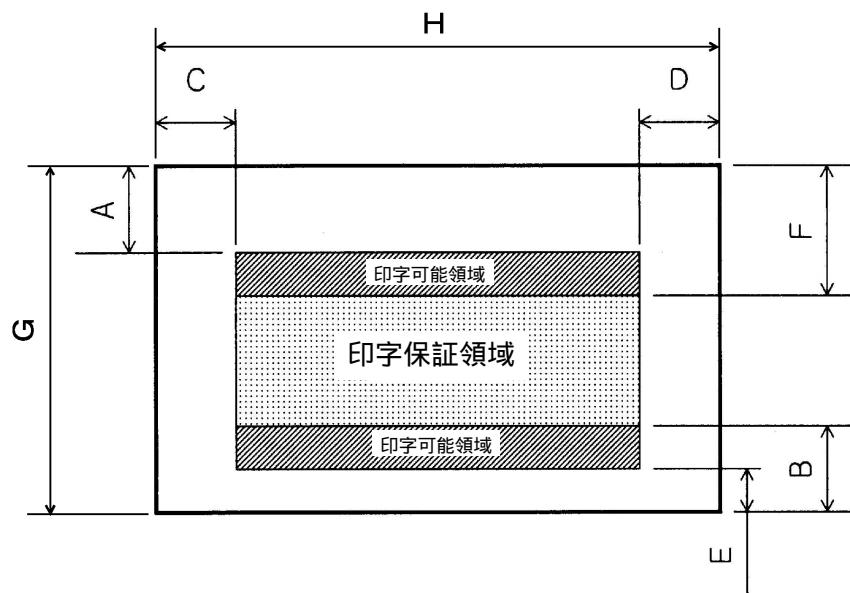
注1) のり付け部が極端に硬くなったり、波打ったりしないようにしてください。

注2) のり付け部が簡単に外れてバラバラにならないようにしてください。

注3) のりがはみ出さないようにしてください。

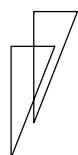
◆ 印字領域

単票用紙の印字領域を下図と下表に示します。



A (mm)	B (mm)	C (mm)	D (mm)	E (mm)	F (mm)	G (mm)	H (mm)
8.5 注1)	38	5.08 注3,4)	5.08 注3,4)	13.55	25.4	76~420	100~420

- 注1) 上端余白A値は、用紙上端から文字上端までの寸法です。
ただし、工場出荷時の上端余白量は22.0mmに調整されています。
ESC/Pモードのときは、機能設定で上端余白量を変更できます。
- 注2) 斜線部内に印字はできますが、送り精度を必要とするものは印字しないでください。
- 注3) B4横サイズの用紙に印字する場合、C値、D値は同時に実現できません。
- 注4) A3横サイズの用紙に印字する場合、C値、D値は38mmです。



カットシートフィーダで使用できる用紙 —

カットシートフィーダで使用できる用紙は、自動給紙印刷と手挿入印刷の場合では、条件が異なります。また、既に罫線などが印字されている用紙（プレプリント用紙）は、用紙の吸入不良または印字位置ズレが生じることがありますので使用しないでください。

自動給紙による印刷の場合

枚 数	紙 質	連量 (kg)	用紙の幅 (mm)	用紙の長さ (mm)	使用できる用紙サイズ
1枚もの	PPC用紙 (ファイン高速 PPC 用紙および ゼロックス紙) 上質紙	55~70	182~364	182~364	B5縦~B4横
	官製はがき（往復はがき含む）	100~148	100~200		

注 1) 連量とは、単位面積 (788mm × 1091mm) の大きさに換算して 1000 枚分の重量を kg 単位で表したものです。

注 2) PPC用紙の()内は、推奨用紙です。

注 3) ファイン高速 PPC用紙は、紀州製紙会社の製品です。連量は薄口で 55Kg、厚口で 60Kg です。

注 4) ゼロックス紙は、富士ゼロックス社の製品です。連量は L 紙で 55Kg、M 紙で 60Kg です。

手挿入による印刷の場合

枚 数	紙 質	連量 (kg)	用紙の幅 (mm)	用紙の長さ (mm)	使用できる用紙サイズ
1枚もの	PPC用紙 上質紙	55~70	182~420	182~420	B5~A3 横
	上質紙	40	182~257	182~364	B5~B4 縦
	和紙	用紙厚(mm) 0.07~0.11	182~364	182~364	B5~B4 横
	官製はがき（往復はがき含む）	100~148	100~200		
2~3枚	ノンカーボン紙	34	182~364	182~364	B5~B4 横

注)複写用紙の層間ズレ (1枚目と最下層の印字ズレ) は、2mm 以下です。

使用できない用紙

用紙の吸入不良または印字位置ズレが生じる原因となりますので、次の用紙は使用しないでください。

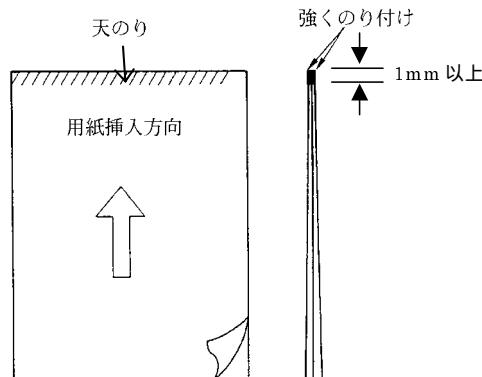
- ・ミシン目および用紙のコーナに丸みの付いた用紙
- ・罫線などの印字されている用紙（プレプリント用紙）

用紙の保管、取扱い上のご注意

用紙の保管には特に注意し、変形が生じるような置き方、扱い方をしないでください。

用紙のとじかた

手挿入口から使用する複数枚の用紙は、天のりとじにしてください。



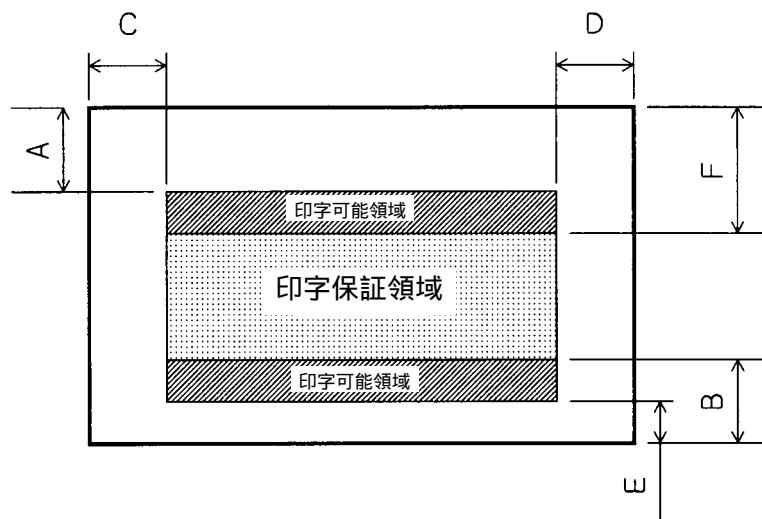
注1) のり付け部が極端に硬くなったり、波打ったりしないようにしてください。

注2) のり付け部が簡単に外れてバラバラにならないようにしてください。

注3) のりがはみ出さないようにしてください。

印字領域

カット紙（カット紙指定の場合の印字領域）



A (mm)	B (mm)	C (mm)	D (mm)	E (mm)	F (mm)
8.5 注1)	38	約 8.9 注3)	約 8.9 注3)	13.55	25.4

- 注 1) 上端余白 A 値は、用紙上端から文字上端までの寸法です。
ただし、工場出荷時の上端余白量は 22.0 mm に調整されています。
ESC/P モードのときは、機能設定で上端余白量を変更できます。
- 注 2) 斜線部内に印字はできますが、送り精度を必要とするものは印字しないでください。
- 注 3) 左端余白 C 値は、用紙ガイドを印に合わせたときは 8.9mm となります。
手挿入で A3 用紙を横長で使用するときは、左端余白 C 値が B5～B4 用紙とは異なります。
- 注 4) C 値と D 値は、手挿入で使用した場合は条件外です。



とじ穴の開けかた

印字領域内にとじ穴をあけないでください。やむを得ず印字領域内にとじ穴をあけるときは、とじ穴部と印字が重ならないようにしてください。



はがきを使用するとき

はがきを使用するときは、次の点に注意してください。

- ・用紙厚調整レバーを または にセットしてください。(55 ページ参照)
- ・はがきに印字する前に、はがきと同じサイズの用紙を使ってためし印字をし、印字がはがきからはみ出さないことを確認してください。
- 市販のはがきは、用紙の種類によってはきれいに印字できないことがあります。
- ・一度折り目をつけた往復はがきは使用しないでください。また、往復はがきを二つ折りにして印字することはできません。
- ・往復はがきは、縦長に挿入してください。

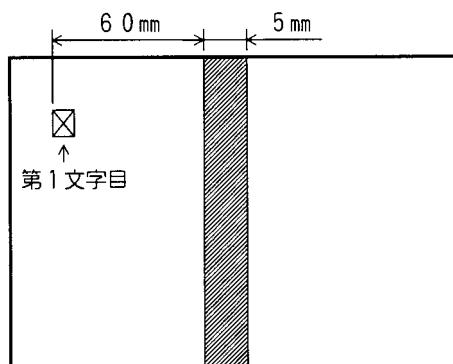


プレプリント用紙を使用するとき

あらかじめ文字や枠などを印刷してある用紙（プレプリント用紙）を作成したり、使用したりするときは、次の点に注意してください。

光反射率 60%以下の色（例えば黒）を使用する場合

- ・プレプリント用紙に光反射率 60%以下の色（例えば黒）を使用するときは、下図の斜線部内を避けてください。

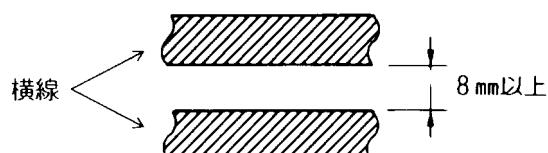


・やむを得ず斜線部内に印刷するときは、次のようにしてください。

- (1) 斜線内に印刷する横線の太さは、下図に示すように 8mm 以下にしてください。



- (2) (1)の横線が連続するときは、下図に示すようにすきまを 8mm 以上あけてください。

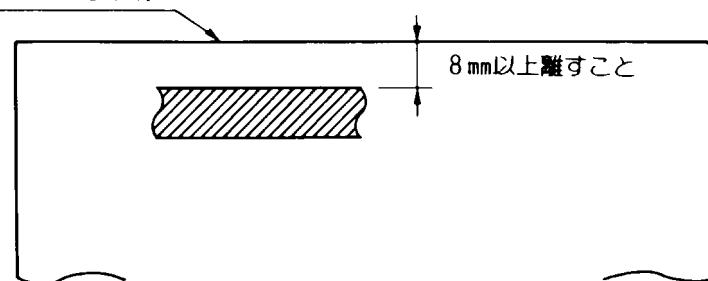


注) 線の太さが 0.5mm 以下のときは、すきまが 4mm 以上でも可能です。

- (3) 斜線内に縦線を入れるときは、線の太さを 0.5mm 以下とし、斜線内に 1 本までとしてください。

・用紙の端面付近に印刷するときは、下図に示すように用紙の端面から 8mm 以上離してください。

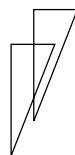
用紙上端または下端



注) 線の太さが 0.5mm 以下のときは、すきまが 4mm 以上でも可能です。

罫線枠の幅

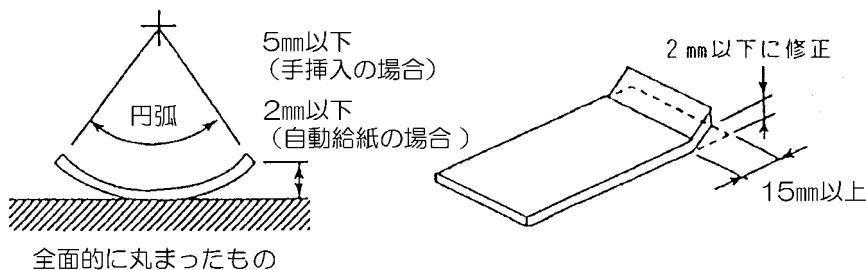
罫線枠のある用紙（プレプリント用紙）に印字する場合、罫線枠の幅が 6mm 以下の用紙は、用紙のたわみや吸入セット位置のズレなどによって、印字した文字が罫線枠上に重なったり、はみだしたりすることがありますので、事前に試し印字で印字位置を確認するようしてください。なお、罫線枠は上下左右に 2.5mm 程度の余裕をもたせることを推奨いたします。



取扱い上のご注意

用紙の保管、取扱いについて

- 用紙を保管したり、取り扱ったりするときは、変形、破損が生じないように注意してください。
- 湿気の多い所での保管は、絶対に避けてください。
- 排出された単票用紙を長時間放置したり、大量の単票用紙を排出した場合、用紙がカールする、用紙が崩れる、などにより次の排出が適切に行えなくなります。排出された用紙は、すみやかに取り除いてください。
- 用紙厚さに段差のある用紙や穴のあいている用紙は、印字カスレ、リボンによる用紙汚れや印字ヘッドピン折れの原因になりますので、十分に試し印字をしてください。
- 用紙の上端がカールしていたり、折れたりしている用紙は、装置内部で用紙走行不良を起こしやすいので、カール／上端折れがない用紙をご使用ください。



特殊用紙について

- この章に記述した仕様に合わない特殊用紙を使用するときは、用紙づまりなどのトラブルを予防するため、サンプルを作成して十分なためし印字を行い、使えることを確認してから使用してください。
- タック紙は、用紙づまりを起こすことがありますので使用しないでください。
- 再生紙の種類によってはリボンカセットの寿命が短くなったり、用紙づまりが起きたことがあります。このときは、使用を中止し、紙質の良いものに変更してください。

第5章

保守と点検

この章では、リボンカセットの交換、用紙づまりやプリンタがうまく動かないときの処置、テスト印字のしかた、清掃のしかた、輸送のしかた、およびアフターサービスについて説明します。

リボンカセットを交換する	74
リボンカセットの種類	74
交換のしかた	74
サブカセットの交換のしかた	75
用紙づまりのとき	77
連続帳票用紙がつまつたとき	77
単票用紙がつまつたとき	79
カットシートフィーダご使用での 紙づまりの取り除き方	80
用紙が給紙ホッパ内に見えている場合	80
内部で紙づまりを起こした場合	80
プリンタがうまく動かないとき	81
電源投入時の不具合	81
単票用紙吸入時の不具合	81
連帳用紙吸入時の不具合	82
印字中の問題点	83
印字結果の問題点	83
印字位置の問題点	84
印字位置がページによってズレる	85
カットシートフィーダ使用時の不具合	85
エラー表示と対処方法	87
テスト印字をする	88
清掃のしかた	90
プリンタを輸送するとき	91
アフターサービス	92



リボンカセットを交換する

リボンカセットの種類

このプリンタで使用するリボンカセットは、下表のとおりです。

商品名	商品番号	備考
リボンカセット(黒)	0325210	黒色のリボンカセットです。
リボンカセット(カラー)	0325230	カラー リボンカセットです。 カラー印刷の際に使用します。
サブカセット(黒)	0325220	詰め替え用黒リボンです。
サブカセット(カラー)	0325240	詰め替え用カラーリボンです。

▲注意

誤飲 インクリボンをお子様が口に入れたりなめたりしないようにしてください。健康を損なう原因となることがあります。

お願い

- ・リボンカセットは、指定の純正品を使用してください。
指定以外のリボンカセットを使用すると、インクリボンがからまつたり、印字ヘッドが傷んだりしてプリンタの故障を引き起こすことがあります。
- ・インクリボンがたるんだ状態で使用しないでください。たるんだまま印字を開始すると、インクリボンがからまつたり、巻きとりがロックすることがあります。
- ・使用済みのリボンカセットは、不燃物として処理してください。

交換のしかた

リボンカセットの交換は、次の手順で行います。

1 電源を切る

(電源スイッチが()側に倒れた状態になります。)

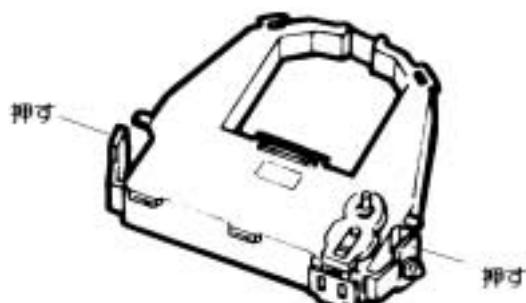
2 フロントカバーを開ける

3 印字ヘッドをプリンタの中央に移動する

▲注意



印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。
温度が下がったことを確かめてから、中央に寄せ
てください。

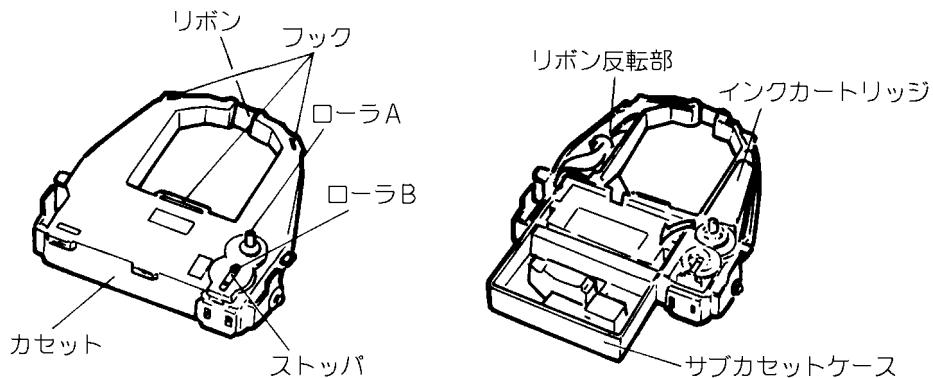


4 リボンカセットの両脇を押して、プリンタから取り外す

新しいリボンカセットの取付けは、21 ページの「リボンカセットを取付ける」を参照してください。

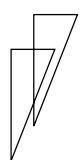
サブカセットの交換のしかた

サブカセットの交換は、次の手順で行います。



- 1 ストップを「LOCK」側に引き、ローラ B を離反させる
- 2 フタを固定している 3 つのフックを外してフタをあけ、使用済のリボンとインクカートリッジを取り出す
- 3 ローラ A を矢印の方向に傾けながら、新しいインクカートリッジを装着する

- 4** サブカセットケースを逆さにセットし、保護フィルムを静かに引き剥がす
- 5** リボン反転部で反時計方向にひねりながら、カセットに通す
- 6** 「PUSH」部を押しながら、サブカセットケースをゆっくりと引き上げる
- 7** 元の様にカセットフタを閉めてストップを解除します。ローラ A を 2~3 回転まわし、リボンがスムーズに送られることを確認する
- 8** 使用済のリボンとインクカートリッジは、袋などに入れて廃却する

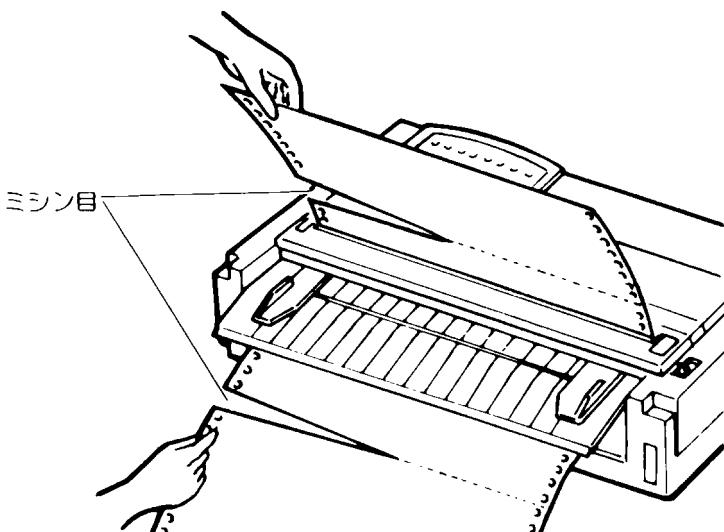


用紙詰まりのとき

連續帳票用紙がつまつたとき

用紙詰まりを起こしたときは、用紙を無理に引っ張らず、静かに取り除きます。

まず、はじめに取り出しやすいように連續帳票用紙をミシン目でカットします。



その後、用紙詰まりの状態に合わせて、次の手順で用紙を取り除きます。

◆ 用紙の入口付近での用紙詰まり

- 1 オフライン状態にする
(「オンライン」ランプが消灯している状態です。)
- 2 用紙送りトラクタのロックレバーを解除して用紙押さえを開き、用紙を取り除く

◆ 印字ヘッドとプラテンの間での用紙づまり

微小改行（26ページ参照）を行って、用紙を取り除きます。

それでも用紙が取り除けないときは、次の処置を行います。

- 1 プリンタの電源を切る
- 2 プラテンを逆方向に回して用紙を取り出す

◆ 用紙の出口付近での用紙づまり

- 1 プリンタの電源を切る
- 2 用紙送りトラクタのロックレバーを解除し、用紙押さえを開く
- 3 用紙厚調整レバーを“D”の位置にセットする
- 4 用紙が取り出しやすいように印字ヘッドを動かし、用紙を取り除く

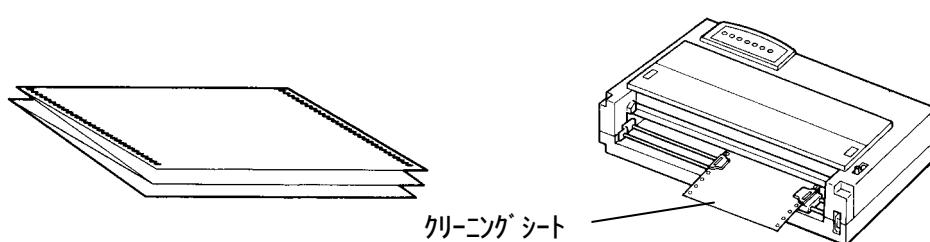
▲注意



高温注意

印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。
温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッド
を動かしてください。

・前記手段を行っても用紙が取り除けないときには、連続帳票用紙4枚を重ねたもの または プリンタクリーニングシート(0631370)を用紙送りトラクタにセットし、プラテンを正方向に回して用紙を取り除きます。このとき、キャリアが用紙の中央部にくることを確かめてから行ってください。



▲注意



高温注意

印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。
温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッド
を動かしてください。

単票用紙がつまつたとき

用紙づまりを起こしたときは、用紙を無理に引っ張らず、静かに取り除きます。

用紙づまりの状態に合わせて、次の手順で用紙を取り除きます。

◆ 用紙の入口・出口付近での用紙づまり

- 1 オフライン状態にする
(「オンライン」ランプが消灯している状態です。)
- 2 微小改行(26ページ参照)を行って、用紙を取り除く

◆ 印字ヘッド付近での用紙づまり

- 1 プリンタの電源を切る
- 2 用紙厚調整レバーを“D”の位置にセットする
- 3 フロントカバーを開ける
- 4 印字ヘッドを、用紙が取り出しやすいように移動する

▲注意



印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。
温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッド
を動かしてください。

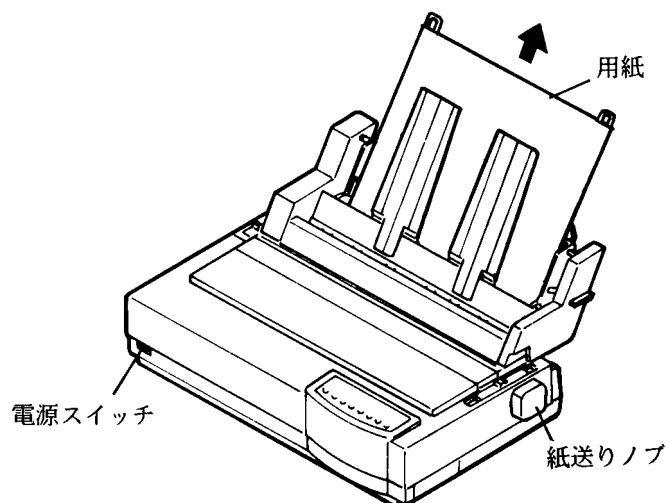
- 5 用紙を取り除く



カットシートフィーダご使用での 紙づまりの取り除き方——

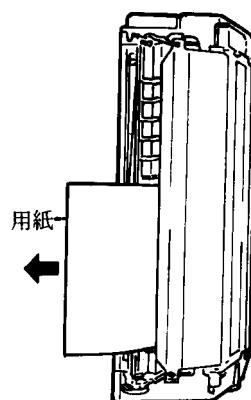
用紙が給紙ホッパ内に見えている場合

- 1 プリンタ装置の電源を「OFF」にする
- 2 紙送りノブを回しながら用紙を上へ静かに引き抜く



内部で紙づまりを起こした場合

- 1 プリンタ装置の電源を「OFF」にし、カットシートフィーダをプリンタ装置から取り外す
- 2 カットシートフィーダを立てて、用紙を静かに引き抜く





プリンタがうまく動かないとき

プリンタが動かなくなったり、きれいに印字できなくなったりした場合の処置方法を説明します。故障とお考えになる前に簡単な点検で解決する場合がありますので、下表の項目について確認してください。処置を行っても機能が回復しない場合は、ハードウェア修理相談センター（92ページ参照）にご相談ください。

電源投入時の不具合

電源を投入すると、操作パネルのランプが点灯し、各部機構の位置決め動作と自己診断を行います。その際の異常動作に対する処置方法を説明します。

現象	原因	処置
電源を投入後「電源」ランプが点灯せず、プリンタが動作しない。	電源コードの接続が正しくない。	プリンタの電源を切り、電源コードの接続を確かめてください。（「電源コードの接続」16ページ参照）
電源を投入後、いったん「電源」ランプが点灯するが消灯する。	電圧異常を検出し、電源が自動的に停止した。	電源を切って、5分間放置後、再度電源を投入し、再現する場合は、修理を依頼してください。
	用紙やリボンが印字ヘッドに引っかかっているため、電源投入時の印字ヘッドの左右動作(イニシャル動作)が正常にできない。	電源を切って、印字ヘッドに引っかかっているものを取り除いてください。
	印字ヘッドを固定している輸送用固定材が取り外されていないため、電源投入時の印字ヘッドの左右動作(イニシャル動作)が正常にできない。	電源を切って、輸送用固定材を取り外してください。（「輸送用固定材の取外し」12ページ参照）
	モータやセンサ、回路の故障、その他を検出した。	電源を切って、再度電源を投入し、再現する場合は、修理を依頼してください。

単票用紙吸入時の不具合

単票用紙吸入がうまくできない場合の、処置方法を説明します。

現象	原因	処置
吸入しない。	プリンタがオンライン状態である。	オンラインスイッチを押してオフライン状態にしてください。
	連帳単票切替えレバーが「連帳」側になっている。	連帳単票切替えレバーを「単票」側にして下さい。

現象	原因	処置
吸入しない。	前回吸入した用紙を、手で引き抜いたため、プリンタの状態が紙有り状態となっている。	用紙セットスイッチを押し、一度排出動作をさせてから、再吸入してください。
	機能設定でオートローディングが無効になっている	用紙セットスイッチを押して吸入させるか、機能設定を変更してください。
	用紙検知部分で用紙に綴じ穴等の穴があいている。	用紙セットスイッチを押して吸入してください。
吸入途中で用紙がつまる。	用紙厚調整レバーの設定が正しくない。	用紙厚調整レバーを正しく設定してください。
	用紙の仕様が合っていない。	仕様に合った用紙を使用してください。（「第4章 用紙について」47ページ参照）
	用紙の先端の折れ、曲がりがある。	折れたり、曲がったりしている用紙は使用しないでください。
吸入後キャリアが移動したのちに排出される。	キャリアの用紙センサが用紙を検出出来なくなった。	用紙センサを清掃してください。（「清掃のしかた」90ページ参照）
	プレプリントによりセンサが誤検出している（プレプリントのない用紙は問題無い）。	プレプリントに関しては、「プレプリント用紙を使用するとき」（70ページ）を参照してください。

連帳用紙吸入時の不具合

連帳用紙がうまく吸入できない場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
吸入しない。	プリンタがオンライン状態である。	オンラインスイッチを押してオフライン状態にしてください。
	連帳単票切替えレバーが「单票」側になっている。	連帳単票切替えレバーを「連帳」側にして下さい。
	前回吸入した用紙を、手で引き抜いたため、プリンタが紙有り状態となっている。	用紙セットスイッチを押し、一度排出動作をさせてから、再吸入してください。
吸入途中で用紙づまりとなる。	左右のトラクタ間で用紙が弛んでいる。	左右のトラクタ間隔を軽く用紙が張る程度に調整してください。
	トラクタへのセットで、左右で穴がズレている。	正しくセットし直してください。
	用紙の上端部に損傷、折れ曲がりがある。	損傷したり、折れ、曲がりのある連帳を使用しないでください。
	用紙厚調整レバーの設定が正しくない。	用紙厚調整レバーを正しく設定してください。
	用紙の仕様が合っていない。	仕様に合った用紙を使用してください。（「第4章 用紙について」59ページ参照）

印字中の問題点

印字中の問題点に対する対処方法を説明します。

現象	原因	処置
印字が始まらない。	「オンライン」ランプが消えている。	オンラインスイッチを押して、「オンライン」ランプを点灯させてください。
オンライン状態であるのに、印字できない。	プリンタケーブルの接続に問題がある。	プリンタの電源を切り、プリンタとパソコンをつなぐプリンタケーブルの接続を確かめてください。 (「パソコンとの接続」16ページ参照)
印字音はするのに印字しない。	リボンカセットを取り付けていない。	リボンカセットを取り付けてください。 (「リボンカセットを取付ける」21ページ参照) ・リボンカセットが取り付けてあるのに印字しないときは、印字ヘッドとリボンガイドの間にリボンが入っているかどうかを確かめてください。
プリンタ動作中に「用紙切れ」ランプが点滅し、プリンタが停止した。	印字ヘッドの左右動作に異常が発生した。 <要因> 1.段差のある用紙を使用している。 2.紙厚設定が正しくない。 3.用紙つまりが発生した。 4.リボンが印字ヘッドに引っかかった。	電源を切って、用紙仕様、紙厚設定を見直してください。

印字結果の問題点

印字結果の問題点に対する処置方法を説明します。

現象	原因	処置
リボン汚れが出る。	用紙厚調整レバーが正しくセットされていません。(適正值に対して狭くなっている。)	使用している用紙に合わせて正しくセットしてください。 (「用紙厚を調整する」55ページ参照)
	リボンカセットの交換時期が近づいている。リボン生地の波うちが激しくなっている。	新しいリボンカセットと交換してください。 (「リボンカセットを交換する」74ページ参照)

縦棒のつなぎの左右方向にズレが大きい(行間ズレが大きい)。	用紙厚調整レバーが正しくセットされていない(適正值に対し狭くなっている)ため、印字ヘッドの左右動作の精度が悪くなっている。	使用している用紙に合わせて正しくセットしてください。(「用紙厚を調整する」55 ページ参照)
	行間ズレ調整が正しくない。	「行間ズレを直す」(35 ページ)を参照し、行間ズレを直してください。
印字がうすい。	用紙厚調整レバーが正しくセットされていません。(適正值に対して広い)	使用している用紙に合わせて正しくセットしてください。(「用紙厚を調整する」44 ページ参照)(狭めに設定し直してください。)
	リボンカセットの交換時期が近づいている。リボン生地の印字跡部の黒さが薄くなっている。	新しいリボンカセットと交換してください。(「リボンカセットを交換する」74 ページ参照)
	印字ヘッドの交換時期が近づいています。	印字ヘッドを交換してください。お買い求めの販売店、またはハードウエア修理相談センターにご連絡ください。
印字を構成するドットが横一列に欠ける。	印字ヘッドのピンが折れています。	印字ヘッドを交換する必要があります。お買い求めの販売店、またはハードウエア修理相談センターにご連絡ください。
印字の下の部分が欠ける。	リボンカセットが正しく取り付けられていません。	印字を中止して、リボンカセットを正しく取り付けてください。(「リボンカセットを取り付け」21 ページ参照)
印字が所々でよじれたように欠ける(用紙を変えても発生する)。	リボンがたるんだり、よじれたりしています。	印字を中止して、リボンカセットを点検してください(リボンつまみを回してリボンのよじれが無いか確認します)。

印字位置の問題点

印字位置に問題点がある場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
印字開始位置が上、または下にズれる。	用紙のバラツキにより、印字位置がわずかにズれる。	・印字開始位置を調整してください。(「印刷開始位置について」57 ページ参照)
	ドライバでの余白の設定、プリンタの上端余白の設定がアプリケーションに適合していない。	アプリケーションに合わせて、ドライバの給紙方法、余白量設定、プリンタの機能設定を正しく設定してください。
	ソフトウェアによっては上端余白の設定を変更する必要が有ります	アプリケーションソフトの説明書で確認してみてください。
	用紙上端のプレプリント禁止領域にプレプリントがある。	プレプリントを修正するか、吸入後用紙の位置合わせを行なって印字してください。

印字位置がページによってズレる

印字位置がページによってズレる場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
連續用紙の印字位置がページによってズレる。	用紙の仕様が合っていません。	仕様に合った用紙を使用してください。（「第4章 用紙について」59ページ参照）
	連續用紙の置きかたが悪く、正しく搬送できない。	連續用紙はプリンタ給紙口の下に置き、斜めになったり、途中に引っかかりのない様にしてください。また、箱からスムーズに引きだされない用紙は、箱から出して設置してください。
	用紙のページ長さと、ソフトウェアのページ長設定値が異なる。	ソフトウェアのページ長指定に合う用紙を使用してください。
	用紙の特性により、吸入位置に對してわずかながら印字位置がずれる事がある。	機能設定の「連帳改行補正量」（31ページ参照）の値を変更してください。

カットシートフィーダ使用時の不具合

現象	原因	処置
カットシートフィーダが動作しない。給紙ローラが回転しない。	カットシートフィーダがプリンタ装置に正しくセットされていない。	カットシートフィーダを正しくセットし直してください。
給紙ホッパに用紙が残っているのに用紙が吸入されない。	右と左の用紙ガイドで用紙をはさんでいる。	用紙ガイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。
	用紙が厚すぎる。	仕様にあった用紙を使用してください。
	給紙ホッパにセットした用紙の枚数が多すぎる。	用紙の枚数を単票用紙の場合は 160 枚以内、ハガキの場合は 50 枚以内にしてください（用紙ガイドの赤線以内にセットしてください）。
	用紙詰まりになっている。	つまった用紙を取り除いてください。
給紙ホッパに用紙が残っているのに用紙が吸入されない。	リリースレバーが“開”になっている。	リリースレバーを用紙の種類に合わせて、“閉”または“ハガキ”にしてください。
	プリンタ装置の連帳／単票切替レバーが、「連帳」になっている。	連帳／単票切替レバーを「単票」側にしてください。

複数枚の用紙が同時に送られてしまう（ダブルフィード）。	用紙を十分にさばいてなかつた。	用紙を十分にさばいてセットしてください。
	単票用紙セットで、リリースレバーが“ハガキ”になっている。	リリースレバーを“閉”にしてください。
	用紙が薄すぎる。 用紙に折れ、曲がりがある。	仕様にあった用紙を使用してください。
	左右の用紙ガイドの間隔に狭すぎるか広すぎる。	用紙ガイドを用紙幅に合わせてください。
	給紙ホッパの用紙が不揃いの状態でセットされている。	用紙を給紙ホッパに正しくセットしてください。
	種類の異なった用紙が混在している。	用紙の種類は一種類にして紙置台へセットしてください。
紙づまりが起きる。	左右の用紙ガイドの間隔が狭すぎるか広すぎる。	用紙ガイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。
	仕様以外の用紙を使っている。 用紙に折れ、曲がりがある。	仕様にあった用紙を使用してください。
	種類の異なった用紙が混在している。	用紙の種類は一種類にして給紙ホッパへセットしてください。
	給紙ホッパにセットした用紙の枚数が多すぎる。	用紙の枚数を単票用紙の場合は 160 枚以内、ハガキの場合は 50 枚以内にしてください（用紙ガイドの赤線以内にセットしてください）。
	給紙ホッパ内の用紙が不揃いの状態でセットされている。	用紙を給紙ホッパ内に正しくセットしてください。
	プリンタ装置の紙厚調整レバー位置が正しくセットされていない（狭い）。	紙厚調整レバー位置を使用する用紙厚に合わせてセットしてください。
	給紙ローラ、プリンタ装置の用紙送りプラテンと用紙がすべっている。	給紙ローラ、プリンタ装置の用紙送りプラテンを清掃してください。
用紙が極端にかたむく。	用紙不良。	新しい用紙を使ってください。
	左右の用紙ガイドの間隔が広すぎる。	用紙ガイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。
	給紙ホッパ内の用紙が不揃いの状態でセットされている。	用紙を給紙ホッパ内に正しくセットしてください。
	プリンタ装置の紙厚調整レバー位置が正しくセットされていない（狭い）。	紙厚調整レバー位置を使用する用紙厚に合わせてください。
	リリースレバーの位置が正しくセットされていない。	リリースレバーを用紙の種類に合わせて“閉”または“ハガキ”にセットしてください。
行間隔が極端につまる。	プリンタ装置の紙厚調整レバー位置が正しくセットされていない（狭い）。	紙厚調整レバー位置を使用する用紙厚に合わせてセットしてください。
	給紙ローラ、プリンタ装置の用紙送りプラテンと用紙がすべっている。	給紙ローラ、プリンタ装置の用紙送りプラテンを清掃してください。

現象	原因	処置
用紙が正常に排出されない。	スタッカに用紙が一杯になった。	スタッカの用紙を取り除いてください。
	仕様以外の用紙を使っている。	仕様にあった用紙を使用してください。
	プリンタ装置の紙厚調整レバー位置が正しくセットされていない(狭い)。	紙厚調整レバー位置を使用する用紙厚に合わせてください。

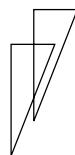
エラー表示と対処方法

エラー発生時に点滅するランプによりアラーム内容が識別できます。その場合の処置方法を説明します。

ランプ名 アラーム名	モード	用紙切れ	ゴシック体	明朝体	高速	オンライン	ランプの点滅回数	原因	対処方法
LES アラーム							3回	印字キャリアームオプション検出に失敗した。	1. プリンタの電源を切ってパソコン画面の〔キャンセル〕ボタンをクリックして、印刷を中止してください。 注) 印刷を中止しない場合、正しく印刷されないことがあります。 2. プリンタ(給紙口、内部、排出部)の用紙を取り除いてください。 3. 印字ヘッドが冷えていることを確認し印字ヘッドを手で、両端まで動くことを確認してください。異物があった場合は、取り除いてください。 4. 電源を入れて、再度印刷し直してください。 注) 用紙厚設定が正しくない場合も、異常となることがあります。
オプション検出アラーム							3回	印字キャリアの左右動作を利用したオプション検出に失敗した	1. プリンタの電源を切ってパソコン画面の〔キャンセル〕ボタンをクリックして、印刷を中止してください。 注) 印刷を中止しない場合、正しく印刷されないことがあります。
オーバーロードアラーム							2回	電源電圧の異常を検出した。	1. プリンタの電源を切ってパソコン画面の〔キャンセル〕ボタンをクリックして、印刷を中止してください。 注) 印刷を中止しない場合、正しく印刷されないことがあります。
低電圧アラーム							3回		
ROM/RAM アラーム							2回	ROM/RAMの異常を検出した。	2. 電源を入れて、再度印刷し直してください。



使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。



テスト印字をする

テスト印字は、次の手順で行います。

1 用紙幅 15 インチ以上の連続帳票用紙をセットする

用紙のセットのしかたは「第3章 用紙のセット」を参照してください。

2 電源を切る

(電源スイッチが()側に倒れた状態になります。)

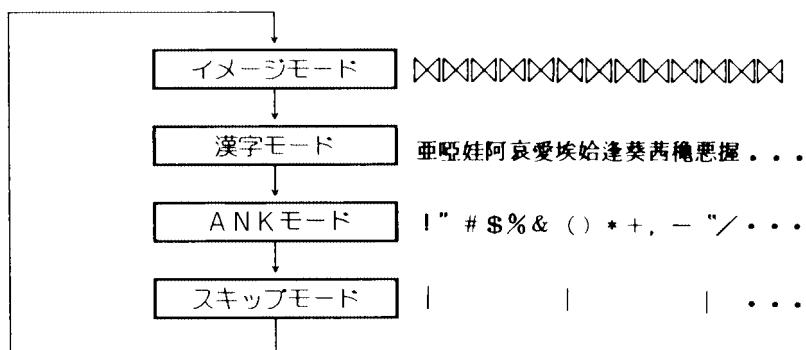
3 [改 行]スイッチを押しながら電源を入れ、テストパターンを印字する

印字が始まる前に[改 行]スイッチから手を離すと、連続して印字する

テストモードを切り替えるとき

印字中に印字ヘッドが左端または右端に移動したとき

に[改ページ]スイッチを押すと、次の順序でテストモードが切り替わります。



【ESC/P エミュレーション】

- ・漢字モードのとき、

→非漢字 →第一水準漢字 →第二水準漢字 →

の印字を繰り返します。

- ・ANK モードのとき、高品位文字を印字します。

【FM エミュレーション】

- ・漢字モードのとき、

→ 第一水準漢字 → 第二水準漢字

の印字を繰り返します。

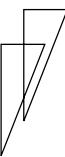
- ・ANK モードのとき、ドラフト文字を印字します。

印字モードを切り替えるとき

高速スイッチを押します。

スイッチを押すたびに、高速印字モードと標準印字モードが交互に切り替わります。高速印字モードのときは、「高速」ランプが点灯します。

- 4** テスト印字中に**オンライン**スイッチまたは**改行**スイッチを押すと、テスト印字が終了する



清掃のしかた

プリンタを良好な状態で使用できるように、定期的に清掃してください。

▲注意



一般的禁止

- ・清掃の際は、必ず電源を切ってください。
- ・シンナーやベンジンなど、揮発性の薬品は使用しないでください。プリンタの表面が変質したり、変形したりする恐れがあります。
- ・プリンタの内部を濡らさないでください。電気回路がショートする恐れがあります。
- ・プリンタに潤滑油を補給しないでください。プリンタの故障の原因となる場合があります。

清掃は、次の手順で行います。

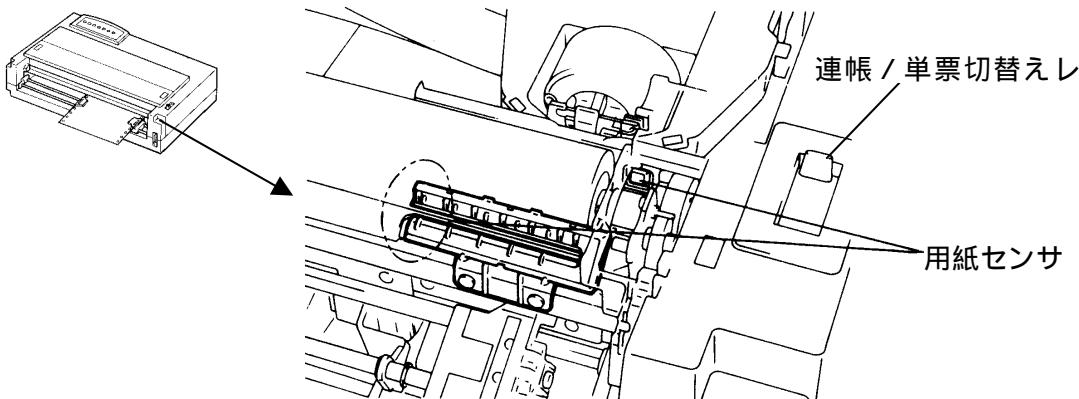
- 1 プリンタの電源を切り、電源コンセントを抜く
- 2 リアカバーを取り外し、フロントカバーを開ける
- 3 プリンタ内部を拭く
 - 1) 中性洗剤を薄めた水に、清潔な柔らかい布を浸し、よく絞って、ブランなどのプリンタ内部やフロントカバーの内側を拭きます。
 - 2) 用紙センサが見えるようにキャリアユニットを移動し、綿棒などで用紙センサを軽く拭きます。

▲注意



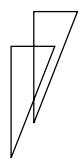
高温注意

印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。
温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。



- 4 リアカバーを拭く

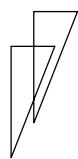
- 5 リアカバーを取り付けて、電源を入れる



プリンタを輸送するとき

プリンタを衝撃から守るため、以下の手順で梱包してから輸送してください。

- 1 プリンタの電源を切る**
(電源スイッチが()側に倒れた状態になります。)
- 2 用紙を取り去り、リアカバーを取り外す**
- 3 プラグを電源コンセントから抜いて、プリンタケーブルをプリンタから取り外す**
- 4 リボンカセットを取り外す (74 ページ参照)**
- 5 リアカバーを包装する**
- 6 印字ヘッドを保護するために、輸送用固定材を取り付ける**
- 7 用紙厚調節レバーは、“D”目盛りに設定する**
- 8 プリンタを衝撃から守るため、梱包材などでくるみ、届いたときと同じ状態にして箱に入れる**



アフターサービス

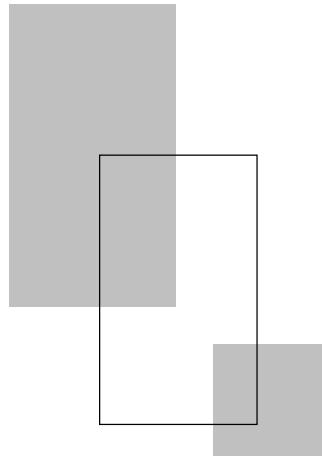
- ・お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
- ・保証書は日本国内のみで有効です。
- ・無償保証期間は、お買い上げ日より 6 か月です。詳細は保証書をご覧ください。
- ・保守部品供給期間は、製造中止後 6 年です。
- ・分解、改造などを行わないでください。無償保証期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
- ・プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。
サプライ品以外の用品をお使いになったことによる、製品の誤動作および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・故障の際は下記までご連絡ください。

『ハードウェア修理相談センター』

フリーダイヤル : 0120-422-297

受付時間 : 平日 9:00 ~ 17:00

(土曜・日曜・祝日および当社指定の休日を除く)



第 6 章

オプション

この章では、オプションの取付け、取外しおよび使用方法について説明します。

カラーユニットの取付け	94
カットシートフィーダのご使用方法	95
カットシートフィーダ使用上のご注意	95
カットシートフィーダの搭載方法	96
カットシートフィーダ仕様	98

カラーユニットの取付け

カラーユニットをプリンタに取り付けると、カラーのリボンカセットを使用して7色のカラー印字ができます。テキストデータの一部をカラー印字するときに使用します。(黒色のリボンカセットも使用できます。)

注)アプリケーションによっては、カラー印刷を行ったとき正常にカラー印刷できない場合があります。

品名	型名	備考
カラーユニット	FMPR - CL2	プリンタに取り付けると、カラー リボンカセットが使用できます。

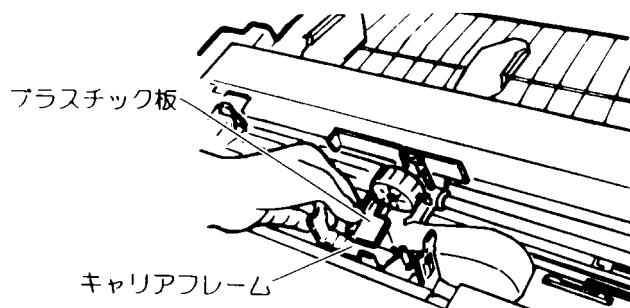
注)カラーユニットはカラー印字するプリンタ毎にご用意ください。
カラーユニットの取付けは、次の手順で行います。

1 プリンタの電源を切る

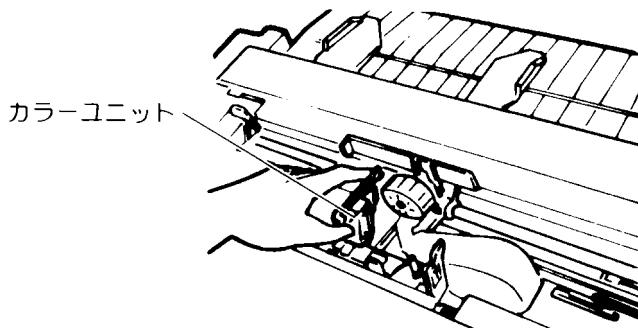
(電源スイッチが()側に倒れた状態になります。)

2 フロントカバーを開ける

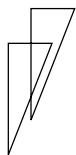
3 キャリアフレームの黒いプラスチック板を抜き取る



4 カラーユニットをキャリアフレームに突き当たるまで、しっかりと溝に押し込む



5 カラーリボンカセットをセットして、フロントカバーを閉じる



カットシートフィーダのご使用方法 ——

別売のカットシートフィーダは、セットした単票用紙を1枚ずつプリンタへ送り出し、印字した用紙をスタッカへ排出するユニットです。

更に、A3横長サイズまでの用紙を、手挿入口からプリンタの印字位置まで手差しでセットして、一枚ずつ印字することもできるようになっています。

このプリンタでは、カットシートフィーダを取り付けたまま、連続帳票用紙を使用できます。ただし、この場合は、連続帳票用紙を先にセットしておくことをおすすめします。

連続帳票用紙を使用するときは、リリースレバーを“開”にしてください。また、「用紙カット」スイッチは、カットシートフィーダを搭載した場合には無効となります。

品名	型名	備考
カットシート フィーダ	FMPR-CF7	カットシートフィーダを取り付けると、複数枚の単票用紙がセットできます。さらに、ホッパユニットをカットシートフィーダに取り付けると、2種類の単票用紙をセットできます。
ホッパ ユニット	FMPR-CF71	

▲注意



カットシートフィーダを取り付けたり、取り外したりするときは、必ず電源を切ってください。

一般的の禁止

▲注意



カットシートフィーダの上部を手で押さないでください。

一般的の注意

強く押すと、プリンタが倒れことがあります。



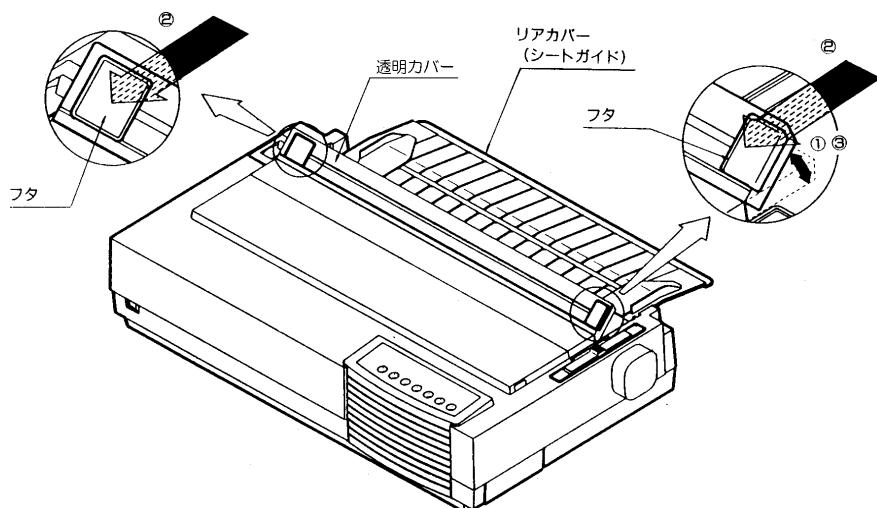
カットシートフィーダ使用上のご注意——

- 1) カットシートフィーダを使用して「逆改行コマンドおよび、それに類するコマンド（用紙を逆方向へ送るコマンドおよび、逆方向送り動作が含まれるコマンド）」で印字した場合は、用紙送りの精度が悪くなるばかりでなく、用紙の送り不良になることがあります。
- 2) 設置は、直射日光の当たる場所を避けてご使用ください。
- 3) 用紙は、温度、湿度などの影響を受け易く、安定した用紙送りへ悪影響を及ぼすため、保管も含め常温常湿のもとでご使用ください。

カットシートフィーダの搭載方法

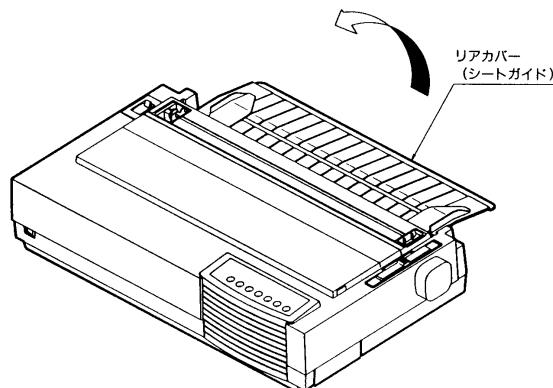
カットシートフィーダの搭載は、次の手順で行います
なお、カットシートフィーダの組立およびホッパユニットのカットシートフィーダへの装着手順は、カットシートフィーダの取扱い説明書を参照してください。

- 1 プリンタ装置の電源がOFFになっていることを確認する
- 2 プリンタの透明カバーの左右のフタを取り外す
 - 透明カバーを開けます。
左右のフタを裏側から押出して取り外します。
(透明カバーのフタは、カットシートフィーダを取り外したとき再び使用する
のではなくさないようにしてください。)
 - 透明カバーを閉じます



- 3 リアカバー(シートガイド)を外す

リアカバー(シートガイド)は立てている場合も倒れている場合も、手前側に回転させるだけで外れます。

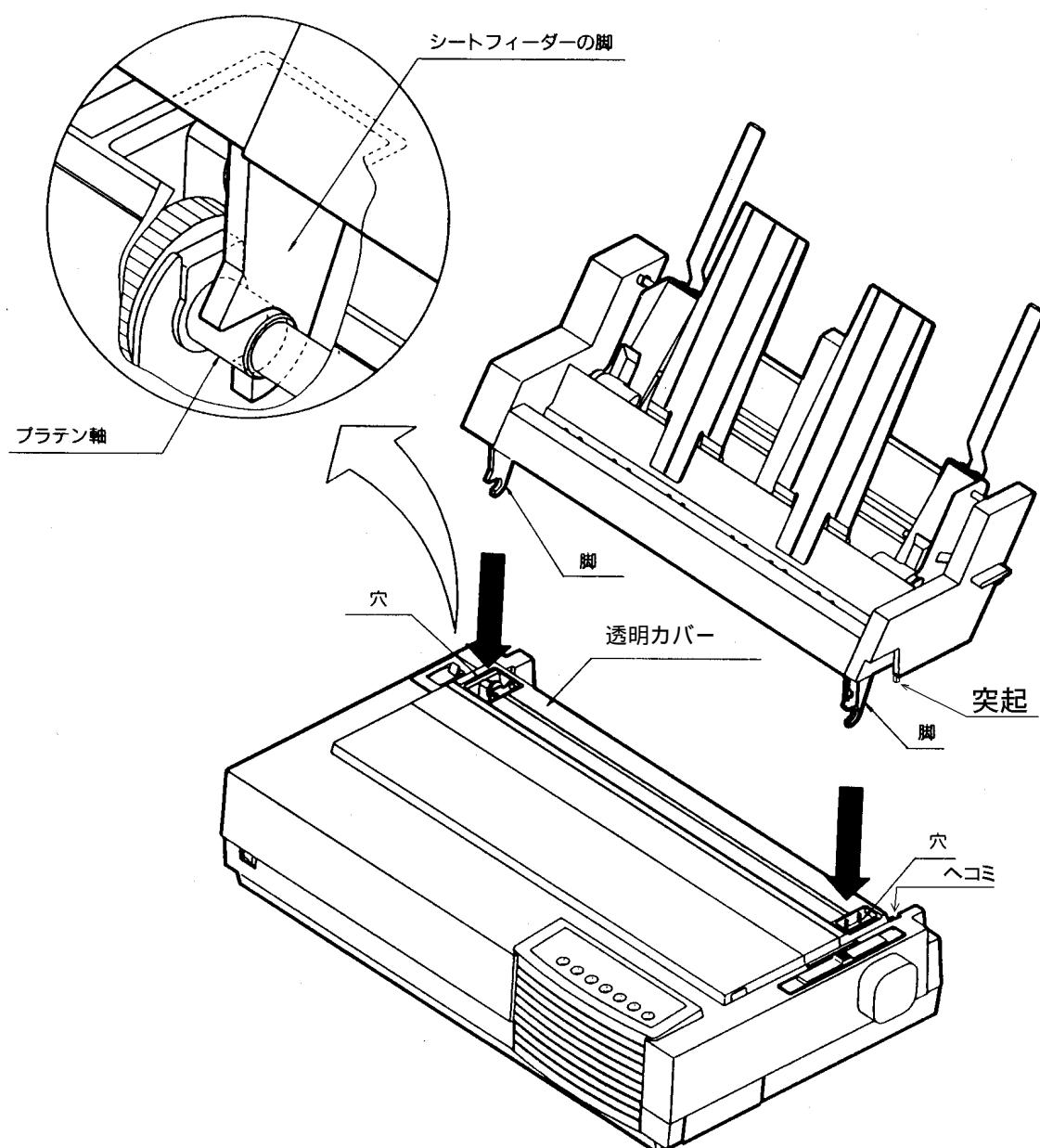


4 カットシートフィーダをプリンタに搭載する

透明カバーの穴部にカットシートフィーダの脚を差し込みます。

カットシートフィーダをやや手前に傾けて差し込み、脚が軸に載ったら水平に戻します。このとき、カットシートフィーダ右側面下部の突起を、プリンタ右側の穴の後ろのへコミに合わせてください。

透明カバーは、プリンタに装着したままご使用ください。





カットシートフィーダ仕様――――――――――

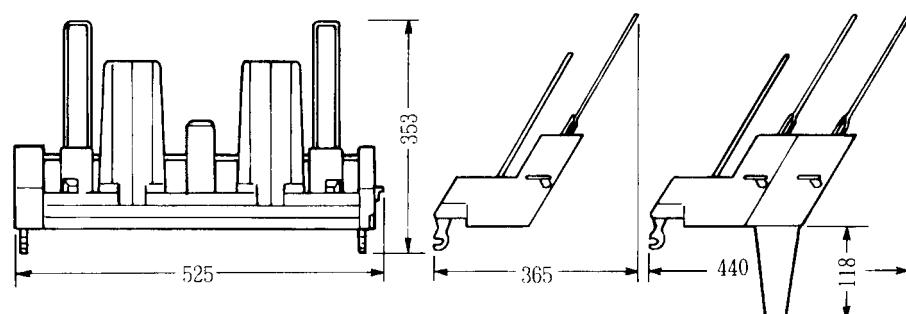
(1) 仕 様

- ・ 使用可能用紙 用紙幅 100 ~ 364mm, 用紙長さ 100 ~ 364mm
〔ただし、ホッパユニットでは、用紙長さ 210 ~ 364mm〕
- ・ 用紙連量 55 ~ 70kg
- ・ 官製はがき（往復はがき含む）
〔ただし、ホッパユニットでは使用できません。〕
- ・ 用紙収容量 ① 紙ホッパ側（未印字用紙側）160枚
② スタッカ側 160枚
〔ホッパユニットでも用紙置台側（未印字用紙側）160枚〕
(注意；上記の収容量は A4 サイズ 55kg 用紙の場合です。)
- ・ 外形寸法 525(W) × 364(D) × 353(H)mm
(補助紙置台およびスタッカ紙置台を含む寸法)
- ・ 重量 3.2kg

(2) 環境条件

- ・ 温度
 - 稼働時 5 ~ 35
 - 非稼働時 -15 ~ 60 ただし温度変化は 15 / H 以下
- ・ 湿度
 - 稼働時 30 ~ 80%RH
 - 非稼働時 5 ~ 95%RH ただし結露なきこと・30%RH / 日以下

(3) 装置外観図



カットシートフィーダ単体の場合 カットシートフィーダ + ホッパユニット

第6章 オプション

JIS⁻⁹⁰ 第二水準漢字一覽表

付 錄

ご注意

このプリンタが印字する漢字は JIS C6226-1983（情報交換用漢字符号系）に準拠していますが、JIS C6234-1983（ドットプリンタ用 24 ドット字形）は採用していません。したがって、コンピュータ本体の表示画面の文字および記号なども必ずしも一致いたしませんのでご了承ください。

JIS C6234-1983 の字体との違いはおおむね次の表の通りです。

JIS コード (区点)	カシタ	JIS	JIS コード (区点)	カシタ	JIS	JIS コード (区点)	カシタ	JIS
3022(1602)	啞	啞	3979(2589)	餽	餽	4578(3788)	禱	禱
303B(1627)	飴	飴	3A67(2671)	榦	榦	4642(3834)	瀆	瀆
306E(1678)	溢	溢	3A74(2684)	柵	柵	4654(3852)	瀝	瀝
3135(1721)	鬱	鬱	3B2A(2710)	鯖	鯖	466A(3874)	榾	榾
3139(1725)	厩	厩	3B2C(2712)	鋸	鋸	4729(3909)	禰	禰
313D(1729)	噂	噂	3B39(2725)	珊	珊	4739(3925)	囊	囊
3142(1734)	餌	餌	3C48(2840)	屢	屢	482E(4014)	澣	澣
316B(1775)	焰	焰	3D2B(2911)	繡	繡	4830(4016)	醸	醸
322A(1810)	鷗	鷗	3D36(2922)	酋	酋	4B4B(4343)	頰	頰
327A(1890)	恢	恢	3E55(3053)	蔣	蔣	4B70(4380)	鱈	鱈
336B(1975)	葛	葛	3E5F(3063)	醬	醬	4C4D(4445)	麵	麵
337A(1990)	嗜	嗜	3F2A(3110)	蝕	蝕	4C5F(4463)	餅	餅
3442(2034)	潤	潤	4066(3270)	蟬	蟬	4D32(4518)	獸	獸
3540(2132)	祇	祇	4139(3325)	嶒	嶒	4D69(4573)	萊	萊
3622(2202)	俠	俠	4169(3373)	瘦	瘦	4E7B(4691)	煉	煉
362A(2210)	卿	卿	424D(3445)	驛	驛	4F31(4717)	榔	榔
366D(2277)	軀	軀	4263(3467)	黛	黛	4F39(4725)	蠟	蠟
367B(2291)	櫛	櫛	432E(3514)	樽	樽	5622(5402)	屏	屏
3737(2323)	祁	祁	433D(3529)	簾	簾	5960(5764)	捩	捩
3771(2381)	倦	倦	444F(3647)	摶	摶	5A39(5825)	攢	攢
377E(2394)	捲	捲	4522(3702)	鄭	鄭	6546(6938)	緜	緜
3834(2420)	齧	齧	4536(3722)	墳	墳			
396D(2577)	麌	麌	453F(3731)	顛	顛			

◆ 第一水準と第二水準が入れ替わった文字

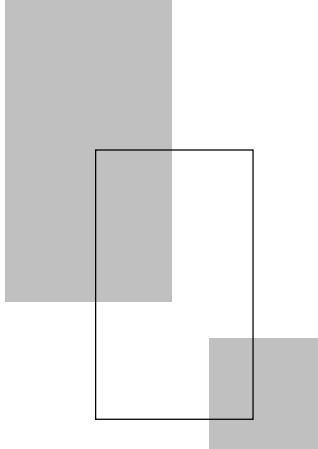
コード (区点)	新第1 水準	新第2 水準	コード (区点)	コード (区点)	新第1 水準	新第2 水準	コード (区点)
3083 (1619)	鰯	鰯	724D (8245)	4128 (3308)	賤	賤	6C4D (7645)
3229 (1809)	鳶	鳶	7274 (8284)	445B (3659)	壺	壺	5464 (5268)
3342 (1934)	蛎	蠣	695A (7358)	4557 (3755)	砾	礪	626A (6674)
3349 (1941)	攬	攬	5978 (5788)	456E (3778)	榜	檣	5B6D (5977)
3376 (1986)	竈	竈	635E (6762)	4573 (3783)	濤	濤	5E39 (6225)
3443 (2035)	灌	灌	5E75 (6285)	4676 (3886)	迹	邇	6D6E (7778)
3452 (2050)	諫	諫	6B5D (7561)	4768 (3972)	蠅	蠅	6A24 (7404)
375B (2359)	頸	頸	7074 (8084)	4930 (4116)	桧	檜	5B58 (5956)
395C (2560)	礮	礮	6268 (6672)	4B79 (4389)	僕	儘	5056 (4854)
3C49 (2841)	蕊	蕊	6922 (7302)	4C79 (4489)	薮	藪	692E (7314)
3F59 (3157)	勒	勒	7057 (8055)	4F36 (4722)	籠	籠	6446 (6838)

◆ 第二水準に追加された文字

コード (区点)	追加文字	コード (区点)	追加文字
7421 (8401)	堯	7424 (8404)	瑤
7422 (8402)	楨	7425 (8405)	凜
7423 (8403)	遙	7426 (8406)	熙

注) 「凜」と「熙」の2文字は ESC/P モードではサポートされていません。





第 1 章

ソフトウェアの概要

この章では、プリンタに添付されているソフトウェアの基本的なことがらおよびインストール方法について説明します。

添付ソフトウェアの機能	152
プリンタドライバの動作環境	152
プリンタの動作環境	153
フロッピィディスクの内容	154
プリンタドライバのインストール	155
Windows 95/98/Me のとき	155
Windows NT4.0 のとき	162
Windows 2000 のとき	169



添付ソフトウェアの機能

◆ プリンタドライバ

Windows 環境でプリンタ装置をお使いいただくには、プリンタドライバが必要になります。

FMPR-373A プリンタ装置では、Windows 95、98、Me、NT4.0、2000 用に専用のプリンタドライバを用意しています。

プリンタドライバのインストール方法および設定方法については、第1章、第2章の該当箇所をお読みください。



プリンタドライバの動作環境

対象機種	OS
FMV シリーズ	Windows 95 (日本語版)
各社 DOS/V 互換機	Windows 98 (日本語版)
	Windows Me (日本語版)
	Windows NT 4.0 (日本語版)
	Windows 2000 (日本語版)



プリンタの動作環境

1. 本プリンタドライバは ESC/P モードで動作します。プリンタのモード設定を必ず「ESC/P モード」にしてご使用ください。
2. プリンタの上端余白量の設定を「8.5mm」にしてご使用ください。
プリンタの設定変更は、「機能設定を変える」(27 ページ) を参照してください。
3. 本プリンタドライバディスクには、FMRP-373A(Monochrome) と FMPR-373A(Color) のプリンタドライバがあります。
 - ・カラーユニット(オプション)をご使用の場合は、FMPR-373A(Color)を、カラーユニット(オプション)をご使用でない場合は、FMPR-373A(Monochrome)を使用してください。
4. FMPR-373A(Color)はモノクロ / カラー兼用のプリンタドライバです。初期値はカラーとなっていますので、モノクロで印刷する場合は設定をモノクロにしてご使用ください。(印刷データによってはモノクロとカラーで印刷結果が異なる場合があります)
プリンタドライバの設定変更は、「プリンタドライバの設定」(178 ページ) を参照してください。



フロッピディスクの内容

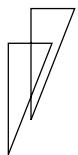
FMPR-373A ドライバディスク

本プリンタには、「FMPR-373A ドライバディスク」が同梱されています。

「FMPR-373A ドライバディスク」は以下の内容になっています。

FMPR-373A ドライバディスク

—Win95	Windows 95 用プリンタドライバフォルダ
—Win98_Me	Windows 98/Me 用プリンタドライバフォルダ
—WinNT40	Windows NT4.0 用プリンタドライバフォルダ
—Win2k	Windows 2000 用プリンタドライバフォルダ



プリンタドライバのインストール —————

Windows 95/98/Me のとき

ここでは、Windows 95/98/Me が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について説明します。

本プリンタは Plug&Play でのインストールには対応しておりません。



ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows 95/98/Me のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

◆ インストール

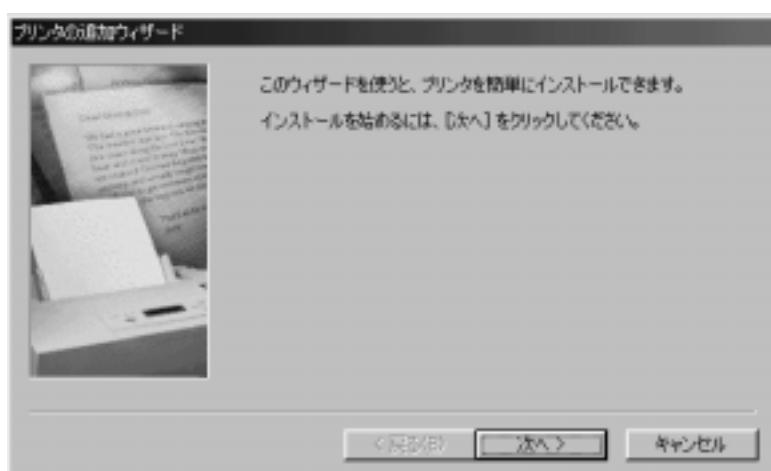
プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付の FMPR-373A ドライバディスクを準備してください。

ここでは、Windows 98 に FMPR-373A(Color) プリンタドライバをインストールする画面を例に説明しています。

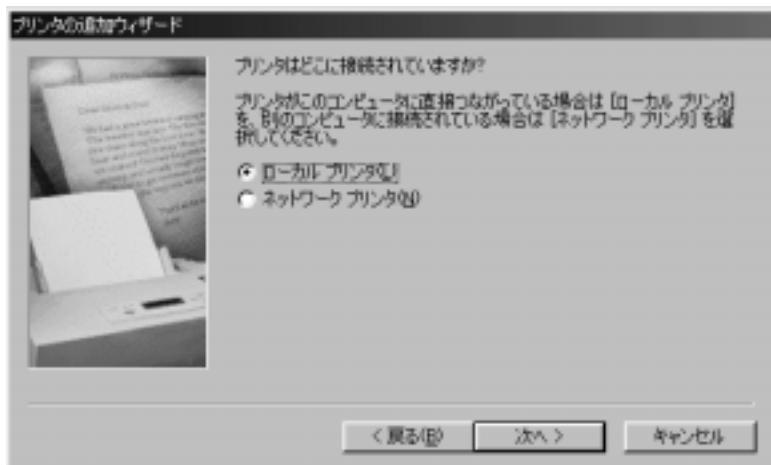
- 1 Windows 95/98 を起動する
- 2 [スタート] → [設定] → [プリンタ] を選択し、[プリンタの追加] をダブルクリックする



- 3 [次へ] をクリックする



- 4 「ローカルプリンタ」を選択し、〔次へ〕をクリックする**
 この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。



ガイド

- ・スタンドアロン（パソコンとプリンタを1対1で接続）のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。
 印刷先（ポート）を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。
- ・「ネットワークプリンタ」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
 また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

- 5 〔ディスク使用〕をクリックする**



6 添付の FMPR-373A ドライバディスクをパソコンのフロッピィディスクドライブにセットする

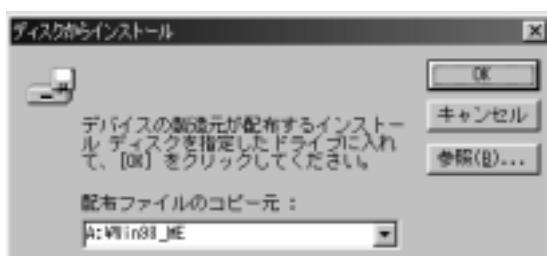
7 <配布ファイルのコピー元 : > に

「A:¥Win98_Me」と入力する、または〔参照〕をクリックして「A:¥Win98_Me」を選択する

注 1) 上記はフロッピィディスクドライブが A:のときの入力例です。

Windows 95 の場合は、「Win98_Me」を「Win95」に変えて入力してください。

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。



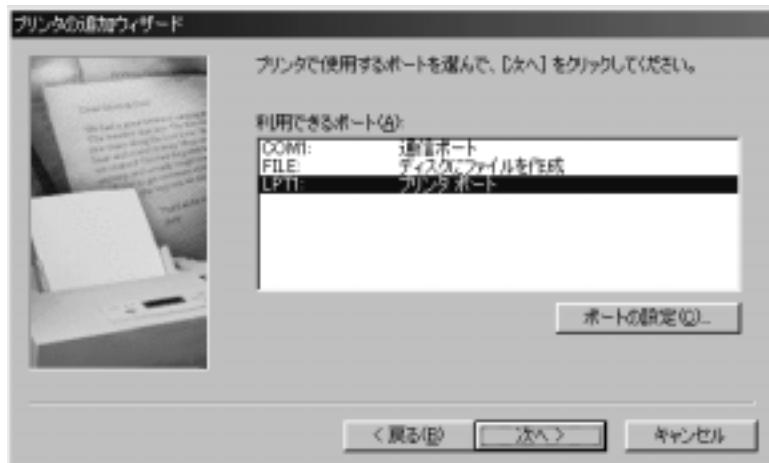
8 プリンタを選択し、〔次へ〕をクリックする



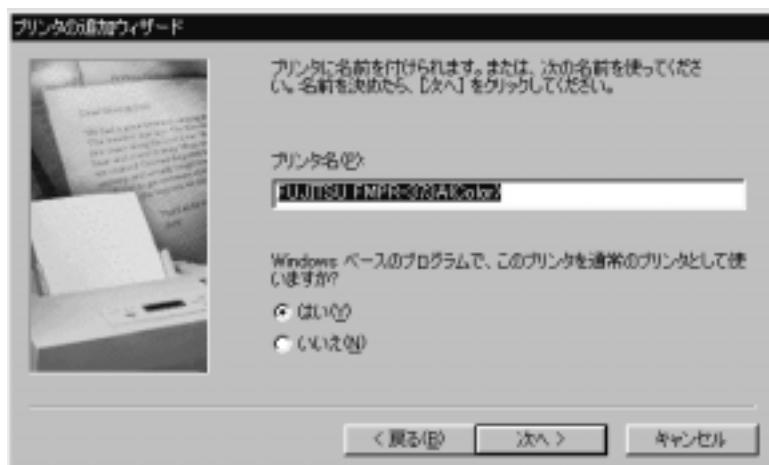
注 2) 「このプリンタにはドライバが既にインストールされています。現在のドライバをそのまま使いますか? 新しいドライバを使うと、印刷結果が異なることがあります。」という画面が表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択します。

9 使用するポートを選択し、〔次へ〕をクリックする

使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート（LPT1）などを選択してください。

**10 <プリンタ名：>にプリンタの名前を入力し、通常のプリンタに設定する場合は「はい」を選択し、〔次へ〕をクリックする**

他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に通常のプリンタとして設定されます。



11 テストページを印刷するか、しないかを選択して〔完了〕をクリックする

手順 9 で仮のポートを選択した場合は、「いいえ」を選択してください。



「印字テストを行いますか？」で「はい（推奨）」を選択した場合は以下の操作をおこないます。

テストページを印刷する前にプリンタに A4 タテ以上の用紙をセットしてください。用紙のセット方法については、『プリンタ編』「第 3 章 用紙のセット」を参照してください。

ファイルのコピーが開始されます。

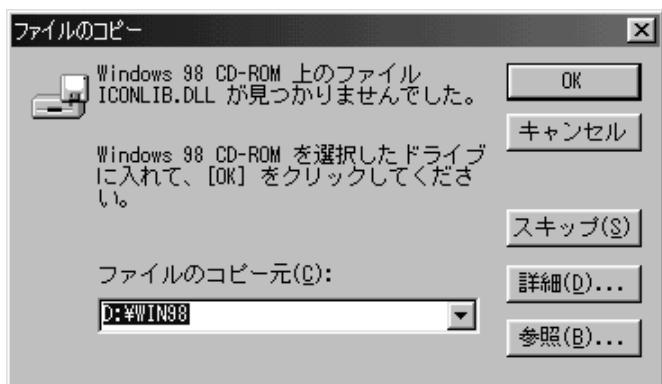
12 [ディスクの挿入] ウィンドウが表示されたら、Windows 95/98 セットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、〔OK〕をクリックする



13 <ファイルのコピー元：> に「D:¥WIN98」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:¥WIN98」を選択する

注) 上記は CD-ROM ドライブが D: のときの入力例です。
Windows 95 の場合は、“WIN98”を“WIN95”に変えて入力してください。

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

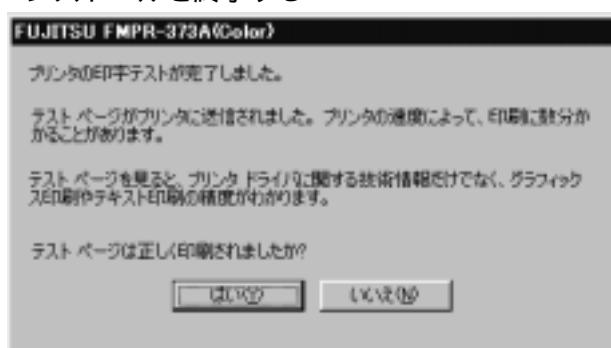


ファイルのコピーが開始されます。

コピーが終了すると、[プリント] フォルダにプリント名が表示され、ドライバが有効になります。



14 テストページが正しく印刷されたら [はい] をクリックし、インストールを終了する



Windows NT4.0 のとき

ここでは、Windows NT4.0 が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について説明します。



ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows NT4.0 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

◆ インストール

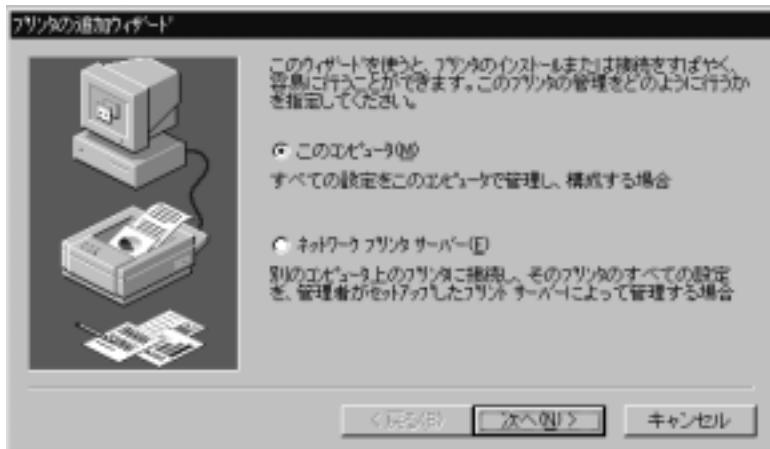
プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
FMPR-373A ドライバディスクを準備してください。

ここでは、FUJITSU FMPR-373A(Color)プリンタドライバをインストールする画面を例に説明しています。

- 1 Windows NT4.0 を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする
- 2 [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択し、[プリンタの追加] をダブルクリックする



- 3 「このコンピュータ」を選択して〔次へ〕をクリックする
 [ネットワークプリンタサーバー]を選んでインストールするには、
 プリンタサーバー上に対応するプリンタドライバがあらかじめインス
 トールされている必要があります。



- 4 プリンタを接続したポートを選択して〔次へ〕をクリックする
 利用可能なポートから、プリンタを接続したポートを選択します。ま
 だ、ポートを作成していない場合は、仮のポートを選択してください。
 ただし、この場合は正しいポートを設定するまでテストページ等の印
 刷は行わないでください。



5 [ディスク使用] をクリックする

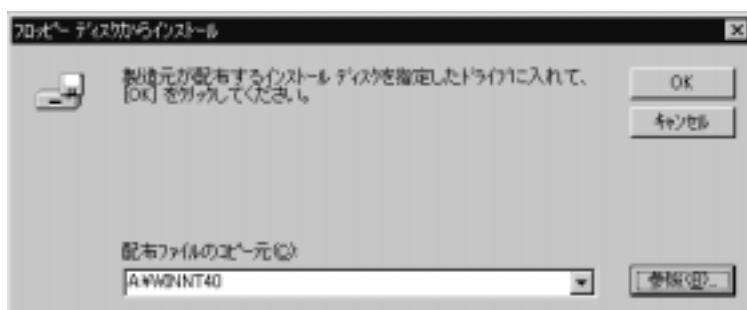


6 添付の FMPR-373A ドライバディスクをパソコンのフロッピィディスクドライブにセットする

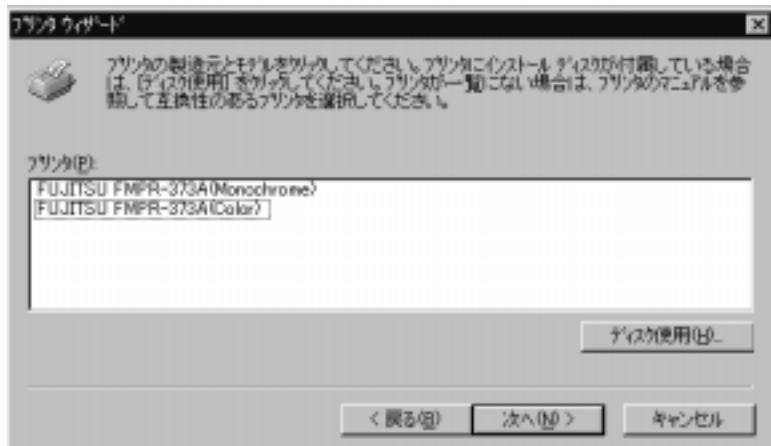
7 <配布ファイルのコピー元 : > に「A:¥WINNT40」と入力するか、または〔参照〕をクリックして「A:¥WINNT40」を選択し、〔開く〕をクリックする

注 1) 上記はフロッピィディスクドライブが A: のときの入力例です。

入力が終わったら[OK]をクリックします。



8 プリンタ「FUJITSU FMPR-373(Color)」を選択して〔次へ〕をクリックする



注 1) 「このプリンタにはドライバが既にインストールされています。現在のドライバをそのまま使いますか？新しいドライバを使うと、印刷結果が異なることがあります。」という画面が表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択します。

9 <プリンタ名：> にプリンタの名前を入力し、通常のプリンタに設定する場合は、「はい」を選択し、〔次へ〕をクリックする

他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に通常のプリンタとして設定されます。



10 「共有しない」を選択し、〔次へ〕をクリックする

プリンタを共有するかしないかの設定は、プリンタドライバをインストールした後でも変更できます。ここでは「共有しない」を選択します。

**11 テストページを印刷するか、しないかを選択して〔完了〕をクリックする**

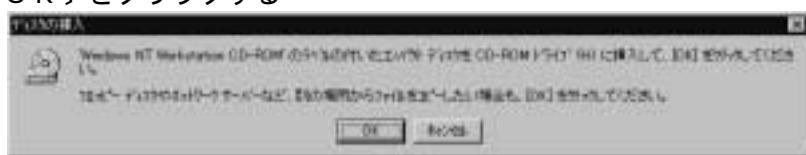
手順4で仮のポートを選択した場合は「いいえ」を選択してください。ファイルのコピーが開始されます。



「テストページを印刷しますか？」で「はい（推奨）」を選択した場合は、以下の操作をおこないます。

テストページを印刷する前にプリンタにA4タテ以上の用紙をセットしてください。用紙のセット方法については、『プリンタ編』「第3章 用紙のセット」を参照してください。

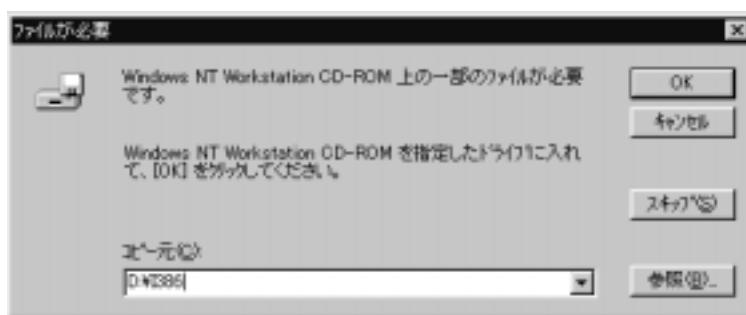
- 12 [ディスク挿入] ウィンドウが表示されたら、Windows NT4.0 セットアップディスクをパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、[OK] をクリックする



- 13 <コピー元 : > に「D:\¥1386」と入力する。または[参照] をクリックして「D:\¥1386」を選択する

注) 上記は CD-ROM ドライブが D: のときの入力例です。

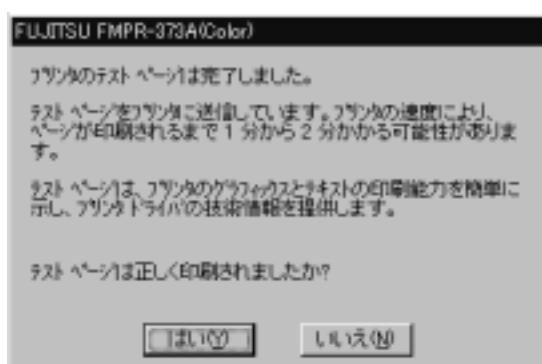
入力が終わったら [OK] をクリックします。



ファイルのコピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。



14 テストページが正しく印刷されたら、〔はい〕をクリックし、インストールを終了する



Windows 2000 のとき

ここでは、Windows 2000 が動作するパソコンにプリンタドライバをインストールする方法について説明します。

本プリンタは Plug&Play でのインストールには対応しておりません。



ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows 2000 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

◆ インストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
FMPR-373A ドライバディスクを準備してください。

ここでは、FUJITSU FMPR-373A(Color)プリンタドライバをインストールする画面を例に説明しています。

- 1 Windows 2000 を起動する
- 2 [スタート] → [設定] → [プリンタ] を選択し、[プリンタの追加] をダブルクリックする



- 3 [次へ] をクリックする



4 「ローカルプリンタ」を選択して〔次へ〕をクリックする

この画面は、パソコンがネットワークに接続されているときのみ表示されます。



プラグアンドプレイはサポートしていませんので、「プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする」チェックボックスはチェックをはずしてください。

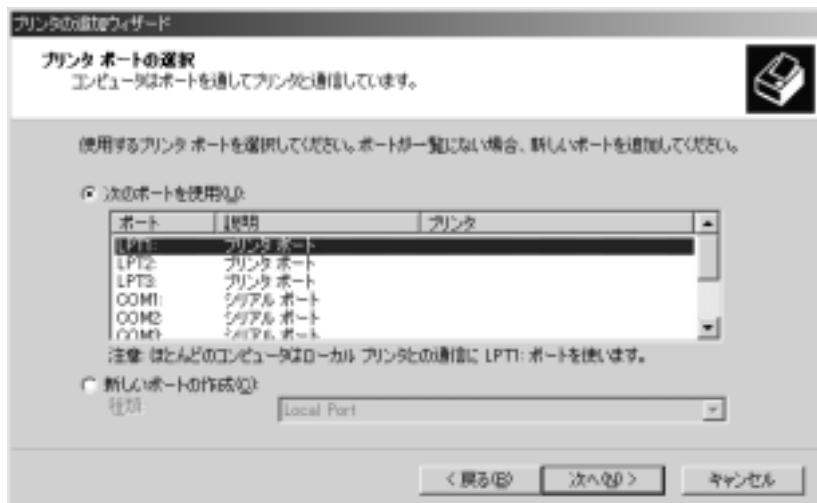


ガイド

- ・スタンドアロン（パソコンとプリンタを 1 対 1 で接続）のときや、パソコンをプリントサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。
印刷先（ポート）を後で変更する場合も、ローカルプリンタを選択してください。ただし、正しい印刷先に設定するまでテストページ等の印刷は行わないでください。
- ・「ネットワークプリンタ」を選んでインストールするには、プリントサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。
また、「代替ドライバとネットワークインストール」はサポートしていません。

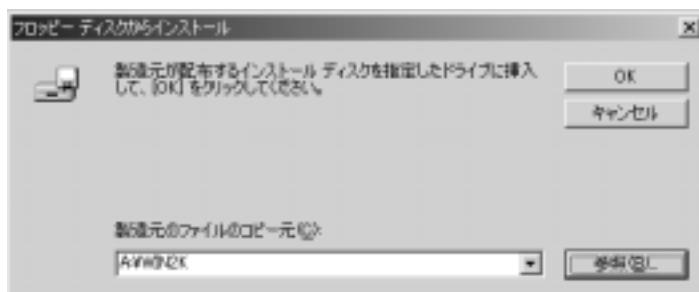
5 使用するポートを選択し、〔次へ〕をクリックする

使用するポートがまだ作成されていない場合は、仮のポートとしてローカルポート（LPT1）などを選択してください。

**6 [ディスク使用] をクリックする****7 添付の FMPR-373A ドライバディスクをパソコンのフロッピィディスクドライブにセットする**

- 8 <製造元のファイルのコピー元 : > に「A:¥WIN2K」と入力する、または〔参照〕をクリックして「A:¥WIN2K」を選択する

注 1) 上記はフロッピィディスクドライブが A: のときの入力例です。
入力が終わったら〔OK〕をクリックします。



- 9 プリンタ「FUJITSU FMPR-373A(Color)」を選択して〔次へ〕をクリックする



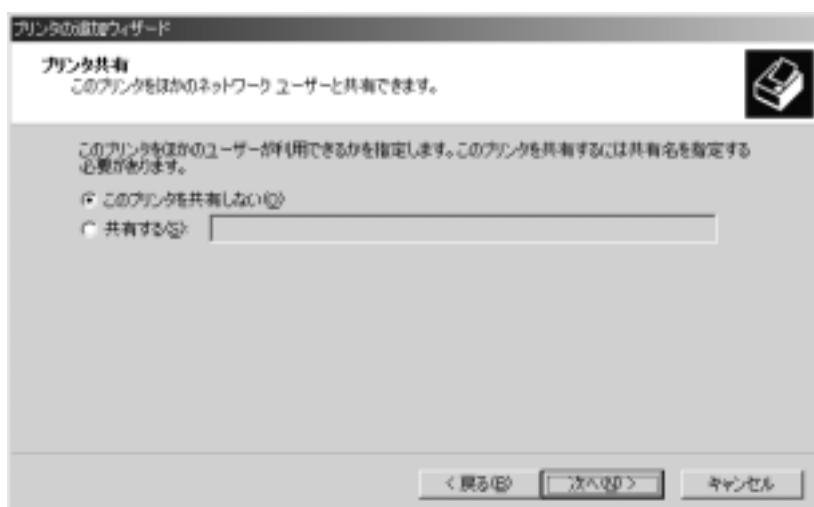
注 2) 「このプリンタにはドライバが既にインストールされています。現在のドライバをそのまま使いますか？新しいドライバを使うと、印刷結果が異なることがあります。」という画面が表示される場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択します。

- 10 <プリンタ名:>にプリンタの名前を入力し、通常使うプリンタに設定する場合は「はい」を選択し、[次へ]をクリックする

他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に通常使うプリンタとして設定されます。



- 11 プリンタを共有するか、しないかを選択して[次へ]をクリックする



12 テストページを印刷するか、しないかを選択して〔次へ〕をクリックする

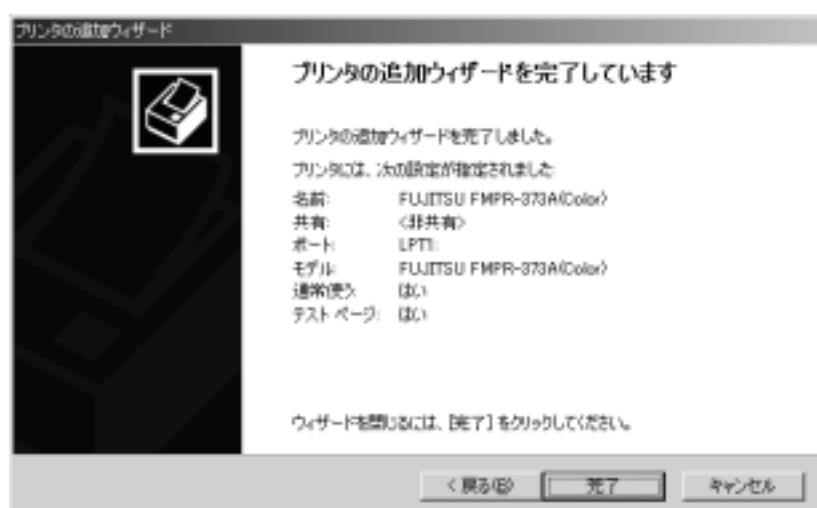
手順 5 で仮のポートを選択した場合は、「いいえ」を選択してください。

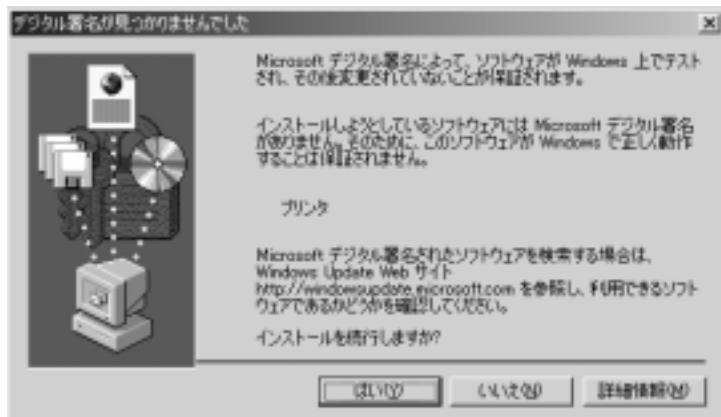


「はい」を選択した場合は以下の操作をおこないます。

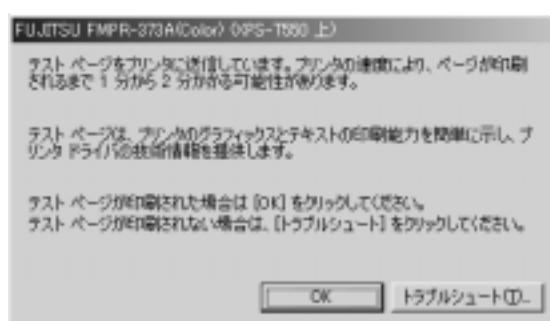
テストページを印刷する前にプリンタの電源が入っていることを確認し A4 タテ以上の用紙をセットしてください。用紙のセット方法については、取扱説明書『プリンタ編』「第 3 章 用紙のセット」を参照してください。

13 〔完了〕をクリックする



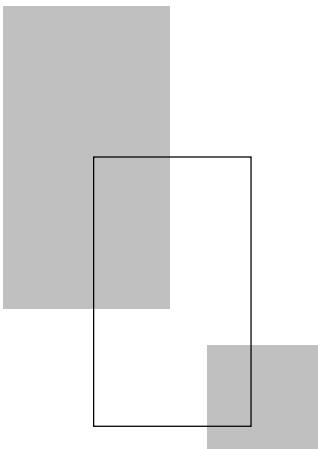
14 [はい] をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。手順 12 でテストページを印刷しない設定にした場合は、この手順でインストールは終了です。テストページを印刷する設定にした場合は、手順 15 に進んでください。

15 テストページが正しく印刷されたら [OK] をクリックし、インストールを終了する

インストールが終了すると〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。





第2章

プリンタドライバの設定

この章では、プリンタドライバの設定について説明します。

プリンタドライバの設定	178
Windows 95/98/Me の設定画面	178
Windows NT4.0 の設定画面	189
Windows 2000 の設定画面	201
印刷可能領域	213
印刷の向き	217
給紙方法	218
印刷品質	219



プリンタドライバの設定

ここでは、プリンタドライバの設定画面について説明します。

Windows 95/98/Me の設定画面

Windows 95/98/Me でのプリンタドライバの設定は、「プリンタのプロパティ」で行います。

プリンタのプロパティは、アプリケーションソフトから表示させる方法と、Windows のスタートメニューから表示させる方法があります。表示方法によって設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。



ガイド

- ・ アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。
- ・ 画面は Windows98 に FMPR-373(Color)をインストールした状態を例に説明しています。

◆ アプリケーションソフトからの設定画面
(プリンタ設定のプロパティ)



アプリケーションソフトから印刷を実行するときに表示できる設定画面です。

用紙サイズや給紙方法などを印刷時に設定できます。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。

ここでは、ワードパットを例に説明します。

- 1 ワードパットの〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する
- 2 〔印刷〕ダイアログで、〔プロパティ〕をクリックする
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。

〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

〔既定値に戻す〕のあるダイアログでは、これをクリックすると現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

◆ [スタート]からの設定画面(プリンタのプロパティ)



プリンタドライバやポートの選択などが行えます。
また、用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値の設定が行えます。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタなどの印刷に関する設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

- 1 [スタート]から、[設定]([プリンタ])の順に選択する
 - 2 該当するプリンタのアイコンをクリックし、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択する
 - 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
- [OK]をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。[キャンセル]をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。
- [既定値に戻す]のあるダイアログでは、これをクリックすると、現在設定中のダイアログの内容を標準値に戻します。

◆ ダイアログ一覧

(注)とあるダイアログは「プリンタのプロパティ」にのみ表示されます。

[全般] (または [情報]) (注)



プリンタに関するコメントの入力や区切りページの指定、テストページ印刷を行います。

区切りページは、印刷を行うパソコンにプリンタが直接接続されている場合のみ使用できます。また、B5 サイズより小さいサイズの用紙では、周囲の一部が欠けて印刷されます。

〔詳細〕(注)



印刷先のポートに関する設定や、使用しているプリンタドライバの表示を行います。

〔色の管理〕(注)*1)



カラープロファイルの設定を行います。

*1) FMPR-373A(Monochrome)では表示されません。

〔共有〕(注)



プリンタの共有に関する設定を行います。
このダイアログは、ネットワークの設定でプリンタを共有に設定したときのみ表示されます。

〔用紙〕



用紙サイズ、印刷の向き、給紙方法などの用紙に関する設定を行います。

設定項目	内 容
用紙サイズ	用紙サイズを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 特別なサイズの用紙を使う場合、ユーザー定義サイズを選択し、用紙の幅と長さを設定します。「プリンタ編 第4章 用紙について」の用紙規格の範囲で使用してください。 複数のユーザー定義サイズの用紙を使いたい場合は、プリンタドライバをユーザー定義サイズごとにインストールしてください。ドライバの名前にサイズ名を指定すれば、ドライバの切り替えで使用できます。 選択できる用紙サイズについては、「印刷可能領域」(213ページ)を参照してください。
印刷の向き	印刷の向きを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 縦：用紙を縦長に使って印刷します。 横：用紙を横長に使って印刷します。
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。詳細は「給紙方法」(218ページ)を参照してください。
余白の編集	余白の編集を行います。 選択した用紙サイズに最適な値が設定されています。設定を変更すると印刷位置がずれる場合があります。本機能はアプリケーションソフトからは設定できません。

設定項目	内 容
バージョン情報	本プリンタドライバに関する情報を表示します。
既定値に戻す	現在開いているプロパティ内のすべての設定を標準の状態に戻します。

〔グラフィックス〕



解像度やディザパternなどを設定します。

設定項目	内 容
解像度	180×180dpi の解像度で印刷します。
ディザリング	<p>ディザリングとは、中間色をドットの組み合わせで表現することです。選んだディザリングの設定によって、グラフィックイメージがどの程度に細かく印刷されるかが決まります。</p> <p>なし : ディザリングをおこないません。</p> <p>粗く : グラフィックイメージを粗いパターンで表現します。</p> <p>細かく : グラフィックイメージを細かいパターンで表現します。（既定値）</p> <p>ラインアート : グラフィックイメージを線の太さで表現します。印刷をするグラフィックイメージの、黒・白・グレーの間にはっきりした境界線がある場合に指定してください。（カラーを選択した場合はこの項目は選択できません。）</p> <p>誤差拡散法 : はっきりした境界のない写真や絵を印刷するときに指定します。</p>
濃度	濃度を変えると、印刷濃度が調整できます。

設定項目	内 容	
色 *1)	カラー制御 *2)	カラーグラフィックスの印刷方法を指定します。
	カラーレンダリング インテント	カラー画像を最適な状態で印刷する方法を指定します。
	カラーコマンド	カラーコマンドの種類を表示します。
既定値に戻す	現在開いているプロパティ内のすべての設定を標準の状態に戻します。	

*1) FMPR-373A(Monochrome)では表示されません。

*2) FMPR-373A(Color)でモノクロリボンを使用する場合は、カラー制御の設定を「モノクロのみで印刷」としてください。

[デバイスオプション]



印刷品質の設定を行います。

設定項目	内 容
印刷品質	印字方向の設定をします。 ・両方向印字：両方向印字を行います。 ・片方向印字：片方向印字を行います。

Windows NT4.0 の設定画面

Windows NT4.0 でのプリンタドライバの設定は、「プリンタ設定のプロパティ」、「ドキュメントの既定値」、「プリンタのプロパティ」の3つのプロパティで行います。プロパティによって設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。



ガイド

- 一般ユーザは、アプリケーションソフトからのプリンタ設定のプロパティのみ変更できます。
また、サーバ共有のプリンタの全ての設定値をクライアントから変更するには、サーバとクライアントの両方で管理者権限が必要です。
- アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。
- 画面は、FMPR-373A(Color)を例に説明します。

◆ アプリケーションからの設定画面（プリンタ設定のプロパティ）



各アプリケーションソフトでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。

印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。

ここでは、ワードパットを例に説明します。

- 1 ワードパットの〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する
 - 2 〔印刷〕ダイアログで、〔プロパティ〕をクリックする
 - 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
- 〔OK〕をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

◆ [スタート]からの設定画面（ドキュメントの既定値）

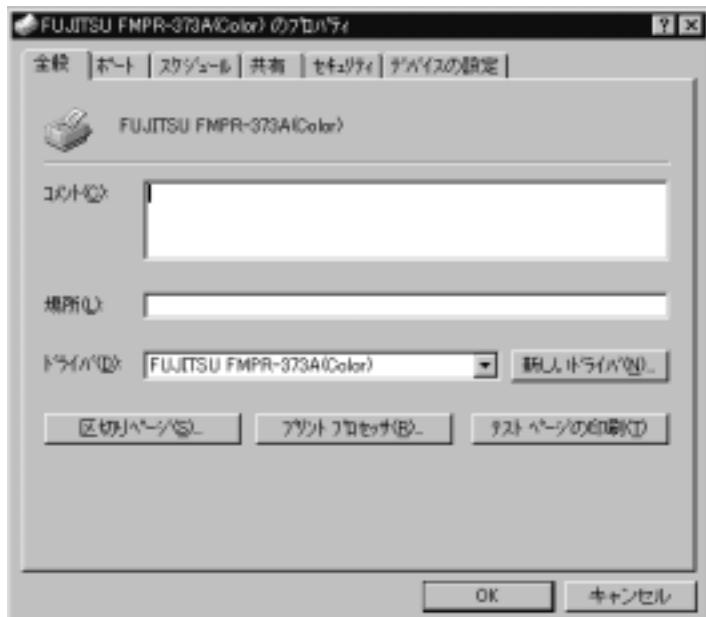


用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタの設定を行わない場合は、
この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

- 1 [スタート]から、[設定] [プリンタ]の順に選択する
- 2 該当するプリンタのアイコンをクリックし、[プリンタ]フォルダの[ファイル]メニューから[ドキュメントの既定値]を選択する
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
[OK]をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
[キャンセル]をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

◆ プリンタのプロパティ



プリンタドライバやポートの選択などが行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

- 1 [スタート] から、[設定] [プリンタ] の順に選択する
 - 2 該当するプリンタのアイコンをクリックし、[プリンタ] フォルダの [ファイル] メニューから [プロパティ] を選択する
 - 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
- [OK] をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。
[キャンセル] をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

◆ ダイアログ一覧

(注1)とあるダイアログは「プリンタ設定のプロパティ」または「ドキュメントの既定値」でのみ表示されます。
 (注2)とあるダイアログは「プリンタのプロパティ」でのみ表示されます。

[ページ設定] (注1)



用紙サイズ、印刷の向き、給紙方法などの用紙に関する設定を行います。

設定項目	内 容
用紙サイズ	用紙サイズを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 選択できる用紙サイズについては、「印刷可能領域」(213ページ)を参照してください。 特別なサイズの用紙を使う場合、[プリンタ]フォルダの[ファイル]メニューから[サーバーのプロパティ]を選択し、[用紙]タブの「新しい用紙を作成する」によって登録した用紙名を選択してください。用紙の幅と長さは「プリンタ編 第4章 用紙について」の用紙規格の範囲で使用してください。 用紙の登録方法については194ページを参照願います。

設定項目	内 容
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。 ・「自動選択」のまま印刷すると、〔デバイスの設定〕タブで、同じ用紙のサイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。
印刷の向き	印刷の向きを選択します。 ・縦：用紙を縦長に使って印刷します。 ・横：用紙を横長に使って印刷します。
色合い *1)、2)	カラー出力するか、グレースケール出力するかを選択します。

*1) FMPR-373A(Monochrome)では表示されません。

*2) モノクロリボンを使用して印刷する場合、色合いの設定を「グレースケール」にしてください。



ガイド

- ・用紙の登録は、次のように行ないます。
 1. 「プリンタ」フォルダで「ファイル」-「サーバーのプロパティ」を選択して、「プリントサーバのプロパティ」を開きます。
 2. 「プリントサーバのプロパティ」の「用紙」プロパティシートの「新しい用紙を作成する」をチェックします。
 3. 用紙名とサイズを入力して、「用紙の保存」をクリックします。

〔詳細〕(注1)



次の項目の設定が行えます。

設定項目	設定内容	備考
用紙/出力	用紙サイズ	用紙サイズを選択します。
	印刷の向き	印刷の向きを指定します。
	給紙方法	給紙方法を選択します。
グラフィックス	解像度	解像度を設定します。
	色合い *1)、*2)	カラー、またはグレースケール出力かを選択します。
	TureType フォント	
ドキュメントのオプション	ハーフトーン カラーの調整	ハーフトーンカラーを設定します。 「ハーフトーンカラーの調整」ボタンをクリックすると「ハーフトーンカラーの調整」ダイアログボックスが表示されます。

*1) FMPR-373A(Monochrome)では表示されません。

*2) モノクロリボンを使用して印刷する場合、色合いの設定を
「グレースケール」にしてください。

設定項目	設定内容	備考
ドキュメントのオプション	印刷品質	印字方向の設定をします。 ・両方向印字：両方向印字を行います。 ・片方向印字：片方向印字を行います。
	テキストをグラフックスとして印刷	テキストをグラフィックスとして印刷するかどうかの設定をします。 ・オフ： テキストを設定されているフォントで印刷します。 ・オン： プリンタフォントを使用せず、グラフィックスでテキストを印刷します。
	メタファイルスਪーリング	メタファイルのスປーリングの設定をします。 ・オフ： 印刷データをスປールしてから印刷します。 ・オン： 印刷データを直接プリンタに送ります。

「FUJITSU FMPR-373A(Color) ドキュメントの設定」を選択すると、次のボタンが表示されます。

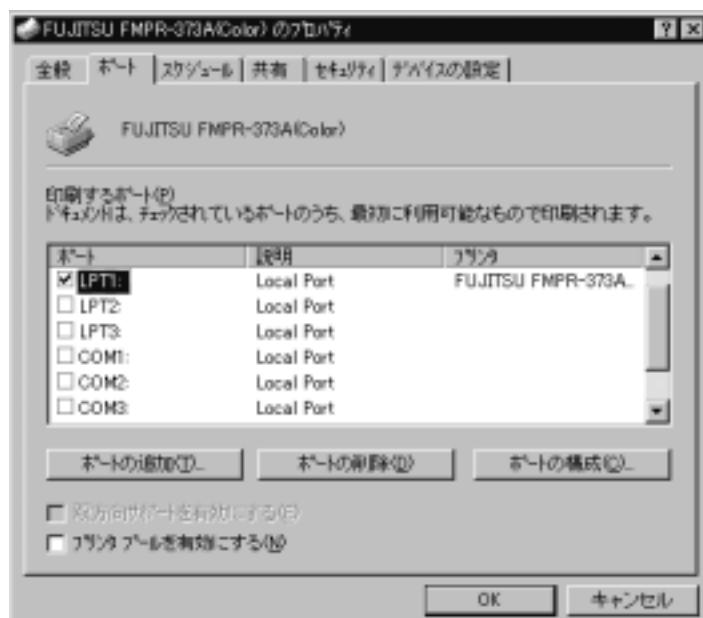
変更したオプションを元に戻す	変更した設定をプロパティシートを開いたときの状態に戻します。
ラスタプリンタドライバのバージョン情報	本プリンタに関する情報を表示します。

〔全般〕(注2)



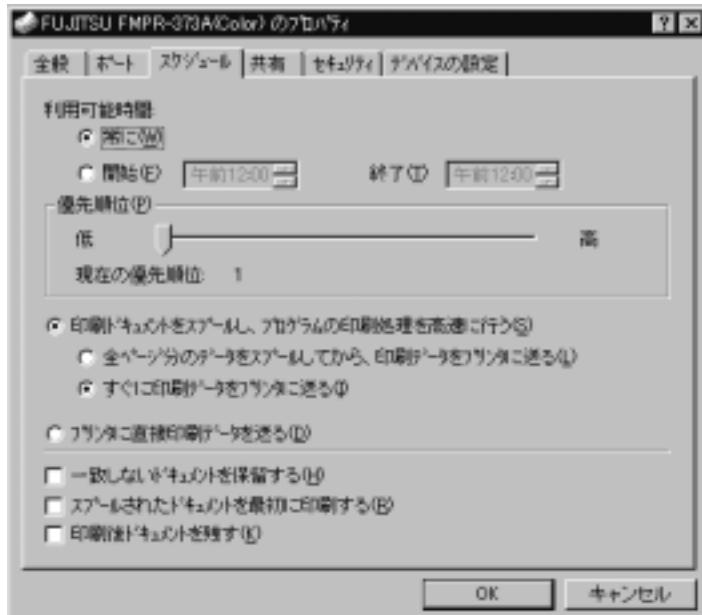
プリンタに関するコメントの入力や区切りページの指定、テストページ印刷を行います。

〔ポート〕(注2)



印刷先のポートに関する設定を行います。

[スケジュール] (注2)



プリンタの利用可能時間やスプールに関する設定を行います。

[共有] (注2)



プリンタの共有に関する設定や代替ドライバのインストールを行います。

[セキュリティ] (注2)



プリンタのセキュリティに関する設定を行います。

〔デバイスの設定〕(注2)



給紙方法と用紙の割り当て、ハーフトーンの設定を行います。

設定項目	内 容
給紙方法と用紙の割り当て 注1)	給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を選択した場合は、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。
ハーフトーンセットアップ	「ハーフトーンセットアップ」ボタンをクリックすると「デバイスカラー/ハーフトーンのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

「FUJITSU FMPR-373A(Color)デバイスの設定」を選択すると、次のボタンが表示されます。

変更したオプションを元に戻す	変更した設定をプロパティシートを開いたときの状態に戻します。
ラスタプリンタドライバのバージョン情報	本プリンタに関する情報を表示します。

注 1)給紙方法と用紙の割り当てで動作可能な給紙口は、カットシートフィーダとホッパユニットのみです。

Windows 2000 の設定画面

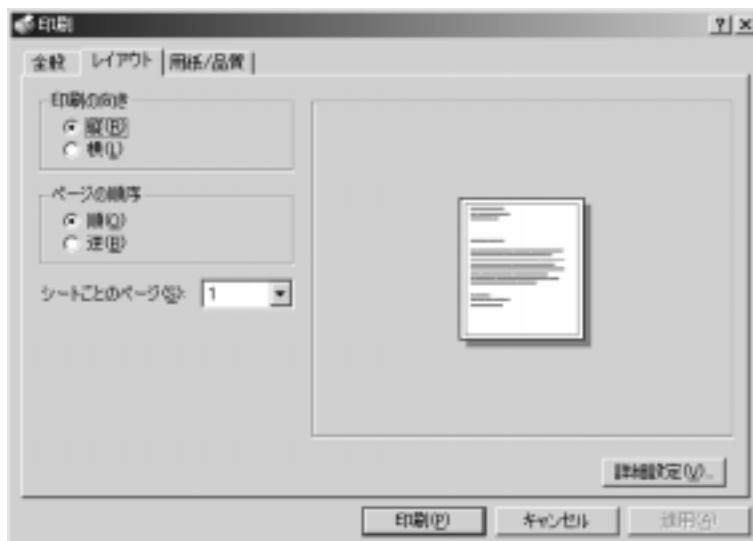
Windows 2000 でのプリンタドライバの設定は、「印刷」、「印刷設定」、「プリンタのプロパティ」プロパティで行います。各プロパティで、設定できる項目が変わりますので、ご注意ください。



ガイド

- ・アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で用紙サイズなどを設定できるものもあります。
- ・ポートに NetWare の印刷キューを割り当てるとき、設定項目の一部が表示されないことがあります。このようなときは、他のポートをご利用ください。

◆ アプリケーションからの設定画面（印刷）



各アプリケーションソフトでのプリンタの設定項目から表示するプリンタのプロパティです。

印刷時に用紙サイズや解像度などの印刷に関する設定が行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

プリンタ設定のプロパティを表示する方法は、アプリケーションソフトごとに異なります。

ここでは、ワードパットを例に説明します。

1 ワードパットの〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択する

2 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

〔印刷〕をクリックすると変更した設定で印刷が開始されます。

〔キャンセル〕をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷」ダイアログボックスを終了します。

〔適用〕をクリックすると、変更した設定を保存します。このときダイアログボックスは開いたままです。

◆ [スタート]からの設定画面（印刷設定）



用紙サイズや解像度などの印刷に関する既定値を設定します。
アプリケーションソフトで用紙やプリンタの設定を行わない場合は、この設定値で印刷します。

【設定画面の表示と設定の変更】

- 1 [スタート]から、[設定] [プリンタ]の順に選択する
- 2 該当するプリンタのアイコンをクリックし、[ファイル]メニューから [印刷設定] を選択する
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する
用紙サイズ、出力部数、印刷品質、オプション機能などに関する詳細な設定を行う場合は、[詳細設定] をクリックし、設定を変更する。
[OK] をクリックすると、変更した設定を保存して「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。
[キャンセル] をクリックすると、変更した設定を保存しないで「印刷設定」ダイアログボックスを終了します。
[適用] をクリックすると、変更した設定を保存します。このときダイアログボックスを開いたままです。

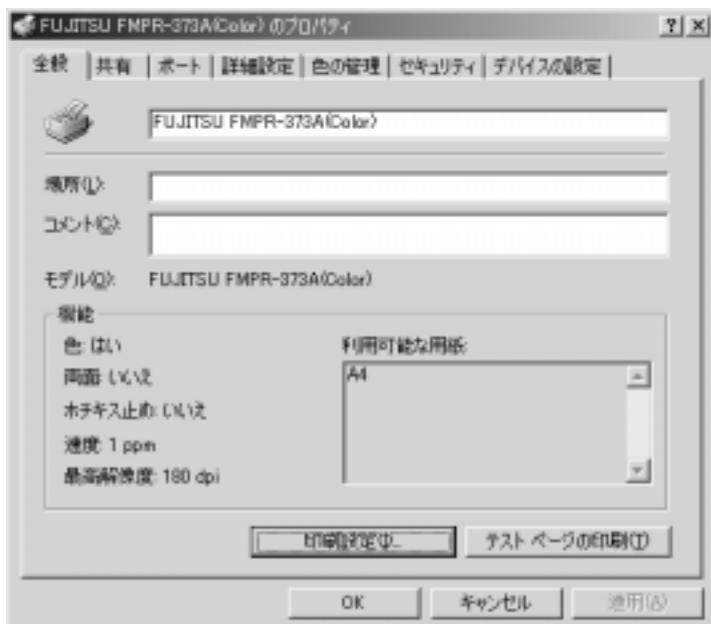


ガイド

- ・変更した設定を以前の設定に戻すには以下の方法があります。

- (1) 「レイアウト」「用紙/品質」タブの場合、設定を変更した後、変更した項目で右クリックして〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンを表示し、クリックする。
- (2) [詳細設定] の場合、「FUJITSU FMPR-373A 詳細なドキュメントの設定」を右クリックして〔変更したオプションを元に戻す〕ボタンを表示し、クリックする。

◆ プリンタのプロパティ



プリンタドライバやポートの選択などが行えます。

【設定画面の表示と設定の変更】

- 1 [スタート] から、[設定] [プリンタ] の順に選択する
- 2 該当するプリンタのアイコンをクリックし、[ファイル] メニューから [プロパティ] を選択する
- 3 目的の項目を含むタブをクリックし、設定を変更する

[OK] をクリックすると、変更した設定を保存してプロパティを終了します。

[キャンセル] をクリックすると、変更した設定を保存しないでプロパティを終了します。

[適用] をクリックすると、変更した設定を保存します。このときプロパティは開いたままです。



ガイド

- ・変更した設定を以前の設定に戻すには以下の方法があります。（[デバイスの設定] タブのみ有効）

設定を変更した後、[デバイスの設定] タブの [FUJITSU FMPR-373A デバイスの設定] を右クリックします。[変更したオプションを元に戻す] ボタンが表示されますので、クリックします。

◆ ダイアログ一覧

(注1)とあるダイアログは「印刷」、「印刷設定」ダイアログボックスで表示されます。

(注2)とあるダイアログは「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスでのみ表示されます。

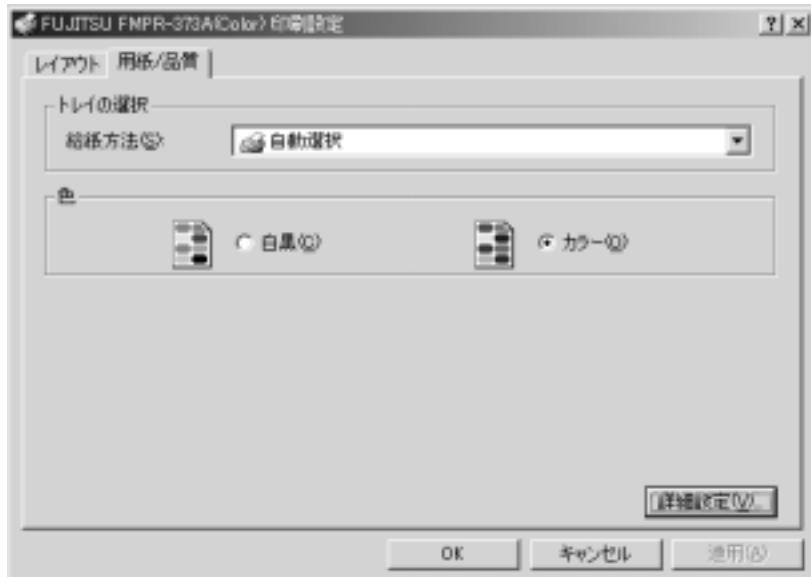
[レイアウト] (注1)



印刷の向き、ページの順序、シートごとの印刷ページなど、レイアウトに関する設定などを行います。

設定項目	内 容
印刷の向き	印刷の向きを指定します。
ページの順序	印刷するページの順序を指定します。
シートごとの ページ	1枚の用紙に何ページ分印刷するのかを指定します。

〔用紙/品質〕(注1)



給紙方法・メディアなどの用紙に関する設定を行います。

設定項目	内 容
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します。 ・「自動選択」のまま印刷すると、〔デバイスの設定〕タブで、同じ用紙のサイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合は、手差しで印刷します。
色 (注1)、(注2)	カラー出力か白黒出力するかを選択します。

注1) FMPR-373(Monochrome)では表示されません。

注2) モノクロリボンを使用して印刷する場合、色の設定を
「白黒」にしてください。

〔詳細〕(注1)



次の項目の設定が行えます。

設定項目	設定内容	備 考
用紙/出力	用紙サイズ	用紙サイズを選択します。 ・選択できる用紙サイズについては、「印刷可能領域」(213ページ)を参照してください。 ・特別なサイズの用紙を使う場合、[プリンタ]フォルダの[ファイル]メニューから[サーバーのプロパティ]を選択し、[用紙]タブの「新しい用紙を作成する」によって登録した用紙名を選択してください。用紙の幅と長さは「プリンタ編 第4章 用紙について」の用紙規格の範囲で使用してください。 ・用紙の登録方法については208ページを参照願います。
	部数	印刷部数を設定します。
グラフィックス (注1)	イメージカラー管理	カラーグラフィックスの印刷に関する設定をします。

注1) FMPR-373A(Monochrome)では、表示されません

設定項目	設定内容	備考
ドキュメントオプション	詳細な印刷機能	印刷機能の設定を有効にするかしないかを設定します。 有効：〔ページの順序〕〔シートごとのページ〕および〔部数〕の設定が有効になります。 無効：〔ページの順序〕〔シートごとのページ〕および〔部数〕の設定が無効になります。
カラー印刷モード (注1)、(注2)	モノクロ／カラー印刷の指定します。	
ハーフトーン	ハーフトーンの種類を設定します。プリンタによって最適な品質を決定するには「自動選択」を選択します。	
印刷の最適化		印刷の最適化を有効にするかしないかを設定します。印刷結果が正しくないときは、この機能を「無効」にすることができます。
プリンタの機能	印刷品質	印字方向の設定をします。 ・両方向印字： 両方向印字を行います。 ・片方向印字： 片方向印字を行います。

注1) FMPR-373A(Monochrome)では表示されません。

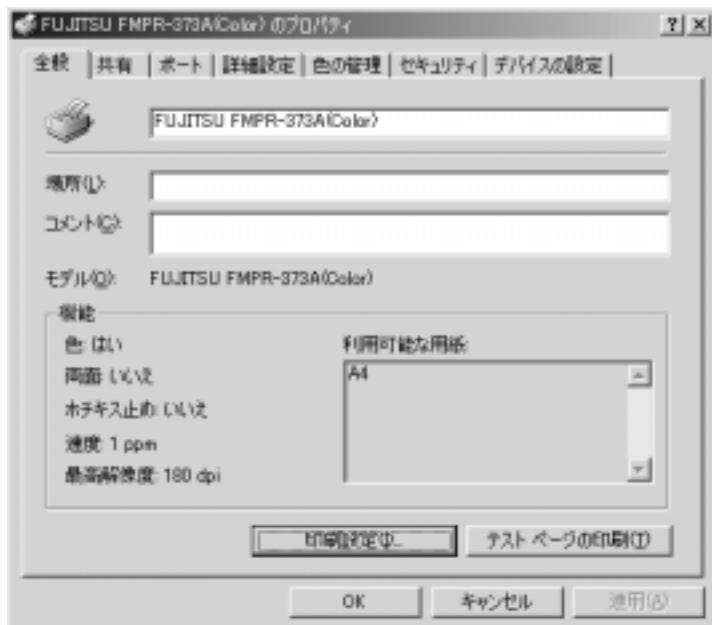
注2) FMPR-373A(Color)でモノクロリボンを使用して印刷する場合、
　カラー印刷モードの設定を「モノクロ」にしてください。



ガイド

- ・用紙の登録は、次のように行ないます。
 1. 「プリンタ」フォルダで「ファイル」-「サーバーのプロパティ」を選択して、「プリントサーバのプロパティ」を開きます。
 2. 「プリントサーバのプロパティ」の「用紙」プロパティシートの「新しい用紙を作成する」をチェックします。
 3. 用紙名とサイズを入力して、「用紙の保存」をクリックします。

〔全般〕(注2)



プリンタの場所の入力、コメントの入力、機能一覧の表示、印刷設定、テストページの印刷を行います。

〔共有〕(注2)



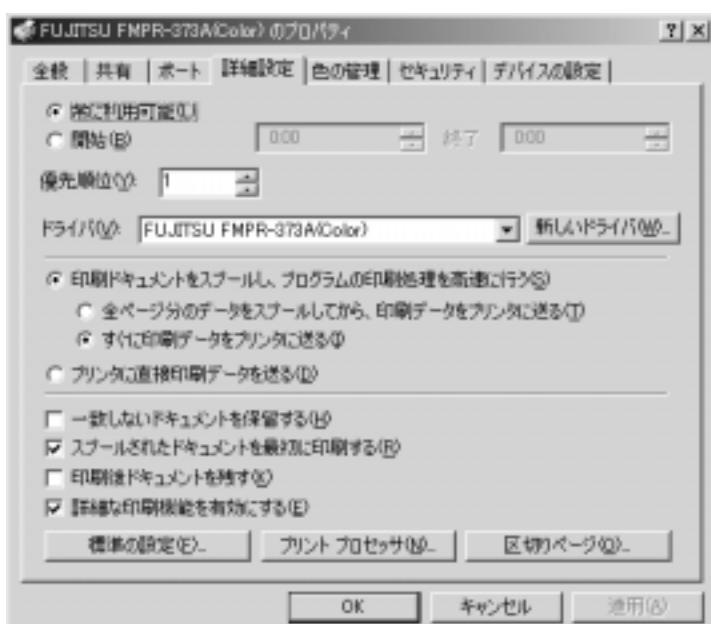
プリンタの共有に関する設定や代替ドライバのインストールを行います。ただし、代替ドライバはサポートしません。

〔ポート〕(注2)



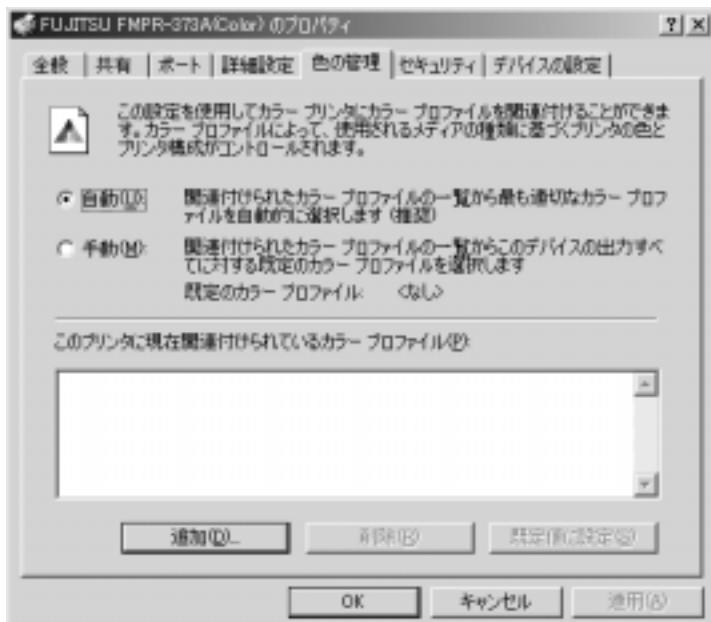
印刷先のポートに関する設定を行います。

〔詳細設定〕(注2)



プリンタの利用可能時間、優先順位、プリントプロセッサ、区切りページを設定します。

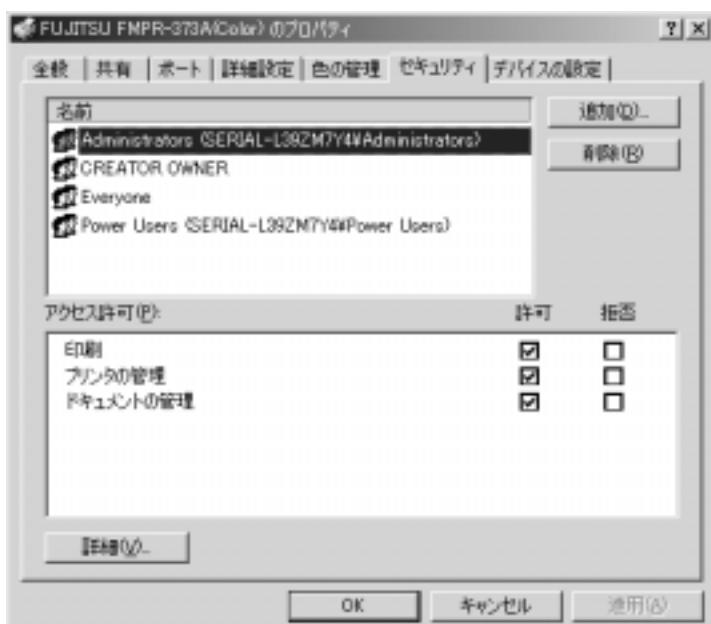
〔色の管理〕(注2)



カラープロファイルの関連付けを行います。

FMPR-373A(Monochrome)では表示されません。

〔セキュリティ〕(注2)



プリンタのセキュリティに関する設定を行います。

[デバイスの設定] (注2)



給紙方法と用紙の割り当ての設定を行います。

設定項目	内 容
給紙方法と 用紙の割り当 て	給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で 「自動選択」を指定した場合は、同一サイズの用紙を 複数の給紙方法に割り当てないでください。

注 1)給紙方法と用紙の割り当てで動作可能な給紙口は、カットシート
フィーダとホッパユニットのみです。



印刷可能領域

このプリンタドライバで使用できる用紙サイズおよび印刷範囲は、次のようになっています。

◆ 用紙サイズ

単位：mm

用紙	縦(ポートレート)		横(ランドスケープ)	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
A3	297.00	420.00	420.00	297.00
A4	210.00	297.00	297.00	210.00
A5	148.00	210.00	210.00	148.00
A6	105.00	148.00	148.00	105.00
B4	257.00	364.00	364.00	257.00
B5	182.00	257.00	257.00	182.00
レター	215.90	279.40	279.40	215.90
リーガル	215.90	355.60	355.60	215.90
官製はがき	100.00	148.00	148.00	100.00
往復はがき 横	148.00	200.00	200.00	148.00
縦 10x10 inch 連続紙	254.00	254.00		
縦 10x11 inch 連続紙	254.00	279.40		
縦 10x12 inch 連続紙	254.00	304.80		
縦 12 x 11inch 連続紙	304.80	279.40		
縦 15 x 10inch 連続紙	381.00	254.00		
縦 15 x 11inch 連続紙	381.00	279.40		
縦 15 x 12inch 連続紙	381.00	304.80		
縦 3inch 連続紙	381.00	76.20		
縦 4inch 連続紙	381.00	101.60		
縦 4.5inch 連続紙	381.00	114.30		
縦 5inch 連続紙	381.00	127.00		
縦 6inch 連続紙	381.00	152.40		
縦 7inch 連続紙	381.00	177.80		
縦 8inch 連続紙	381.00	203.20		
縦 9inch 連続紙	381.00	228.60		
縦 10inch 連続紙	381.00	254.00		
縦 10.5inch 連続紙	381.00	266.70		
縦 11inch 連続紙	381.00	279.40		
縦 12inch 連続紙	381.00	304.80		
縦 13inch 連続紙	381.00	330.20		
縦 14inch 連続紙	381.00	355.60		

用紙	縦(ポートレート)		横(ランドスケープ)	
	用紙幅	用紙長	用紙幅	用紙長
ユーザ定義サイズ (注1)	100.00 (注2)	76.00 (注2)		

注1) プリンタドライバからユーザ一定義が設定できるのは、Windows95/98/Me です。

WindowsNT4.0/2000 の場合は、OS 上で用紙を登録してください。

用紙の登録方法は、WindowsNT4.0 の場合は 195 ページ、Windows2000 の場合は 207 ページを参照してください。

注2) この値は Windows95/98/Me 用プリンタドライバのデフォルト値です。設定可能範囲(mm)は、用紙幅が 100.00～ 420.00 で、用紙長が 76.00～ 420.00 です。



ガイド

WindowsNT4.0 及び Windows2000 でユーザ定義サイズを作成する場合は、用紙幅を 14inch までとしてください。14inch 以上の用紙を作成した場合、不正印刷（右側で印刷領域を越えたデータが左側で印刷される）となります。

◆ 印刷領域

単位：mm

用紙	余白(既定値)			
	上端	下端	左端	右端
A3	(注)	(注)	5.08	5.08
A3 横	(注)	(注)	37.32	37.32
A4, A4 横	(注)	(注)	5.08	5.08
A5, A5 横	(注)	(注)	5.08	5.08
A6, A6 横	(注)	(注)	5.08	5.08
B4	(注)	(注)	5.08	5.08
B4 横	(注)	(注)	5.08	13.48
B5, B5 横	(注)	(注)	5.08	5.08
レター	(注)	(注)	5.08	5.08
リーガル	(注)	(注)	5.08	5.08
官製はがき、官製はがき横	(注)	(注)	5.08	5.08
往復はがき横	(注)	(注)	5.08	5.08
縦 10×10inch 連続紙	(注)	(注)	0	0
縦 10×11inch 連続紙	(注)	(注)	0	0
縦 10×12inch 連続紙	(注)	(注)	0	0
縦 12×11inch 連続紙	(注)	(注)	0	0
縦 15×10inch 連続紙	(注)	(注)	0	35.56
縦 15×11inch 連続紙	(注)	(注)	0	35.56
縦 15×12inch 連続紙	(注)	(注)	0	35.56
縦 3inch 連続紙	(注)	(注)	0	35.56
縦 4inch 連続紙	(注)	(注)	0	35.56
縦 4.5inch 連続紙	(注)	(注)	0	35.56
縦 5inch 連続紙	(注)	(注)	0	35.56
縦 6inch 連続紙	(注)	(注)	0	35.56
縦 7inch 連続紙	(注)	(注)	0	35.56
縦 8inch 連続紙	(注)	(注)	0	35.56
縦 9inch 連続紙	(注)	(注)	0	35.56
縦 10inch 連続紙	(注)	(注)	0	35.56
縦 10.5inch 連続紙	(注)	(注)	0	35.56
縦 11inch 連続紙	(注)	(注)	0	35.56
縦 12inch 連続紙	(注)	(注)	0	35.56
縦 13inch 連続紙	(注)	(注)	0	35.56
縦 14inch 連続紙	(注)	(注)	0	35.56
ユーザ定義サイズ	(注)	(注)	5.08	5.08

注) 紙給り方法によって上端、下端余白が異なります。

詳細は次のとおりです。

単位：mm

給紙方法	余白量(既定値)		
	上端	下端	
		Windows95/ 98/ME/ NT4.0	Windows 2000
手差し	8.47	13.55	16.00
トラクタフィーダ	0	0	0
カットシートフィーダ	8.47	13.55	16.00
ホッパユニット	8.47	13.55	16.00

お願い

「縦3inch連続紙」～「縦14inch連続紙」の連続紙については、用紙幅を全て15inchに規定してありますので、使用する場合には『プリンタ編』「第4章 用紙について」の用紙規格を参照し、規格範囲内で右端余白を適宜設定してください。また、これらの連続紙を使用する場合、アプリケーションによりヘッダ、フッタの位置がずれる場合があります。この場合、アプリケーションでヘッダ、フッタの位置を調節して印刷してください。

**ガイド**

用紙長検出のバラツキにより、下端余白に誤差が生じる場合があります。



印刷の向き

印刷方向は、プリンタドライバの設定画面の「印刷の向き」の設定により次のようにになります。

印刷方向：縦	印刷方向：横



ガイド

アプリケーションにより、Windows 画面への表示方法や印刷方法が異なる場合があります。



給紙方法

印刷のときに、どこから用紙を給紙するかを指定します。次のいずれかを指定することができます。

- ・手差し

単票手差し挿入口から給紙します。

- ・トラクタフィーダ

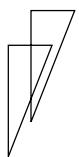
用紙送りトラクタから給紙します。

- ・カットシートフィーダ

オプションのカットシートフィーダから給紙します。

- ・ホッパユニット

オプションのホッパユニットから給紙します。



印刷品質

印字方向を設定します。

- ・両方向印字

両方向印字を行います。

- ・片方向印字

片方向印字を行います。

第2章 プリンタドライバの設定

索引～プリンタ編

E

- ESC/P モード
 - 制限事項 115
 - 設定項目 33

F

- FM - OASYS 8
- FMR シリーズ 8
- FM モード
 - 設定項目 34

J

- JIS⁹⁰ 第一水準漢字一覧表 140
- JIS⁹⁰ 第二水準漢字一覧表 143

O

- OASYS 8

あ

- アフターサービス 92

い

- イメージ印字 102
- 印字位置がページによってズレる 85
- 印字位置の問題点 84
- 印刷開始位置について 57
- 印字開始位置の微調整（行方向） 57
- 印字桁数 102
- 印字結果の問題点 83
- 印字速度 102
- 印字中の問題点 83
- 印字動作 102
- 印字ヘッド 9
- 印字ヘッド昇温検出 37
- 印字方式 102
- 印字領域
 - カット紙 69
 - 单票用紙 66
 - 連続帳票用紙 63
- インターフェース 103
- インターフェース仕様 108

う

- うまく動かないとき 81

え

- エラー表示と対処方法 87

お

- 「オンライン」スイッチ 25
- 「オンライン」ランプ 24

か

- カードガイド 9
- 外観図 104
- カットシートフィーダ（オプション）
 - 取付け時 105
 - 標準 104
- 「改行」スイッチ 25
- 外形寸法 103
- 「改ページ」スイッチ 25
- 各部のはたらき 10
- 各部の名称 9
- カットシートフィーダ
 - ご使用方法 95
 - 仕様 98
 - 使用時の不具合 85
 - 使用上のご注意 95
 - 搭載方法 96
- 稼働音 103
- カラーユニットの取り付け 94
- カラーリボンカセット 21

き

- 機能設定
 - 変えかた 27
 - 種類 29
- キャラクタコード一覧表
 - ESC/P モード 133
 - FM モード 132
- 行間ズレを直す 35

く

- 黒リボンカセット 21

こ

- 交換
 - リボンカセット 74
 - 「高速」スイッチ 25

「高速」ランプ	24
「ゴシック体」ランプ	24
コマンド一覧表	
ESC/P モード	127
FM モード	119
さ	
サブカセットの交換のしかた	75
し	
シートガイドの取り付け・取り外し	13
自動給紙印刷	
用紙のセット	46, 50
自動検出機能	37
重量	103
仕様	
カットシートフィーダ	98
プリンタの概略仕様	102
使用環境	103
使用上のお願い	6
消費電力	103
初期状態	
ESC/P モード	117
FM モード	116
「書体」スイッチ	25
す	
スイッチ	25
せ	
清掃のしかた	90
接続	
電源コードの接続	17
パソコンとの接続	16
設置する	11
設置場所について	6
そ	
操作パネル	9
操作パネルの機能	24
た	
耐用期間	103
単票用紙	64
単票用紙がつまったとき	79
単票用紙吸入時の不具合	81
単票用紙のセット	44

て

テスト印字	88
テスト印字サンプル	106
手挿入用紙	
ご使用時の注意点	51
電源コードの接続	17
電源コネクタ	9
電源仕様	103
電源スイッチ	9
電源投入時の不具合	81
電源について	7
「電源」ランプ	24
電源を入れる	19
電源を切る	20

と

透明カバー	9
取り付け・取り外し	15
特長	4
とじ穴の開けかた	70
ドット径	102
ドットピッチ	102

は

はがき	70
パソコンとの接続	16

ひ

非漢字一覧表	135
微小改行	26
微小逆改行スイッチ	26
微小正改行スイッチ	26

ふ

プラテン	9
プラテンノブ	9
プリンタがうまく動かないとき	81
プリンタケーブルコネクタ	9
プレプリント用紙を使用するとき	70
フロントカバー	9
開閉	14

へ

ヘビーデューティ検出	37
------------------	----

み

「明朝体」ランプ	24
----------------	----

も	
「モード」ランプ	24
文字構成	102
ゆ	
輸送するとき	91
輸送用固定材の取り外し	12
よ	
用紙	
吸入量の調整	26
セット	40
セット(カットシートフィーダ搭載時)	46
セット(自動給紙印刷)	46
セット(手挿入印刷)	50
取扱い上のご注意	72
用紙厚調整レバー	9
用紙厚の調整	55
用紙送り	103
用紙送りトラクタ	9
用紙ガイド	9
「用紙カット」スイッチ	25
「用紙切れ」ランプ	24
「用紙セット」スイッチ	25
用紙つまりのとき	
単票用紙	79
連続帳票用紙	77
用紙無し検出	37
用紙のとじかた	
カットシートフィーダ	68
複写用紙	65
連続帳票用紙	61
ら	
ランプ	24
り	
リアカバー	9
リアカバーの取り付け・取り外し	13
リボン	103
リボンカセットの交換	74
リボンカセットの種類	74
リボンカセットを取り付ける	21
れ	
連続帳票用紙	60
置きかた	43
後退動作	43
セット	40
つまつたとき	77
ミシン目の入れ方	62
用紙の構成枚数	60
用紙の寸法	60
用紙のとじかた	61
連帳・単票切替えレバー	9
連帳用紙吸入時の不具合	82

漢字プリンタ-15 FMPR-373A

取扱説明書

B5WY-0331-01

発行日 2001年 10月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

本書の一部または全部を無断で転載しないよう、お願ひいたします。

本書は、改善のため予告なし変更することがあります。

本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他
の権利、損害については、当社はその責を負いません。

落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。